

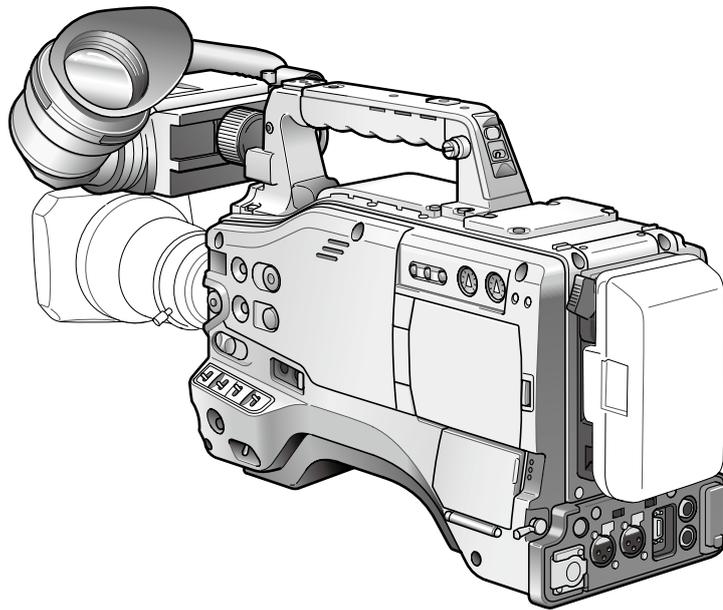
# Panasonic®

## 取扱説明書

### メモリーカードカメラレコーダー

# P2HD

品番 **AG-HPX555**



**DVCPRO HD**   **DVCPRO 50**   **DVCPRO**   **DX**

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

#### 保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

# 目次

## 第1章 概要

## 第2章 各部の名称と機能

## 第3章 記録と再生

## 第4章 記録のための調整と 設定

安全上のご注意.....	5
ご使用前に .....	8
カメラ部の特長.....	9
記録・再生部の特長.....	11
本機の使い方 .....	13
本機での撮影、再生、保存.....	13
外部機器を使った編集、保存 .....	14
システム構成 .....	15
電源部、およびアクセサリ取り付け部 .....	16
音声機能部(入力系).....	17
音声機能部(出力系).....	19
撮影・記録/再生機能部.....	20
メニュー操作部、およびサムネール操作部 .....	25
タイムコード関連部.....	26
警告/状態表示部 .....	27
液晶モニター部.....	27
ビューファインダー部.....	28
内蔵時計の日付/時刻の設定 .....	29
P2カードについて .....	31
P2カードを入れる.....	31
P2カードを取り出す.....	31
誤消去を防ぐには.....	32
P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について .....	32
P2カードの記録時間について .....	33
P2カード記録データの取り扱いについて .....	33
基本手順.....	34
撮影するには .....	35
通常の記録.....	36
バリエーションフレームレート(VFR)記録 .....	37
ネイティブ記録.....	37
スタンダード記録.....	38
VFRの活用 .....	39
1080i/480iのプロGRESSIVEモードで撮影する.....	40
特殊な記録機能について .....	41
プリレック(PRE REC).....	41
インターバル記録(INTERVAL REC).....	42
ワンショット記録(ONE-SHOT REC).....	42
ループレック(LOOP REC).....	43
ホットスワップ記録.....	44
レックチェック(REC CHECK)機能 .....	44
ショットマーク(SHOT MARK)記録機能.....	44
テキストメモ記録機能.....	45
通常再生、および変速再生 .....	46
映像方式と記録フォーマット .....	47
HD/SDマルチフォーマット.....	47
カメラモードでの記録信号の選択.....	47
MCRモードでの記録/再生信号の選択 .....	48
映像出力の選択 .....	48
記録/再生と出力フォーマット一覧.....	49
ホワイトバランス/ブラックバランスの調整 .....	52
ホワイトバランスの調整.....	52
ブラックバランスの調整.....	53
電子シャッターの設定 .....	55
シャッターモード/スピードの設定 .....	55
シンクロスキャンモードの設定 .....	56
USERボタンへの機能割り当て.....	57
音声入力の選択と録音レベルの調整.....	58
音声入力信号の選択.....	58
録音レベルの調整 .....	58
FRONT AUDIO LEVELつまみの機能の選択 .....	59
CH3/CH4の録音レベルについて .....	59

タイムデータの設定.....	60
タイムデータの概要.....	60
タイムコード、およびユーザーズビットの記録.....	61
ユーザーズビットの設定.....	62
ユーザーズビットの入力方法.....	62
タイムコードの設定.....	64
タイムコードを外部ロックさせる.....	67
タイムコードを外部に供給する.....	68
GENLOCKとタイムコード入出力の接続と設定.....	69
カウンターの設定と表示.....	69
ビューファインダーの状態表示.....	70
ビューファインダー画面のランプ表示.....	70
ビューファインダー画面の状態表示の構成.....	70
ビューファインダー画面の表示項目の選択.....	70
画面の表示.....	71
警告表示.....	74
P2カード再生の情報表示.....	75
エラー表示.....	75
カメラ系状態表示.....	76
USERボタンの割り当て情報(MODE CHECK時).....	76
!LED点灯表示(MODE CHECK時).....	76
撮影状態の確認と表示.....	76
マーカー表示の設定.....	77
液晶モニターの調整と設定.....	78
設定データの取り扱い.....	80
設定データのファイル構成.....	80
SDメモリーカードの取り扱い.....	81
SDメモリーカードの操作.....	81
シーンファイルデータの使い方.....	82
SDメモリーカードにシーンファイルなどを保存する.....	84
メモリーカードのご使用について.....	86
電源の供給.....	87
バッテリーの取り付け、および設定.....	87
外部DC電源の使用.....	89
ビューファインダーの取り付け、および位置調整.....	90
ビューファインダーの取り付け.....	90
ビューファインダーの左右位置調整.....	90
視度調整.....	91
画面調整.....	91
ビューファインダーの取り外し.....	92
レンズの取り付けと調整.....	93
レンズの取り付け.....	93
フランジバック調整.....	94
ホワイトシェーディング補正機能.....	94
色収差補正機能(CAC).....	97
音声入力の準備.....	100
フロントマイクを使用する場合.....	100
オーディオ機器を使用する場合.....	101
アクセサリーの取り付け.....	102
三脚への取り付け.....	102
ショルダーベルトの取り付け.....	103
レインカバーの取り付け.....	103
FRONT AUDIO LEVELノブの取り付け.....	103
エクステンションコントローラ(AJ-RC10G)の接続.....	104
サムネール操作について.....	105
サムネールの概要.....	105
サムネール画面.....	106
サムネールの選択.....	107
サムネール表示の切り替え.....	107
サムネールの表示設定.....	108
クリップの操作について.....	110
クリップの再生.....	110
ショットマーク.....	110
クリップの削除.....	111
クリップの修復.....	111

---

**第5章**  
**準備**

---

**第6章**  
**クリップの**  
**サムネール操作**

---

第7章  
メニュー操作

---

第8章  
外部機器との接続

---

第9章  
保守・点検

---

第10章  
保証と  
アフターサービス

---

第11章  
仕様

クリップメタデータの設定 .....	112
P2カード、SDメモリーカードのフォーマット .....	115
P2カードのフォーマット .....	115
SDメモリーカードのフォーマット .....	115
プロパティ .....	116
クリップのプロパティ .....	116
P2カードの状態表示 .....	116
SDメモリーカードの状態表示 .....	118
メタデータアップロードの確認 .....	119
ビューファインダー /LCD画面の設定メニュー表示 .....	120
設定メニューの基本操作 .....	120
設定メニュー項目の初期化 .....	121
設定メニューの構成 .....	122
カメラ(CAM)モードの設定メニュー .....	122
MCRモードの設定メニュー .....	123
メニューの一覧 .....	124
SCENE FILE(シーンファイル)画面 .....	124
CAMERA SETUP(カメラキノウ)画面 .....	125
SW MODE(スイッチモード)画面 .....	126
RECORDING SETUP(記録設定)画面 .....	126
AUDIO SETUP(オーディオ設定)画面 .....	127
OUTPUT SEL(出力信号設定)画面 .....	128
DISPLAY SETUP(表示設定)画面 .....	129
VF! LED(ビューファインダー表示設定)画面 .....	129
BATTERY SETUP(バッテリー設定)画面 .....	130
CARD FUNCTION(SDメモリーカード設定)画面 .....	131
LENS SETUP(レンズ設定)画面 .....	131
OTHER FUNCTIONS(その他の設定)画面 .....	131
OPTION MENU(オプションメニュー)画面 .....	132
USB2.0端子経由で外部機器と接続(PCモード) .....	133
パソコンとの接続手順 .....	133
1394端子経由で外部機器と接続(PCモード) .....	134
パソコンとの接続手順 .....	134
HDD(ハードディスク)との接続手順 .....	135
警告表示について .....	136
1394端子経由でのDVCPRO/DV接続 .....	137
1394端子に入力されたDVCPRO/DV信号の記録 .....	137
撮影前の点検 .....	139
点検の準備 .....	139
カメラ部の点検 .....	140
メモリー記録部の点検 .....	140
メンテナンス .....	143
ビューファインダー内のクリーニング .....	143
アイピースのお手入れ .....	143
CCDカメラ特有の現象について .....	143
内蔵電池の充電 .....	143
警告システム .....	144
警告内容一覧 .....	144
保証とアフターサービスについて .....	146
本機搭載ドライバーのアップデート .....	147
寸法図・定格 .....	148
寸法図 .....	148
定格 .....	148
コネクター信号の内容 .....	151

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡、または重症などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡、または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## ⚠ 危険

**バッテリーパックの説明書をお読みのうえ、正しく使用する**



誤った使い方をされると、液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

(バッテリーパックは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

**充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する**



指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。

(充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

# ⚠ 警告

**DCコードが破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）**



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- DCコードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

**不安定な場所に置かない**



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

**DCコードの電源プラグは、根元まで確実に差し込む**



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

(DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

**指定のカバー以外は外さない**



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。

**付属品・オプションは、指定の製品を使用する**



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

**水場で使用しない**



火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

**SDメモリーカード（別売品）は、乳幼児の手の届く所に置かない**



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**分解や改造をしない**



内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

**異常があったときは、バッテリーを外す**



- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
  - 落下などで外装ケースが破損したとき
  - 煙や異臭、異音などが出たとき
- そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 外部DC電源で使っている場合は、DCコードを外してください。
- 販売店に相談してください。

**外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する**



誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。詳しくは89ページを参照してください。

(DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

**乗り物を運転しながら使わない**



事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

## ⚠ 注意

<p><b>長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す</b></p> <p>火災や感電の原因になります。</p> 	<p><b>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</b></p> <p>電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p> 	<p><b>DCコードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない</b></p> <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p> <p>(DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p> 
<p><b>接続したコードは通路を引き回さない</b></p> <p>足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因にもなります。</p> 	<p><b>移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する</b></p> <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。</p> 	<p><b>レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない</b></p> <p>レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、感電、故障の原因となります。</p> 
<p><b>本機の放熱を妨げない</b></p> <p>●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください</p> <p>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください</p> <p>●横倒し、逆さまにしないでください</p> <p>内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p> 	<p><b>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</b></p> <p>特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。</p> <p>外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。</p> 	
<p><b>本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</b></p> <p>●落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。</p> <p>●重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。</p> 	<p><b>飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う</b></p> <p>●本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響をおよぼすおそれがあります。</p> <p>●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。</p> 	<p><b>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する</b></p> <p>けがや事故の原因になります。</p> 
<p><b>不安定な場所で、三脚を使わない</b></p> <p>倒れると、けがの原因になります。</p> 	<p><b>電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない</b></p> <p>本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。</p> <p>長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。</p> <p>* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や、皮膚感覚が弱い人など（高齢者）は、低温やけどになりやすい傾向があります。</p> 	

## ご使用の前に

### ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH  
Ni-Cd  
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

### レーザー光線についてのご注意

レーザー光線がCCDに照射されると、CCDを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

### 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、およびP2カードの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

### メモリーカードを破棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコン機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

### 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOCという名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文【英文】で記載しております。)

また、ソースコードの入手については、下記のウェブサイトを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

MITの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOCという名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文【英文】で記載しております。)

### 商標について

- SDロゴは商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OSは、Apple, Inc.の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、および各国における商標、または登録商標です。
- その他会社名・商品名は、各社の商標、または登録商標です。

### USBドライバーインストール時のご注意

本機 (AG-HPX555) 付属のCD-ROMから、USBドライバーをパソコンにインストールするときは、“AG-HPX500”を選択してください。

# 第1章 概要

P2メモリーカードカメラレコーダーAG-HPX555は、高性能の交換レンズが使える2/3型マウント、50Hz/59.94Hz切り替えも可能なHD/SDマルチフォーマット、シネライクな画質と演出を可能にするバリエラブルフレームレート（VFR）などにより、高画質・高品質の映像コンテンツ制作をサポートします。

P2カードスロットを4基備え、長時間のHD収録にも対応できるほか、P2ならではの信頼性・即時性・IT機能で、収録・編集のワークフロー革新をもたらします。

## カメラ部の特長

### ■ 2/3型交換レンズ方式

2/3型バヨネットマウントによる交換レンズ方式。バリエーション、性能ともに各社から豊富なラインナップがリリースされている、放送用・業務用の2/3型ズームレンズが使用できます。

### ■ プログレッシブ3CCD

受光面積が広く高感度が得られる2/3型プログレッシブ3CCDを搭載。3CCDによる1/2ピッチピクセルシフト技法と高精度デジタル・プロセスにより、高解像度を実現。カメラ部は常時1080/60P（または50P）の高解像度&高速レートでスキャン。これにより得られる垂直解像度の高いネイティブ・プログレッシブ映像をソースにすることにより、インターレースCCDでは望めない高画質のHD/SD映像が得られます。

### ■ 14bitデジタル回路

14-bit A/D変換・19-bit内部演算処理の高性能DSP（デジタル・シグナル・プロセッサ）を搭載。1080/60P（または50P）映像のR/G/B各色に対してガンマ設定やその他の調整を行い、各種HD/SDフォーマットへの変換（P/I変換、ラインコンバート、ダウンコンバート）までを一括して処理します。これにより、どの映像フォーマットにおいても高画質の映像出力が得られます。

### ■ HD/SDマルチフォーマット

20種類のHD/SD映像フォーマット収録をサポート。ニュース取材・番組制作・映画制作のほかあらゆる用途と、全世界に向けたコンテンツ制作に応えます。1080i/720P HD収録は放送用として信頼の高いDVCPRO HDコーデック、SD映像はDVCPRO50/DVCPRO/DVのマルチコーデックが選択できます。

### ■ スピードエフェクトを可能にするバリエラブルフレームレート機能を搭載（720Pフォーマット選択時）

シネマ用HDカメラVARICAMのために開発されて好評のバリエラブルフレームレート機能を搭載。720Pモード時\*、12P～60P（50P）間の11ステップから任意のフレームレートが選択できます。フィルムの撮影手法であるアンダークランク（コマ落とし撮影）/オーバークランク（高速度撮影）を駆使して、クイックモーション/スローモーションの演出が可能です。

\* 1080、および480では24P/30P（50Hzモード1080、576では25P）の固定フレームレートとなります。

### ■ ネイティブモード / over 60P（50P）モード切り替え

● 720PN（ネイティブ）モード\*：カメラのフレームレートのまま記録。任意のフレームレートで収録した素材をノーマルレートで再生することによりフレームレートコンバーターなしでスピードエフェクトの効果を実現できます。記録時間も長く確保できます。

● 720P over 60P（または50P）モード：1394端子からDVCPRO HDストリームが出力でき、DVCPRO HDレコーダーAJ-HD1400やFOCUS社のHDDレコーダーFS-100などを用いたバックアップ収録が可能。

\* 720PN（ネイティブ）モードは、1394端子からDVCPRO HDストリーム出力はできません。

## ■ 1080/480 24Pアドバンスモード

59.94Hzモードでの1080/24P、または480/24P収録では24PA（アドバンス）モードが選択可能。24PAモードは2:3:3:2プルダウン方式で60i変換を行うことにより、一般の24P（2:3プルダウン）よりも高画質を維持したノンリニア編集\*ができます。30P、または25P（50Hzモード）収録は2:2プルダウン方式です。

\* 対応システムの詳細は下記のウェブサイトを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/ieee1394>

\* 24Pは23.98P、30Pは29.97P、60P/60iは59.94P/59.94iで記録されます。

## ■ シネライクガンマなど8モードのガンマカーブ

DSPにはパナソニック独自のセレクトブルガンマも内蔵。フィルムトーンが得られるシネライクガンマ、報道取材用のニュースガンマなど8モードのガンマカーブが選べ、映像制作の幅を広げます。

## ■ スロー/シンクロ/ハイスピード・シャッター

最長1/12秒のスローから最高1/2000秒までのハイスピードまで、シャッター速度を任意に選べます。バリアブルフレームレートと組み合わせることで、ブラー効果やコマ落とし効果が得られます。モニター画面等の収録に適したシンクロスキャン機能も備えています。

## ■ シーンファイルダイヤル

撮影状況に応じた設定を瞬時に呼び出せる専用ダイヤルを装備。6つのプリセットファイルがすぐ使用できるほか、名称・設定値を任意に変更できます。また、ファイルはSDメモリーカードに4ファイルまで保存/読み込むことができます。

## ■ シューティングアシスト機能

- USERボタン：3個のUSERボタンそれぞれに使用頻度の高い機能を割り当て、ワンタッチで実行。
- フォーカスアシスト：撮像信号の周波数分布をグラフ表示することによりピント合わせをアシスト。
- 交換レンズに対応する、レンズ収差補正8ファイルとシェーディング補正4ファイルを装備。
- 色温度可変：ホワイトバランス設定後に微調整可能。
- レックチェック：記録終端部を素早く再生チェック。
- 4ポジションの光学NDフィルターを装備。

## ■ 色収差補正機能（CAC）

レンズ自体で補正しきれない、わずかな色収差などが主な原因で起こるレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体にて自動的に補正し、周辺画像の色にじみを最小限に抑える機能を搭載しました。

## ■ リモートコントロール対応

リモートコントロールユニット（別売/AJ-RC10G）対応。リモート側でカメラ映像をモニターしながら、カメラ映像の調整や収録操作など本機をコントロールできます。

## 記録・再生部の特長

### ■多彩なインターフェース

全フォーマットで16ビット48kHz非圧縮の高音質デジタルオーディオの収録が可能。しかも4チャンネルを備え、マイク入力とライン入力を合わせて最大4チャンネルが入力できます。HD-SDI出力、タイムコード入/出力、GEN Lock入力、USB2.0端子を搭載。また、IEEE1394インターフェイス（6ピン）も標準装備し、全HD/SD信号フォーマットを、無劣化伝送することが可能です。IEEE1394を介してDVCPRO HDに対応したソフトウェアを搭載したWindows PCやMacintoshなどのノンリニア編集機器にデータを転送したり、DVCPRO HDデジタルVTR(AJ-HD1400)やFOCUS社のHDDレコーダーFS-100と接続してバックアップ収録をする事も可能です。

### ■大容量・高速転送・高信頼性のP2カード

P2 (Professional Plug-in) カードは放送業務用メモリーカード。4枚のSDメモリーカードをパッケージすることで、質量約45グラムの軽量薄型ながらSDメモリーカードの4倍の容量を実現しています。衝撃・振動・温度変化に強い半導体メモリー自体の特性に加え、記録再生時にテープやディスクのような回転や接触がなく高い信頼性を誇るとともに、長期にわたって記録/初期化の反復使用が可能です。また、コネクタ部のプロユース設計により、抜き差し耐久性を高めています。

P2カードには収録A/Vデータはカットごとのファイルとして記録され、デジタイズ不要でノンリニア編集やネットワーク転送が可能。ディスクを圧倒する転送速度で軽快に作業できます。また、P2カード規格に準拠しており、パソコンのP2カードスロットにダイレクトにプラグインすることも可能です。<sup>\*1</sup>

P2カードスロットは4つ装備されており、P2カード4枚分の連続記録ができるほか、メモリーカードレコーダーならではの下記の記録機能を備えています。

- カードセレクト：記録スロットの選択（切り替え）はスタンバイ状態で瞬時に行えます<sup>\*2</sup>。収録したばかりの素材をすぐに編集・送出に回す場合、テープやディスクの交換に比べてはるかに短い中断で収録を続けられます。
- ホットスワップレック：収録中でもカード交換できます。別のカードスロットで収録を続けながら、収録済カードをブランクカードと順次交換することで、中断することのないエンドレス記録が可能です。
- ループレック：指定した記録領域内で順次ループ記録することにより、常に過去の一定時間の収録を保持することができます。

<sup>\*1</sup> P2カードドライバー（各機器に付属）のインストールが必要です。P2カードドライバーはWindows VistaおよびWindows XPで動作します。

<sup>\*2</sup> USERボタン（USER MAIN/USER1/USER2）にSLOT SEL機能を設定してください。

### ■瞬時のスタートと安全なデータ保護

スタンバイ状態からの記録スタートは瞬時。収録はカードの空き領域に自動的に行われるため、VTRのようにブランク部分を頭出しする必要もありません。プレビュー中でもREC START/STOPボタンを押すだけで即座に収録が開始できます。また、通常モードでは収録済データが上書きによって消失することはありません。ファイル消去やカードの初期化を行わない限り安心です。

### ■その他の特長

- プリレック：決定的な瞬間の撮り逃がしをリカバリー。スタンバイ状態でカメラに入る映像・音声をHDは約3秒、SDは約7秒間メモリー。記録スタートで秒数をさかのぼって記録します。
- ワンショット記録：スタートボタンを押すごとに設定した時間（1フレーム～1秒）の収録を行う、アニメーション制作に便利な機能。
- インターバル記録：設定した間隔（2フレーム～10分）で1フレームの収録を続ける間欠記録モード。監視・観察、または超アンダークラック撮影として特殊な演出することができます。

## ■クリップサムネールのプレビュー

収録はカットごとにクリップ（ファイル）として記録。各クリップにはサムネール画像とファイル情報が自動的に付属。液晶モニター（LCD）でのプレビュー時に、サムネールの一覧表示から選択したクリップをすぐに再生したり、クリップのデータを確認することができます。また、このサムネールとファイル情報はパソコン（P2 Viewer\*）、またはノンリニア編集ソフトでも表示されます。

\* P2 ViewerはP2ユーザーに無償ダウンロード提供される、Windows PC用のビューイングソフトです。

## ■ショットマークとテキストメモ

OK/NGなどのマーキングに便利なショットマークはクリップごとに付けられます。収録中はもちろん、収録後でも行えます。パソコン（P2 Viewer）にマウント時にはマークしたクリップだけを表示することができます。テキストメモ機能も装備しており、収録中、またはプレビュー中にクリップ中の任意の場所（最大100カ所）でテキストメモを割り当てたUSERボタンを押すことで、付せんのように空のテキストメモが登録されます。あとから、パソコン（P2 Viewer）でメモを検索してテキストを書き込むことができます。

## ■SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードスロットを装備。シーンファイル、ユーザー設定ファイルのセーブ/ロードが可能です。また、撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイル（P2 Viewerにて作成）をSDメモリーカードに記録しておき、クリップメタデータとして読み込むことができます。

## ■HD/SD SDI出力とダウンコンバーター装備

映像ライン出力系統（各BNC）を標準装備。モニターやライン収録にフレキシブルに対応します。ダウンコンバーターも内蔵しており、アスペクトモードも選択できます。

- SDI OUT (HD/SD)：HD-SDI出力では外部VTR（HD-SDI入力対応）で記録スタート/ストップと連動したバックアップ収録が可能。SD-SDIはHDダウンコンバート出力も可能です。
- VIDEO OUT: ダウンコンバートSD映像（コンポジット）を出力。

## ■音声記録レベルと微調整用ボリューム装備

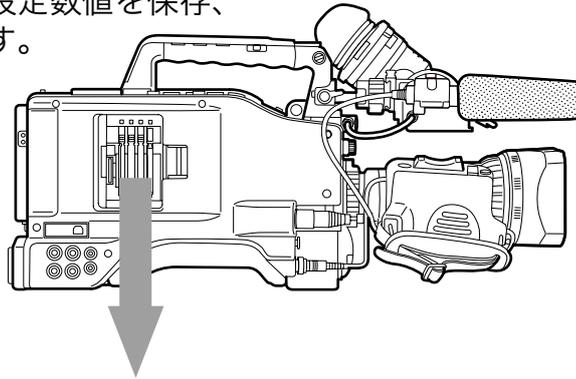
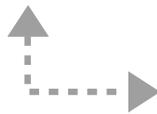
FRONT 音声レベル調整ボリューム機構を搭載。本機の前面部に、音声記録レベルの微調整用ボリュームを装備しています。特に、一人での撮影時における音声レベルの調整に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。

# 本機の使い方

本機では、P2カードで記録することができます。大容量で転送速度にすぐれたP2カードは、HD記録を始めとして、スムーズな編集やダビングが行えます。

## 本機での撮影、再生、保存

SDメモリーカードに、ユーザーファイルなどの設定数値を保存、読み出しできます。



**P2カードへの撮影と再生**  
(→31、34ページ)

### P2カード

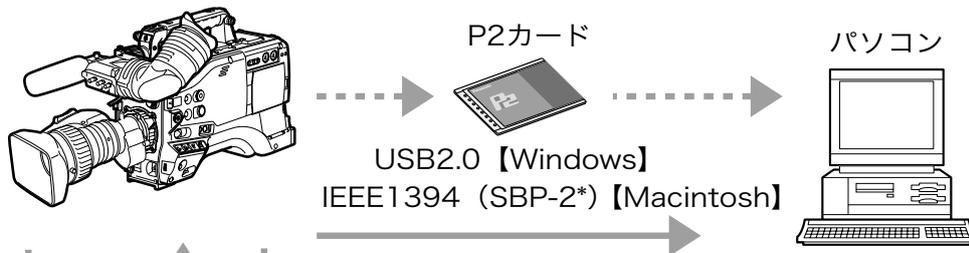


- HD記録
- マルチフォーマット記録
- バリエーションフレームレート  
スロー&クイックモーション記録
- 最大4CHの非圧縮デジタルオーディオ記録  
などができます。

## 外部機器を使った編集、保存

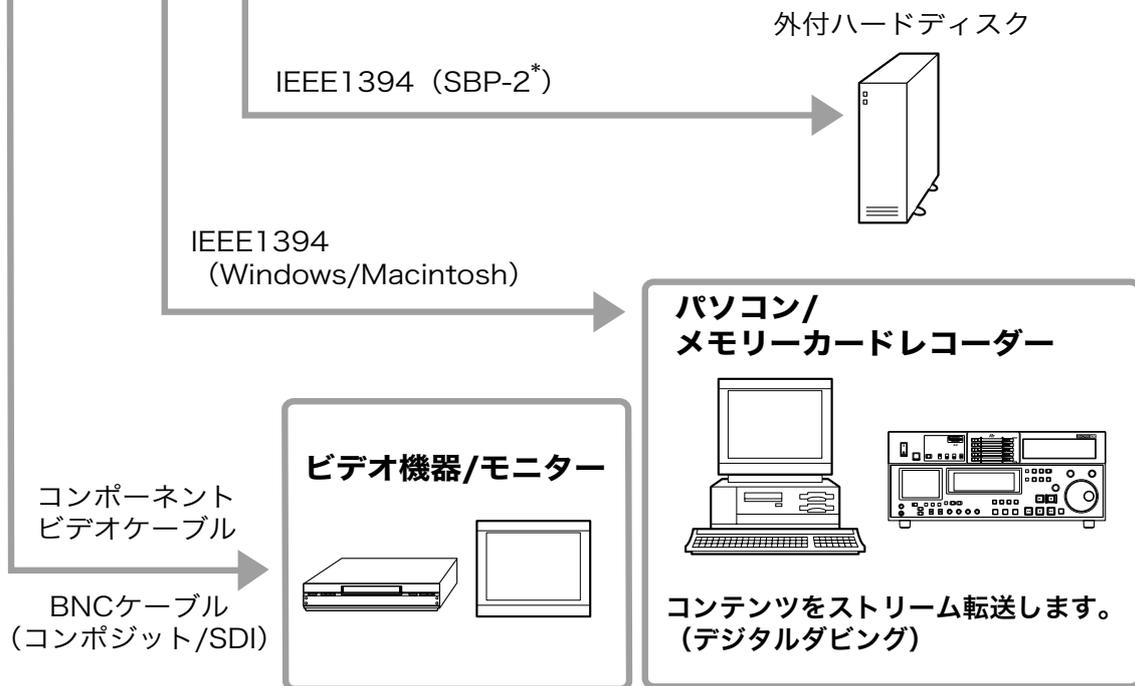
### USB2.0端子経由で外部機器と接続 (→133ページ)

パソコンなどでノンリニア編集を行うためのデータ（ファイル）転送をします。



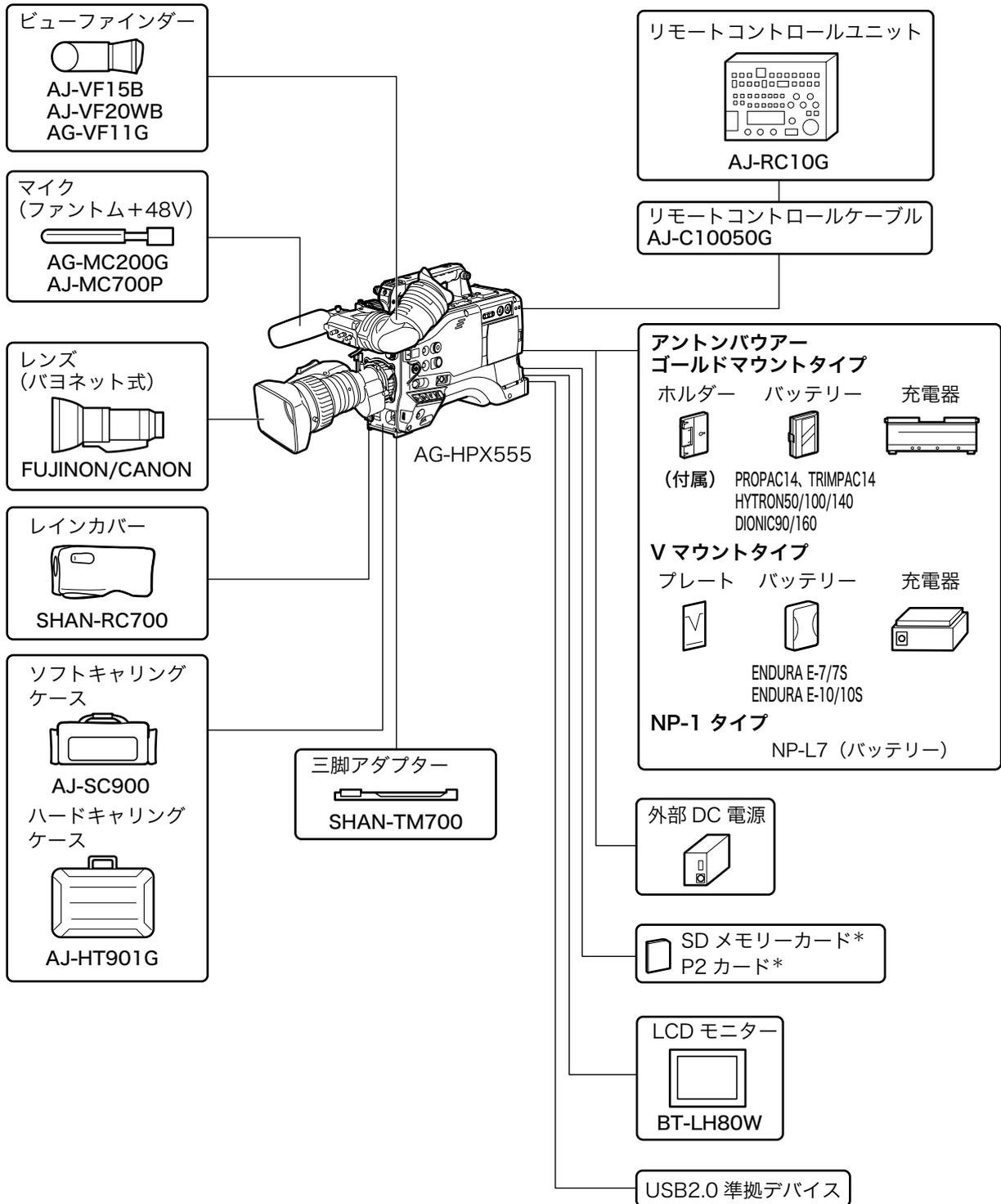
### 1394端子経由で外部機器と接続 (→134ページ)

本機が直接外部ハードディスクをコントロールして、データ転送します。



\*Serial Bus Protocol-2

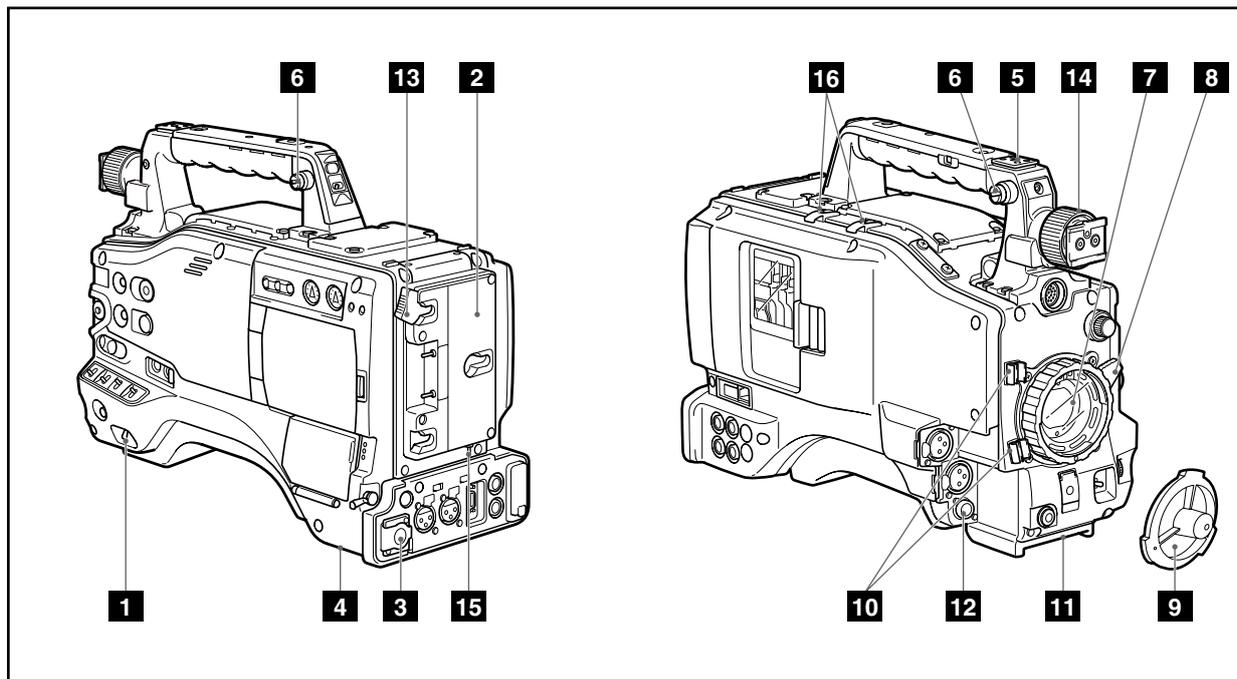
# システム構成



\* P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトのP2のサポートサイトを参照してください。  
<http://panasonic.biz/sav/>

# 第2章 各部の名称と機能

## 電源部、およびアクセサリー取り付け部



### 1 POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

### 2 バッテリーマウント

アントン・パワー製のバッテリーパックを取り付けます。

→「バッテリーの取り付け、および設定」(87ページ) 参照

### 3 DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)

外部DC電源と接続します。

→「外部DC電源の使用」(89ページ) 参照

### 4 BREAKERスイッチ

何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して自動的に電源OFFになり、機器を保護します。本機内部の点検、および修理を行ったあと、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源ONになります。

### 5 ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

### 6 ショルダーベルト取付金具

ショルダーベルトを取り付けます。

→「ショルダーベルトの取り付け」(103ページ) 参照

### 7 レンズマウント (2/3型バヨネット式)

レンズを取り付けます。

→「レンズの取り付け」(93ページ) 参照

### 8 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

→「レンズの取り付け」(93ページ) 参照

### 9 レンズマウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップを取り付けます。

### 10 レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ

レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。

→「レンズの取り付け」(93ページ) 参照

### 11 三脚マウント

本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。

→「三脚への取り付け」(102ページ) 参照

### 12 LENS端子 (12ピン)

レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書を参照してください。

### 13 バッテリー取り外しレバー

バッテリー取り外しレバーを下まで倒してバッテリーパックを取り外します。

### 14 ビューファインダー左右位置固定リング

→「ビューファインダーの左右位置調整」(90ページ) 参照

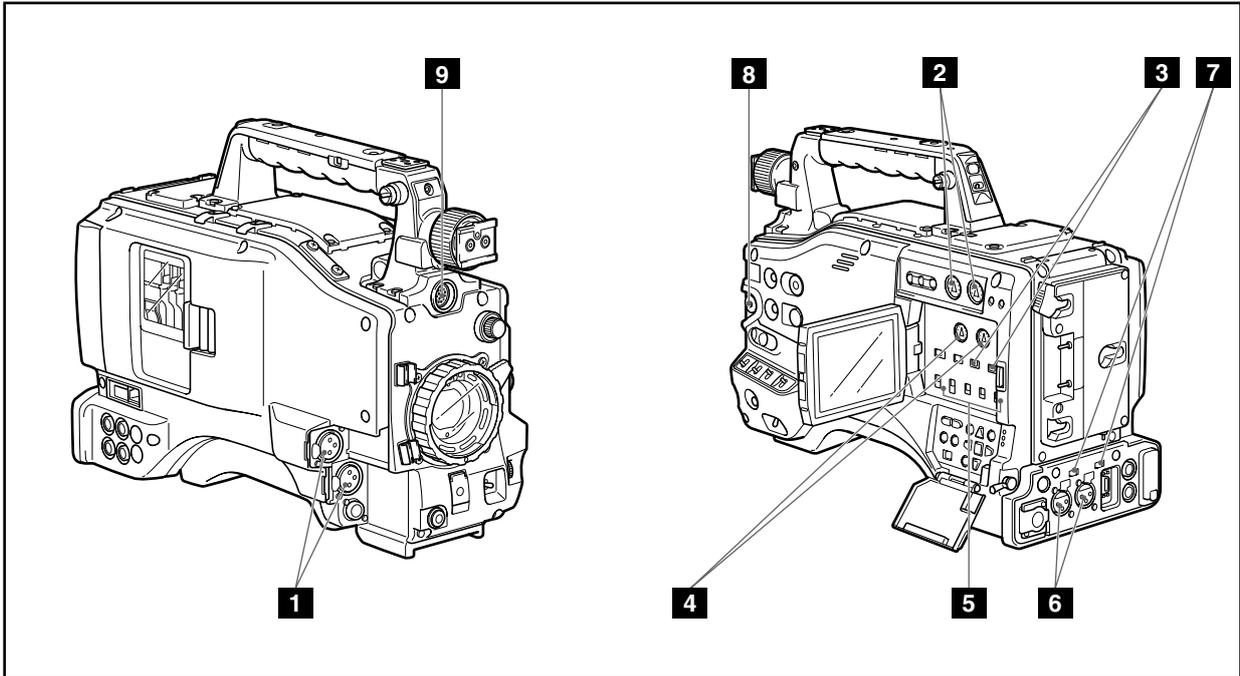
### 15 照明コントロールスイッチ

→「電源の供給」(87ページ) 参照

### 16 ケーブルホルダー

ライトケーブル、マイクケーブルの固定に使用します。

## 音声機能部 (入力系)



### 1 MIC IN (マイク入力) 端子

#### FRONT1/FRONT2 (XLR, 3ピン)

- ・マイクロホン (別売品) を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給されます。
- ・ファントムマイクの使用も可能です。使用するとき、設定メニューのAUDIO SETUP画面のF.MIC POWER1とF.MIC POWER2項目をONに設定してください。

→ 「音声入力の準備」(100ページ) 参照

### 2 AUDIO LEVEL CH1/CH2 (音声チャンネル1/2録音レベル調整) つまみ

- ・AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。
- ・つまみには、ロック機構がありますので、調整するとき、つまみを押し込みながら回して調整してください。

### 3 AUDIO SELECT CH1/CH2 (音声チャンネル1/2自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2の録音レベルを調整する方法を選びます。

**AUTO:** 自動で調整されます。

**MAN:** 手動で調整します。

### 4 AUDIO LEVEL CH3/CH4 (音声チャンネル3/4録音レベル調整) つまみ

設定メニューのAUDIO SETUP画面のAUTO LEVEL CH3/AUTO LEVEL CH4項目をOFFに設定すると、これらのつまみで音声チャンネル3/4の録音レベルが調整できます。

### 5 AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

**FRONT:** MIC IN端子に接続したマイク入力信号を録音します。

**REAR:** REAR1/REAR2端子に接続したオーディオ機器、またはマイクロホンからの音声入力信号を録音します。

CH1	入力	CH2	入力
FRONT1	FRONT1 端子	FRONT	FRONT2 端子
FRONT2	FRONT2 端子	REAR	REAR2 端子
REAR	REAR1 端子	—	—

CH3	入力	CH4	入力
FRONT	FRONT1 端子	FRONT	FRONT2 端子
REAR	REAR1 端子	REAR	REAR2 端子

#### [NOTE]

フロントマイク (AG-MC200Gなど) をFRONT2のみ入力した場合、AUDIO INスイッチのCH1をFRONT2に、CH2~CH4をFRONT側に設定して、MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4切り替えスイッチをCH3/4側に切り替えると、CH3側は無音となります。

**6 REAR1/REAR2 (音声入力チャンネル1/2) 端子 (XLR、3ピン)**

オーディオ機器、またはマイクロホンを接続します。

→「オーディオ機器を使用する場合」(101ページ) 参照

**7 LINE/MIC/+ 48V (ライン入力/マイク入力/マイク入力+ 48V) 切り替えスイッチ**

REAR1/REAR2端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

**LINE:** ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

**MIC:** 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給しません)

**+ 48V:** 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給します)

**[NOTE]**

設定メニューのAUDIO SETUP画面のR.MIC POWER項目がONに設定されている場合、電源を供給します。

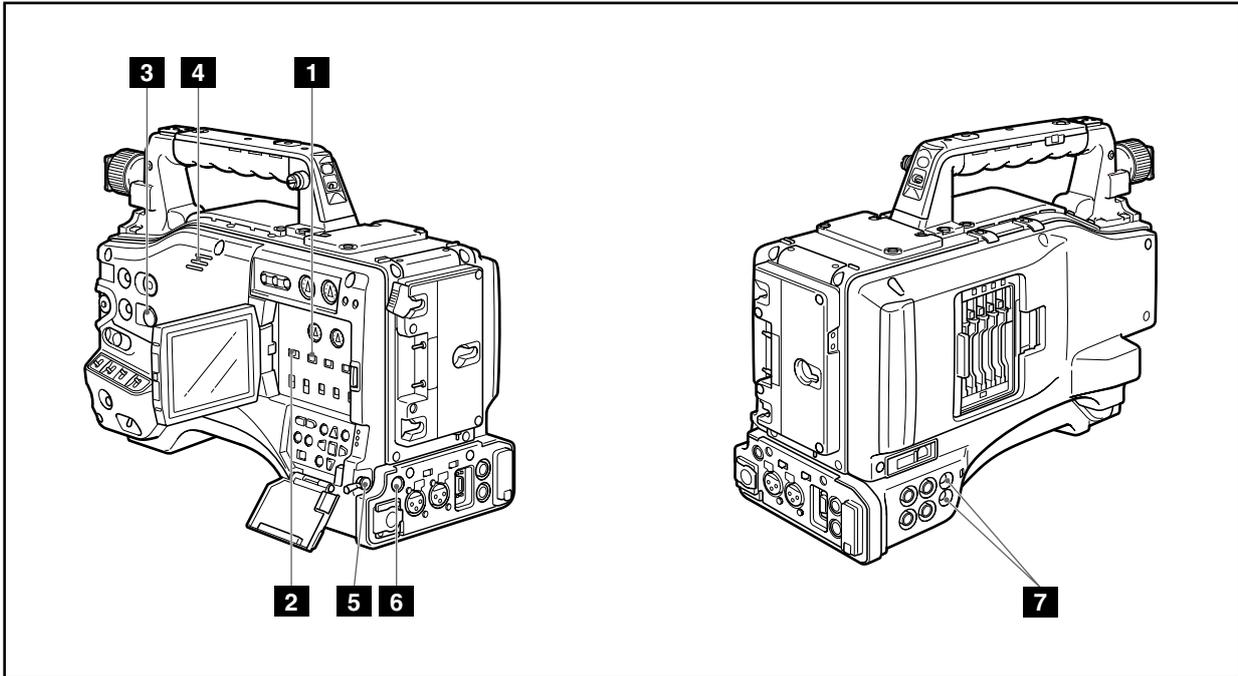
**8 FRONT AUDIO LEVEL (音声録音レベル調整) つまみ**

- ・音声チャンネル1、および2の録音レベルが調整できます。
- ・AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。
- ・設定メニューのAUDIO SETUP画面のFRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、このボリュームの操作を、どの入力端子に対して有効にするかを設定できます。

**9 ビューファインダー接続端子**

→「ビューファインダーの取り付け」(90ページ) 参照

## 音声機能部（出力系）



### 1 MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4切り替えスイッチ（音声チャンネル選択）

スピーカー、イヤホン、およびAUDIO OUT端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

**CH1/2:** 音声チャンネル1、および2の信号を出力します。

**CH3/4:** 音声チャンネル3、および4の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、ビューファインダー/LCD画面のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

### 2 MONITOR SELECT CH1/3/ST/CH2/4切り替えスイッチ（音声選択）

MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4切り替えスイッチに連動して、スピーカー、イヤホン、およびAUDIO OUT端子からの音声出力を選択します。

MONITOR SELECTスイッチ（左）		MONITOR SELECTスイッチ（右）	
		CH1/2	CH3/4
MONITOR SELECT	CH1/3	音声チャンネル1	音声チャンネル3
	ST	音声チャンネル1と2のステレオ	音声チャンネル3と4のステレオ
	CH2/4	音声チャンネル2	音声チャンネル4

### 3 MONITOR/ALARM（音量調整）つまみ

モニタースピーカー、イヤホン、アラームの音量を調整します。

### 4 スピーカー

記録中はEE音声を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。なお、警告アラーム出力中は、EE音声や再生音声は出力しません。

PHONES端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

### 5 PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

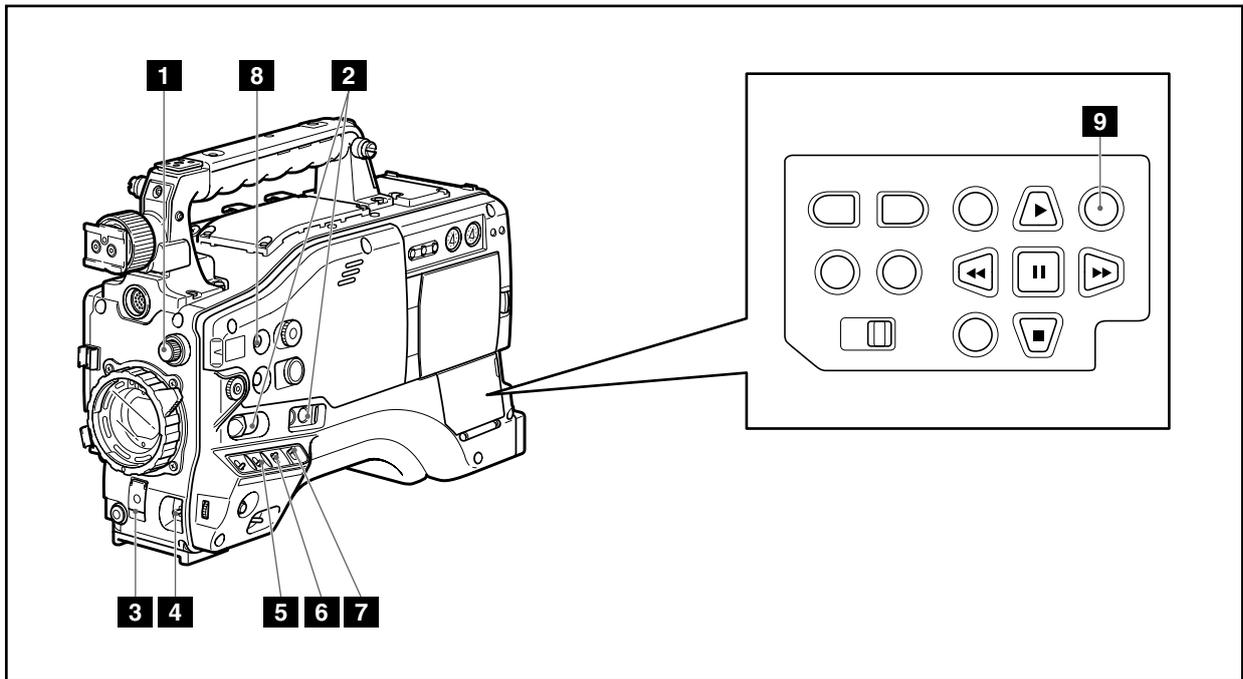
### 6 DC OUT（DC電源）出力端子

DC12Vの出力端子です。最大1.5Aの電流を取り出すことができます。

### 7 AUDIO OUT端子

- ・音声チャンネル1/2、または音声チャンネル3/4に記録された音声信号を出力します。
- ・出力される信号は、MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4切り替えスイッチで選択します。

## 撮影・記録 / 再生機能部



### 撮影・記録 (カメラ部)

- 1 ND FILTER (フィルター切り替え) つまみ**  
 CCDに入る光の量を調整します。外光が強いときに使用します。

つまみ位置	設定	内容
1	OFF	NDフィルターを使用しない
2	1/4	CCDに入る光の量を1/4にする
3	1/16	CCDに入る光の量を1/16にする
4	1/64	CCDに入る光の量を1/64にする

- 2 USER MAIN/USER1/USER2 ボタン**  
 メニュー操作で、ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能の動作をします。

→「USERボタンへの機能割り当て」(57ページ) 参照

- 3 シャッタースイッチ**  
 電子シャッターのON/OFF切り替えスイッチです。

**OFF:** 電子シャッターは動作しません。

**ON:** 電子シャッターが動作します。

**SEL:** 電子シャッターの速度を変更することができます。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作することにより、シャッター速度が変化します。

→「電子シャッターの設定」(55ページ) 参照

- 4 AUTO W/B (WHITE/BLACK) BAL スイッチ**

<b>AWB</b>	ホワイトバランスを自動調整します。側面のWHITE BALスイッチがPRSTの位置にして、スイッチを操作すると、数秒で調整され、調整値がメモリーに記録されます。 WHITE BALスイッチがPRSTの位置のとき、AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して色温度が表示中に、もう一度AWB側に倒すと、プリセット色温度を変更することができます。
<b>ABB</b>	ブラックバランスを自動調整します。

→「ホワイトバランス/ブラックバランスの調整」(52ページ) 参照

- 5 GAIN スイッチ**

・撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

・M/Hポジションのゲイン値は、設定メニューのSW MODE画面のMID GAIN項目とHIGH GAIN項目で設定できます。

・出荷時の設定は、L = 0dB、M = 6dB、H = 12dBです。

**【NOTE】**

FRAME RATEが22fps (59.94Hz)、または23fps (50Hz) 以下の場合、GAINスイッチの位置・設定に関係なく、ゲインは0dBに固定されます。

## 6 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号を選択します。

<b>CAM. AUTO KNEE ON</b>	カメラで撮影している映像が出力され、AUTO KNEE回路が動作します。受光した信号に応じて映像信号を圧縮するレベル(KNEEポイント)が自動的に変化します。
<b>CAM. AUTO KNEE OFF</b>	カメラで撮影している映像が出力され、AUTO KNEE回路は動作しません。KNEEポイントはメニュー操作で設定されたレベルに固定されます。
<b>BARS</b>	カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE回路は動作しません。

### [NOTE]

#### ■ AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE機能は下記のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内、または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影するとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

## 7 WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

**PRST:** ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。

- ・工場出荷時は、3200K に設定しています。
- ・設定メニュー、または色温度表示中に AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に倒すと、色温度を 3200K と 5600K に切り替えることができます。

**A・B:** AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押すとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー B に記憶されます。

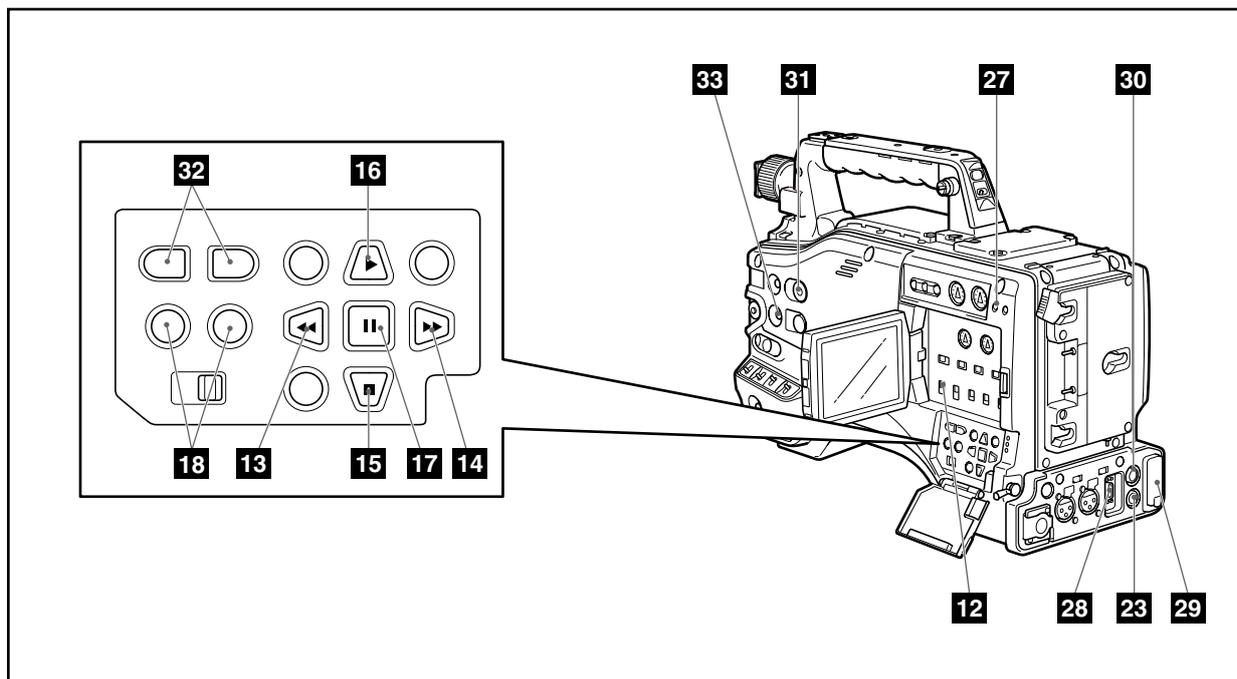
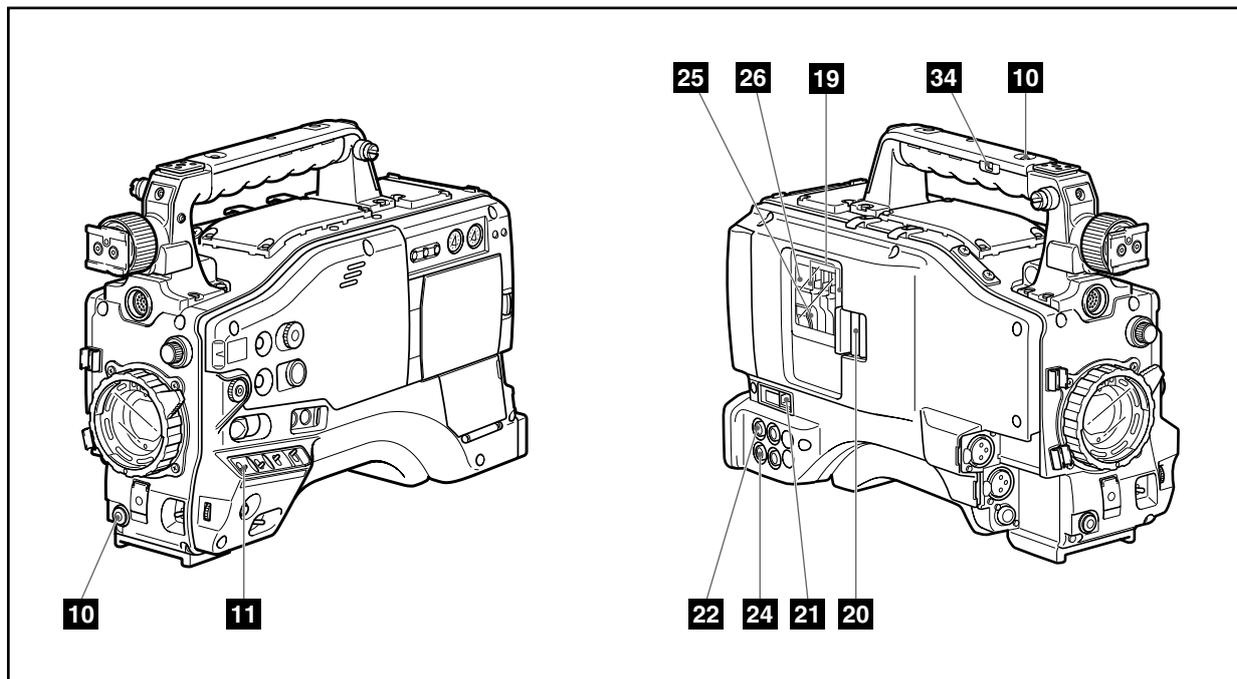
→「ホワイトバランスの調整」(52 ページ) 参照

## 8 DISP/MODE CHK ボタン

- ・ボタンを押すと、ビューファインダー/LCD 画面の表示がすべて消えます。(タイムコード表示などは除く)
- ・再度押すと、もとの表示状態に戻すことができます。押し続けると、各種撮影状態や USER スイッチの割り当て内容が表示されます。
- ・また、警告時のアラーム音を止めることもできます。

## 9 MODE ボタン

- ・ボタンを押すごとに、カメラモードと MCR モードが切り替わります。
- ・MCR モードで 2 秒以上押し続けると PC モードに切り替わります。PC モードではこのボタンは動作しなくなります。PC モードからほかのモードに切り替えるには、一度電源 OFF にしたあと、再度 ON にすると、カメラモードになります。
- ・現在のモードは、モード LED でわかります。



## 撮影・記録/再生機能部（記録部）

### 10 REC START/STOP ボタン

ボタンを押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。

このボタンは、レンズ側のVTRボタンと同じ働きをします。

なお、MCRモード時に押すと、自動的にカメラモードに切り替わり、記録を開始します。

### 11 SAVE スイッチ

カメラを省電力状態にします。

**ON:** 液晶モニター（LCD）を強制的にOFFにします。

**OFF:** 液晶モニター（LCD）は動作します。

SAVEスイッチがONのときは、ビューファインダー画面の動作状態表示は消えます。ただし、特殊記録中は表示します。

### 12 OUTPUT CHARACTER スイッチ

映像出力（VIDEO OUT、コンポーネントOUT、およびSDI OUT）への各種ステータスや設定メニューなどのキャラクター情報の重畳を制御します。

**ON:** キャラクターを重畳します。

**OFF:** キャラクターを重畳しません。

### 13 ◀REW（早戻し） ボタン

停止中に押すと高速逆再生になります。

再生中に押すと約4倍速の高速逆再生になります。また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

### 14 ▶▶FF（早送り） ボタン

停止中に押すと高速再生になります。

再生中に押すと約4倍速の高速再生になります。また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

### 15 ■ STOP（停止） ボタン

再生を停止するときに押します。

### 16 ▶PLAY（再生） ボタン

ビューファインダー画面やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。

### 17 || STILL（一時停止） ボタン

再生中に押すと、再生モードを一時停止します。

### 18 REC ボタン（赤・白）

赤・白ボタンを同時に押すと1394入力信号の記録を開始し、STOPボタンを押すと停止します。

#### 【NOTE】

1394入力信号を記録するときは、必ずMCRフォーマットと入力信号のフォーマットを一致させてから記録してください。また、途中でフォーマットが変わったり無入力になったりしないようにしてください。

### 19 P2カードアクセスLED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」（32ページ）参照

### 20 スライドロックボタン

P2カード挿入部のスライドとびらを開けるボタンです。このボタンを押しながら、スライドとびらを左に引いて開けます。

### 21 USB2.0 端子

USB2.0ケーブルを接続します。

USB2.0を使ったデータ転送は設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のPC MODE項目でUSB DEVICEに設定することで可能になります。また、このとき本機で記録再生や、クリップの操作はできません。

→「USB2.0端子経由で外部機器と接続（PCモード）」（133ページ）参照

### 22 GENLOCK IN 端子

カメラ部にGENLOCKをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。

#### 【NOTE】

- ・入力基準信号は、HDのY信号（1080/60i、720/60P、1080/50i、720/50P、またはコンポジット信号（480/60i、または576/50i）を供給してください。

- ・再生時はGENLOCKがかかりません。

- ・本機のダウンコンバーター出力（コンポジット信号）のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

### 23 REMOTE 端子

エクステンションコントロールユニットAJ-RC10G（別売品）を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

→「エクステンションコントローラ（AJ-RC10G）の接続」（104ページ）参照

### 24 VIDEO OUT（ビデオ信号出力） 端子

映像の出力端子です。

- ・HD時は、ダウンコンバートされたコンポジットビデオ信号を出力します。

- ・信号出力は、設定メニューのDISPLAY SETUP画面のDOWNCON MODE項目で設定することができます。（工場出荷時は、LETTER BOXに設定されています）

#### 【NOTE】

13 ~ 18は、MCRモード時のみ動作します。

## 25 SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード(別売品)の挿入口です。メタデータのアップロード、ユーザーファイル、シーンファイルの読み込みや書き込みなどで使用します。

### 【NOTE】

#### ■SDメモリーカードの使用上の注意

- ・本機には、SDカード規格、またはSDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。
- ・MMC(マルチメディアカード)は使用できません。(撮影することができなくおそれがありますので、ご注意ください)
- ・mini SDカードを本機で使用する場合は、必ず、mini SDカード専用のアダプターを装着してご使用ください。(mini SDアダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。アダプターには必ず、メモリーカードを入れてご使用ください)
- ・当社製のSDメモリーカード、およびmini SDカードをご使用いただくことをおすすめします。また、フォーマットは必ず、本機で行ってください。
- ・本機では、8MB/16MB/32MB/64MB/128MB/256MB/512MB/1GB/2GBの容量のSDメモリーカード、および4GBのSDHCメモリーカードが使用できます。
- ・取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、上記のウェブサイトのP2のサポートサイトを参照してください。

#### ■SDメモリーカード、SDHCカードについて

- ・SDロゴは商標です。
- ・SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- ・MMC(Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。

## 26 BUSY(動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプで、動作時に点灯します。

### 【NOTE】

ランプ点灯時は、カードを出し入れしないでください。

## 27 R-SIDE P2カードアクセスLED

4スロットすべてのP2カードのアクセス状態を表示します。いずれかのP2カードにアクセス中、点滅します。カードが入っている場合は点灯します。→「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(32ページ) 参照

## 28 COMPONENT OUT 端子 (D4 端子)

- ・コンポーネントビデオ信号を出力します。
- ・設定メニューのOUTPUT SEL画面のCMPNT/SDI SEL項目でAUTO、1080i、480i、576iを設定することができます。アップコンバートには対応していません。

## 29 1394 端子

- ・IEEE1394ケーブルを接続します。
- ・IEEE1394を使ったデータ転送は設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のPC MODE項目で1394 DEVICE、または1394HOSTに設定することで可能になります。  
→「1394端子経由で外部機器と接続(PCモード)」(134ページ) 参照

## 30 SDI OUT 端子

- ・SDI信号を出力します。
- ・設定メニューのOUTPUT SEL画面のCMPNT/SDI SEL項目でAUTO、1080i、480i、576iを設定することができます。アップコンバートには対応していません。

## 31 SCENE FILE ダイアル

あらかじめ各ポジションに対応して記録したシーンファイルの撮影条件を読み出して設定します。

### 【NOTE】

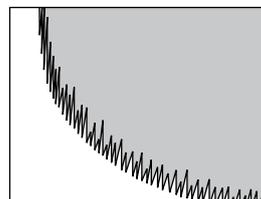
撮影中に記録フレームレートが変わるポジションにダイヤルを変更しても記録フレームレートは変わりません。記録待機状態になったときに変更されます。  
→「シーンファイルデータの使い方」(82ページ) 参照

## 32 PAGE/VAR ボタン

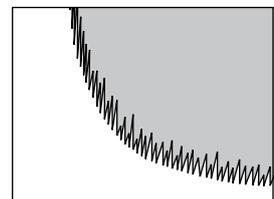
- ・サムネール表示中に押すとページをめくります。
- ・可変速再生中にこのボタンを押すと、再生速度を変更することができます。また、再生の一時停止中(STILL)に押すと、コマ送り動作します。

## 33 FOCUS ASSIST ボタン

フォーカスアシスト機能をON/OFFします。フォーカスアシスト機能をONにすると、ビューファインダー/LCD画面の右上に周波数分布グラフが表示されます。グラフが右に表示されるよう、レンズのフォーカスリングを調整してください。



ピントが合っていないとき



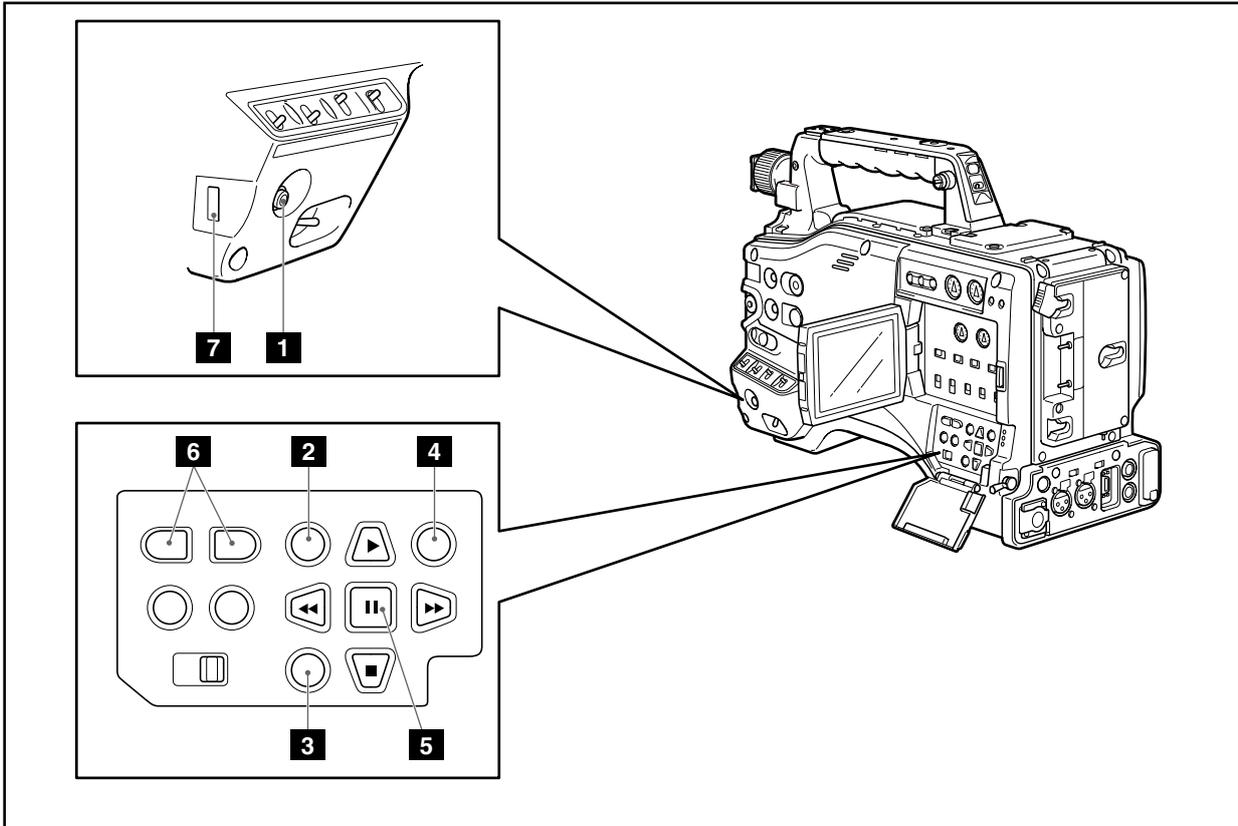
ピントが合ってくると、白い範囲が右に移動する

## 34 REC 禁止スイッチ

ハンドル部のREC START/STOPボタンの操作を禁止するスイッチです。

- ON:** REC START/STOPボタンの操作が有効になります。
- OFF:** REC START/STOPボタンの操作が無効になります。

## メニュー操作部、およびサムネール操作部



### 1 MENU ボタン

- ・長押しすると設定メニュー画面が表示されます。もう一度押しと、もとの映像に戻ります。
- ・サムネール表示中は、ボタン操作を受け付けません。

#### 【NOTE】

設定メニューのページ移動、項目の選択にはカーソル・SET ボタンやジョグダイヤルボタンを使用します。  
→「ビューファインダー/LCD画面の設定メニュー表示」(120ページ) 参照

### 2 サムネールボタン

MCRモード中に押しと、サムネール画面と1394入力モードを切り替えることができます。ただし、記録・再生中には切り替わりません。

### 3 サムネールメニューボタン

サムネール表示中に押しと、サムネールメニューの操作に移り、クリップの削除などが可能になります。

#### 【NOTE】

サムネールの選択やメニューの操作にはカーソル・SET ボタンを使用します。  
→「クリップのサムネール操作」(105ページ) 参照

### 4 MODE ボタン

ボタンを押しごとに、カメラモードとMCRモードが切り替わります。

→「撮影・記録/再生機能部」(20ページ) 参照

### 5 カーソル・SET ボタン

設定メニューやメニューバー、サムネールの操作を行います。  
4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。

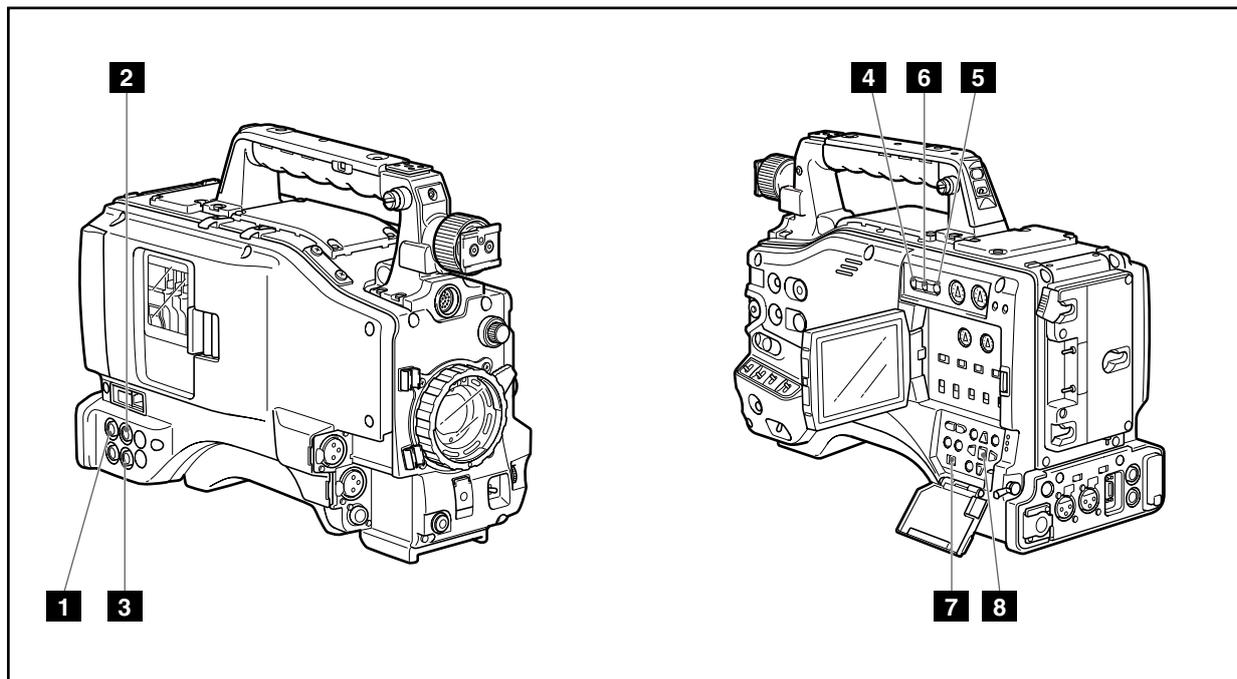
### 6 PAGE/VAR ボタン

サムネール表示中に押しと、サムネールをページ単位に送ったり、戻したりすることができます。

### 7 ジョグダイヤルボタン

- ・設定メニュー（カメラメニュー、またはMCRメニュー）を開いている状態で、設定メニューのページ移動、項目の選択や設定を行います。
- ・設定メニュー表示中、ジョグダイヤルボタンを下側に回すとメニューカーソルが下側に移動し、上側に回すとメニューカーソルが上側に移動します。また、ジョグダイヤルボタンを押しと設定内容が設定されます。

## タイムコード関連部



### 1 GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部に GENLOCK をかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。

→「タイムコードを外部ロックさせる」(67ページ) 参照

### 2 TC IN 端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

→「タイムコードを外部ロックさせる」(67ページ) 参照

### 3 TC OUT 端子 (BNC)

外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

→「タイムコードを外部に供給する」(68ページ) 参照

### 4 HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンター表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレータは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影したタイムコード、または CTL カウンターを知るときなどに使用します。

### 5 RESET ボタン

タイムコード表示部のカウンター値を 0:00.00 にリセットします。

また、TCG スイッチを SET の位置にして、設定メニューの TC PRESET 画面、または UB PRESET 画面表示中に、ボタンを押すと各設定値が 0 にクリアされます。また、SET ボタンを押すと PRESET が行われます。

### 6 COUNTER (カウンター表示切り替え) ボタン

ボタンを押すごとに、カウンター値、タイムコード、ユーザーズビット、およびフレームレート情報をビューファインダー/LCD 画面に表示します。

### 7 TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレータの歩進モードを設定します。

F-RUN	P2 カード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。
SET	タイムコードやユーザーズビットを設定するときに使用します。
R-RUN	記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。通常記録されたタイムコードは、連続して記録されます。ただし、クリップを削除したり、24P/24PA のフレームレートにして 24P/24PA 以外のクリップに続けて記録した場合は、連続して記録されないことがあります。

#### 【NOTE】

タイムコードやユーザーズビットを設定するときは、カーソル・SET ボタンで設定してください。ジョグダイヤルボタンでは設定できません。

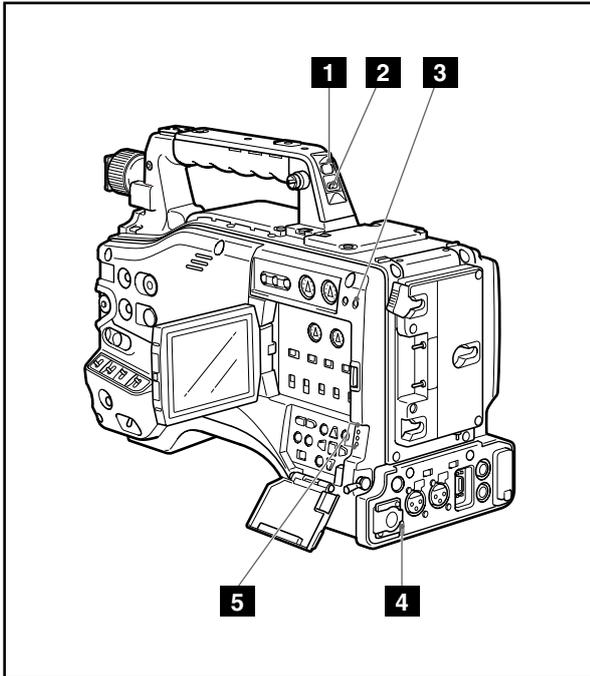
### 8 カーソル・SET ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定に使用します。

4 つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンが SET ボタンです。

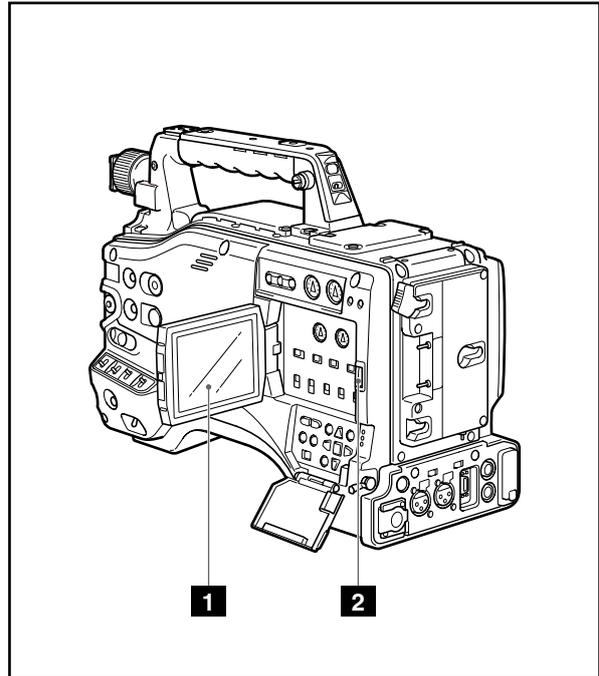
→「タイムデータの設定」(60ページ) 参照

## 警告 / 状態表示部



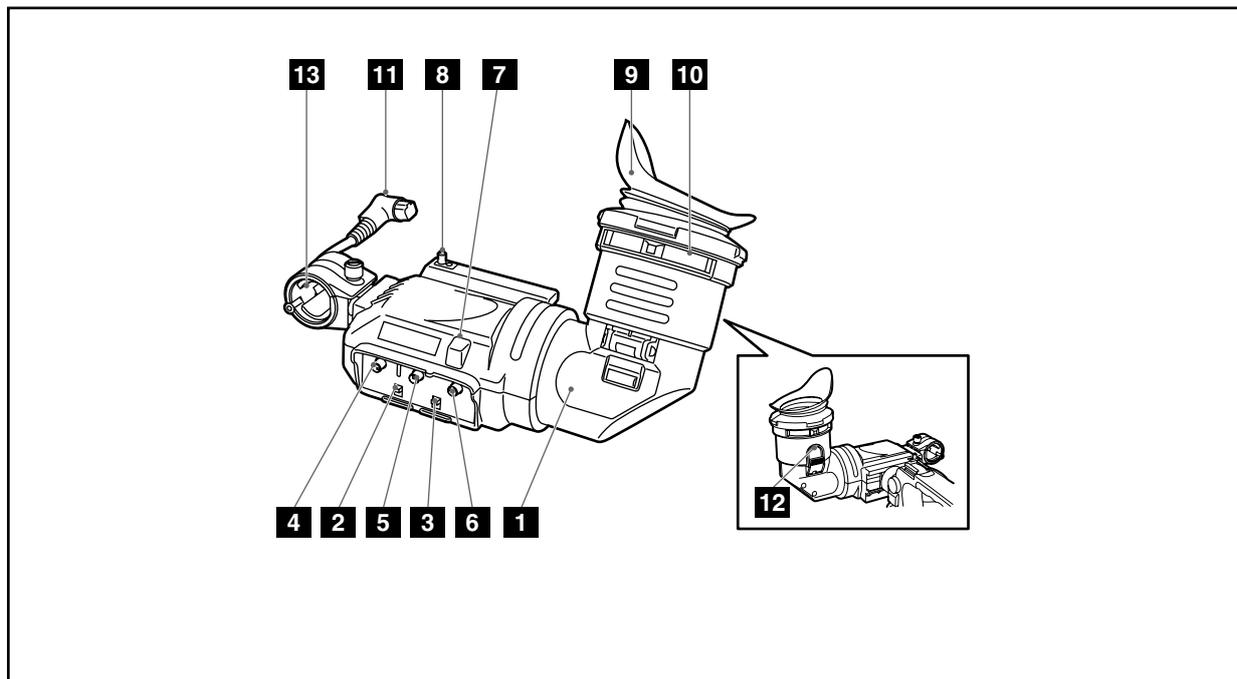
- 1** バックタリーランプ  
バックタリースイッチをONにすると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。
- 2** バックタリースイッチ  
バックタリーランプとリヤタリーランプの働きをコントロールします。  
**ON:** バックタリーランプとリヤタリーランプが動作します。  
**OFF:** バックタリーランプとリヤタリーランプが動作しません。
- 3** WARNINGランプ  
メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅、または点灯します。
- 4** リヤタリーランプ  
バックタリースイッチをONにすると、バックタリーランプと同様に動作します。
- 5** モードLED  
本機のモードを示します。  
**CAM:** カメラモード時、赤色に点灯します。  
**MCR:** MCRモード時、緑色に点灯します。  
**PC:** PCモード時、オレンジ色に点灯します。

## 液晶モニター部



- 1** 液晶モニター (LCD)  
ビューファインダー画面の映像を表示します。また、P2カードのクリップを、サムネール表示することもできます。  
サムネール表示時は、サムネールメニューボタンやカーソル・SETボタンを使って、クリップの操作や削除、P2カードのフォーマットなどができます。  
→「液晶モニターの調整と設定」(78ページ) 参照
- 2** OPENボタン  
液晶モニターを開けるときに使用します。

## ビューファインダー部



### 1 ビューファインダー（同梱品）

記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ（セーフティゾーンマーカ、センターマーカ）なども見ることができます。

### 2 ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ

ビューファインダー画面にゼブラパターンを表示させます。

ON: ゼブラパターンを表示させます。

OFF: ゼブラパターンは表示されません。

### 3 タリースイッチ

フロントタリーランプをコントロールします。

ON: タリーランプが点灯します。

OFF: タリーランプが消灯します。

### 4 PEAKING（ピーキング）つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー画面の映像の輪郭を調整します。記録映像やカメラの出力信号には影響ありません。

### 5 CONTRAST（濃淡）つまみ

ビューファインダー画面の濃淡を調整します。記録映像やカメラの出力信号には影響ありません。

### 6 BRIGHT（明るさ）つまみ

ビューファインダー画面の明るさを調整します。記録映像やカメラの出力信号には影響ありません。

### 7 フロントタリーランプ

タリースイッチがONのときに動作し、撮影中に点灯します。また、ビューファインダー画面のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

### 8 ビューファインダーストッパーネジ

ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。

### 9 アイピース

### 10 視度調整リング

視度に合わせて、ビューファインダー画面の映像が最もはっきり見えるように調整します。

### 11 接続プラグ

### 12 ロックボタン

### 13 マイクホルダー

# 第3章 記録と再生

## 内蔵時計の日付 / 時刻の設定

時刻 (CLOCK SET) の値は、コンテンツ (クリップ) に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ずCLOCK SETとTIMEZONEを確認・設定してください。

■例：日時を2007年12月25日午後5時20分に設定する

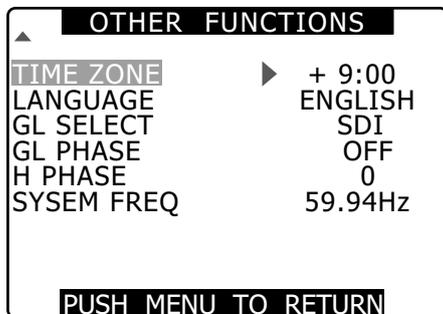
### 1 POWERスイッチをONにする

### 2 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のTIME ZONE項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

### 3 グリニッジ標準時間からの時差をジョグダイヤルボタンで設定する

・タイムゾーン表を参考に設定してください。



### ■タイムゾーン表

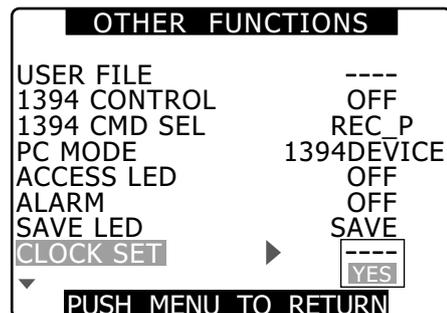
時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	-00:30	
-01:00	アゾレス諸島	-01:30	
-02:00	中部大西洋	-02:30	
-03:00	ブエノスアイレス	-03:30	ニューファンドランド島
-04:00	ハリファックス	-04:30	
-05:00	ニューヨーク	-05:30	
-06:00	シカゴ	-06:30	
-07:00	デンバー	-07:30	
-08:00	ロスアンジェルス	-08:30	
-09:00	アラスカ	-09:30	マルケサス諸島
-10:00	ハワイ	-10:30	
-11:00	ミッドウェイ諸島	-11:30	
-12:00	クワジャリン	+11:30	ノーフォーク島
+13:00		+10:30	ロード・ハウ・アイランド
+12:00	ニュージーランド	+09:30	ダーウィン諸島
+11:00	ソロモン諸島	+08:30	
+10:00	グアム	+07:30	
+09:00	東京	+06:30	ラングーン
+08:00	北京	+05:30	ボンベイ
+07:00	バンコク	+04:30	カブール
+06:00	ダッカ	+03:30	テヘラン
+05:00	イスラマバード	+02:30	
+04:00	アブダビ	+01:30	
+03:00	モスクワ	+00:30	
+02:00	東ヨーロッパ	+12:45	チャタム諸島
+01:00	中央ヨーロッパ		

#### 【NOTE】

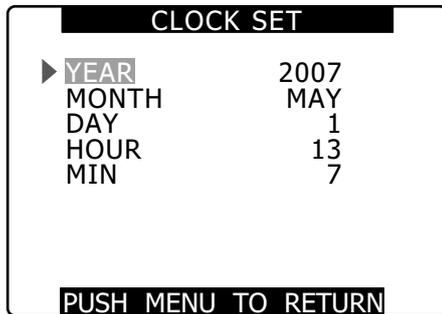
- ・時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。
- ・正確な時刻を必要とする場合は、時刻確認、再設定を行ってください。時刻を設定後に、設定メニューのTIME ZONE項目の設定値を変更すると、表示および記録される時刻が時差を加えたものに切り替わります。

### 4 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のCLOCK SET項目で、YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

・CLOCK SET画面が表示されます。



- 5** ジョグダイヤルボタンを回し、YEARを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- 6** ジョグダイヤルボタンを回し、YEARを2007に設定してジョグダイヤルボタンを押す  
・2000から2030まで設定できます。

- 7** ジョグダイヤルボタンを回し、MONTHを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

- 8** ジョグダイヤルボタンを回し、MONTHをDECに設定してジョグダイヤルボタンを押す

- 9** YEAR・MONTHと同様の方法で、DAY・HOUR・MINを設定する  
・HOURは24時間表示です。



# P2カードについて

## P2カードを入れる

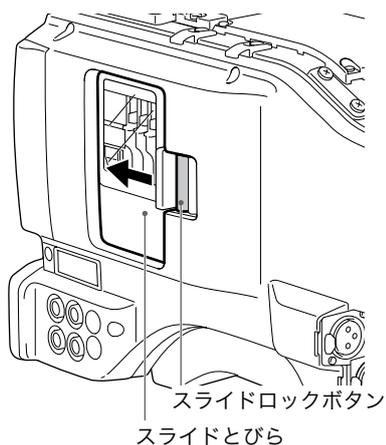
### [NOTE]

本機を最初に使用するときには、必ず時刻の設定を先に行ってください。

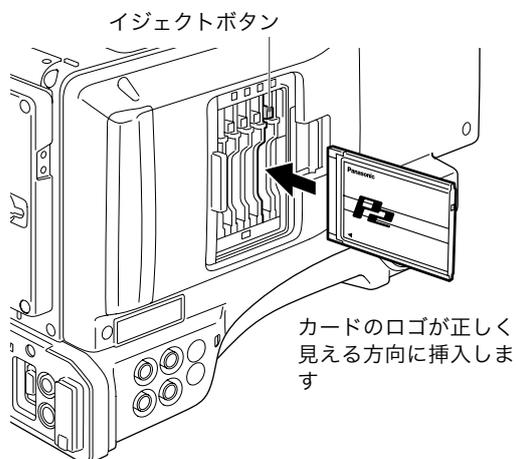
→ 「内蔵時計の日付 / 時刻の設定」(29ページ) 参照

### 1 POWERスイッチをONにする

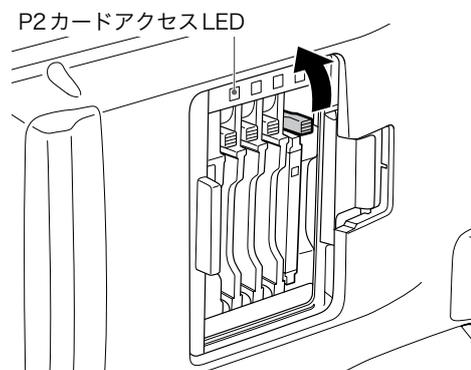
### 2 スライドロックボタンを押しながら、スライドとびらを左に引いて開ける



### 3 P2カードスロットにP2カードを挿入する ・イジェクトボタンが飛び出るまで押し入れます。



### 4 飛び出たイジェクトボタンを上へ倒す



・P2カードを挿入すると、スロットのP2カードアクセスLEDにP2カードの状態が表示されます。

→ 「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(32ページ) 参照

### 5 スライドとびらを閉める

### [NOTE]

・落下防止、防塵・静電気防止のため、スライドとびらを開けた状態のまま、本機を移動しないでください。

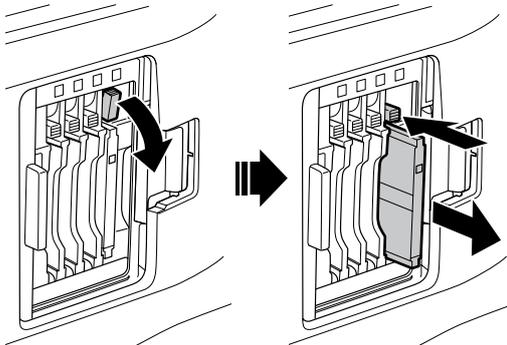
・P2カードは必ず、P2機器、もしくはP2 Viewerソフトでフォーマットしてください。

## P2カードを取り出す

### 1 スライドロックボタンを押しながら、スライドとびらを左に引いて開ける

### 2 イジェクトボタンを下へ倒す

### 3 イジェクトボタンを押し込んで、P2カードを取り外す



イジェクトボタンを下に倒します。  
倒したイジェクトボタンを押し込むと、P2カードが出てきます。

#### 【NOTE】

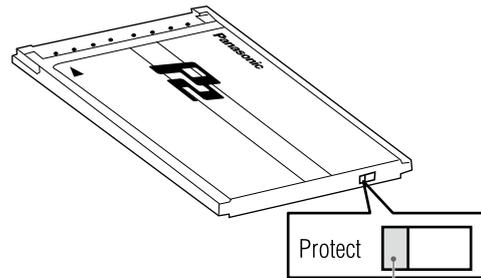
- ・アクセス中や挿入後、認識中（P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅）に、P2カードを取り出さないでください。故障の原因になります。
- ・万一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、ビューファインダー画面にTURN POWER OFFと表示され、アラーム、WARNING LEDなどで警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となりますので、一度、電源OFFにしてください。  
→「警告システム」（144ページ）参照
- ・アクセス中に取り出されたP2カードは、クリップが不正規の状態になることがあります。クリップを確認のうえ、修復を行ってください。  
→「クリップの修復」（111ページ）参照
- ・フォーマット中のP2カードを取り出した場合、取り出したP2カードのフォーマットは保証されません。また、このときビューファインダー画面にTURN POWER OFFと表示されます。一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてから、P2カードのフォーマットをやり直してください。
- ・再生中は、ほかのスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識をはじめます。
- ・記録中、空きスロットにP2カードを挿入しても下記の状態はすぐに認識されません。
  - ・フリレックの直後
  - ・2つのスロットのP2カードにわたって連続記録（ホットスワップ記録など）するときの前後
- ・P2カードアクセスLEDは、設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のACCESS LED項目で、常に消灯する設定にできます。この場合、電源OFFにしてから取り出すか、カード装着後、または動作（記録、再生など）停止後、十分時間が経ってから取り出してください。
- ・サムネールが表示されている場合、P2カードを取り出すとサムネール画面は解除されます。
- ・インターバル記録中、ワンショット記録中、空きスロットにP2カードを挿入してもカードが認識しないため、記録することはできません。記録が終了してから、P2カードの認識がはじまります。

## 誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードのライトプロテクトスイッチをProtect側にします。

#### 【NOTE】

ライトプロテクトスイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで機能しません。



ライトプロテクトスイッチ

## P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	P2カードの状態	
緑色に点灯	記録可能	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	記録対象	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録（ループレック、インターバル記録、ワンショット記録を含む）の対象になっています。
オレンジ色の点滅	アクセス中	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	カード認識中	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	カードフル	P2カードのメモリ残量がありません。読み出しのみ可能です。
	ライトプロテクト	P2カードのライトプロテクトスイッチがProtect側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	対象外のカード	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	フォーマットが正しくない	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	カードなし	P2カードが挿入されていません。カード認識待ち。

#### 【NOTE】

液晶モニター側にあるアクセスLEDは、スロット1～4のP2カードのいずれかが書き込み/読み出し中は点滅し、記録可能な場合は点灯します。どのP2カードも記録できない場合は消灯します。

## P2カードの記録時間について

品番	AJ-P2 C004HG	AJ-P2 C008HG	AJ-P2 C016RG
容量	4GB	8GB	16GB
DVCPRO HD*	約4分	約8分	約16分
DVCPRO HD 720P/24PN	約10分	約20分	約40分
DVCPRO HD 720P/30PN 720P/25PN	約8分	約16分	約32分
DVCPRO50 Audio 4CH	約8分	約16分	約32分
DVCPRO/DV Audio 2CH	約16分	約32分	約64分

\*DVCPRO HD は 720P/30PN、720P/24PN、720P/25PN を除きます。

- ・AJ-P2C002SG (2GB) のカードは使用できません。
- ・表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量は上記より少なくなります。

## P2カードに記録されるクリップの分割について

本機で8GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2機器でクリップのサムネール操作（表示、削除、修復など）を行う場合は、1つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフト、およびパソコンなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD*	約5分
DVCPRO50	約10分
DVCPRO/DV	約20分

\*DVCPRO HD は 720P/30PN、720P/24PN、720P/25PN を除きます。

- ・上記以外のカードを使用する場合は、本機搭載のドライバーのアップデートが必要になることがあります。  
→「本機搭載ドライバーのアップデート」(147ページ) 参照
- ・取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトのP2のサポートサイトを参照してください。  
<http://panasonic.biz/sav/>

## P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器DVCPRO P2シリーズの記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- ・DVCPRO P2フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、パソコンとの親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれており、下記のようなフォルダー構成にて関連付けられています。



すべてのフォルダーが必要です。

\* P2機器で記録した最後のクリップ情報を書き込んでいるファイルです。

### 【NOTE】

これらの情報が一部でも変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはカードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

- ・P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」または「P2コンテンツマネジメントソフトウェア」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。(対応OSについても、下記ウェブサイトをご参照ください)  
<http://panasonic.biz/sav/>
- ・Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してパソコンに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2 Viewerをご使用ください。
- ・CONTENTSフォルダーとLASTCLIP.TXTファイルごとに行ってください。
- ・CONTENTSフォルダー以下は、操作しないでください。
- ・コピーするときは、CONTENTSフォルダーと同時にLASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- ・複数のP2カードをパソコンに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダーを作成してください。
- ・P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- ・P2カードは必ず、P2機器でフォーマットしてご使用ください。

# 基本手順

ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発するときは、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

→点検のしかたについては、「撮影前の点検」(139ページ) 参照

## 電源の準備からP2カードを入れるまで

### 1 充電済みのバッテリーパックを装着する

### 2 POWERスイッチをONにし、ビューファインダー画面のバッテリー残量表示を確認する

・バッテリー残量が少ないときは、完全に充電したバッテリーと交換します。

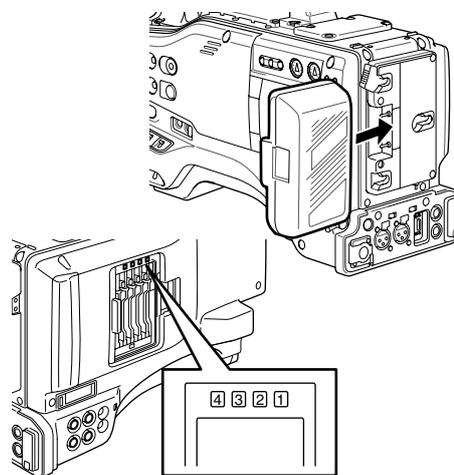
#### 【NOTE】

完全に充電したバッテリーに交換しても、バッテリー残量が少なく表示されるときは、バッテリーの設定が正しいことを確認してください。

### 3 P2カードを挿入し、P2カードアクセスLEDがオレンジ色、または緑色に点灯しているのを確認し、スライドとびらを閉める

・P2カードスロットに複数のP2カードが挿入されている場合、スロット番号の小さいP2カードから順番に記録されます。ただしP2カードをあとから挿入すると、そのP2カードが記録対象になるのは、スロット番号に関わらず、それまでに挿入されたP2カードよりあとになります。

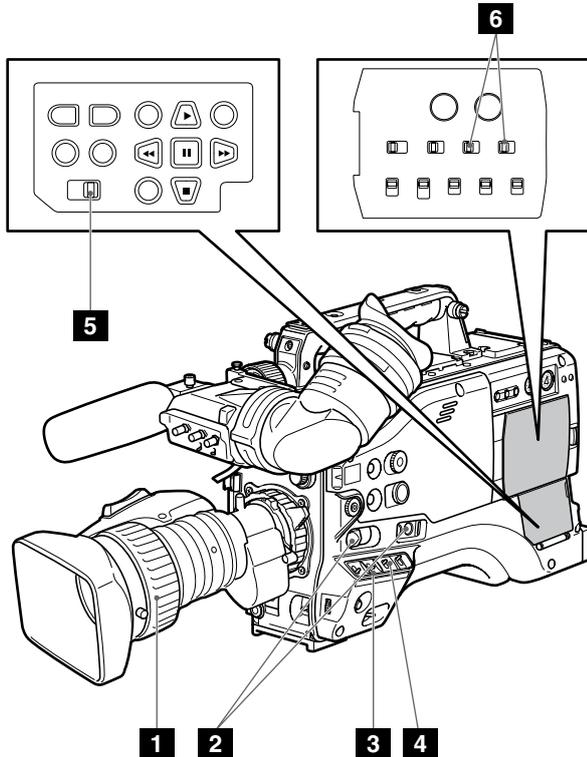
例：4つのスロットすべてにP2カードを挿入すると、スロット番号1→2→3→4の順で記録対象のP2カードになります。しかし、一度スロット番号1のP2カードを取り出して再び挿入した場合、スロット番号2→3→4→1の順で記録対象のP2カードになります。



なお、電源OFFにしたあとも、記録対象のP2カード番号は保持され、次に電源ONにしたときは、電源OFFにする前と同じP2カードに続けて記録できます。

## 撮影・記録のためのスイッチ設定

電源ONにし、P2カードを入れたあと、各スイッチを下記のように設定してから操作を始めてください。



### 1 絞り

レンズがオートアイリスに設定されていると、自動で絞りが設定されます。

### 2 USER MAIN/USER1/USER2 ボタン

USERボタンにSLOT SEL機能を割り当てると、複数挿入されたP2カードから記録対象のP2カードを選択して切り替えることができます。USERボタンを押すたびに、記録対象のP2カードが切り替わり、記録対象になったP2カードのアクセスLEDがオレンジに点灯します。また、記録対象カードのスロット番号がビューファインダー/LCD画面の情報表示部に緑色で点灯します。→ビューファインダー画面の表示については、「ビューファインダーの状態表示」(70ページ)参照

### 3 GAINスイッチ

通常はL(0dB)にします。暗すぎるときは、適切なゲインに設定します。

### 4 AUTO KNEE 選択スイッチ

ON、またはOFFにします。AUTO KNEE 選択スイッチをOFFにすると、設定メニューのSCENE FILE項目で3種類の設定ができます。

### 5 TCGスイッチ

F-RUN、またはR-RUNにします。

### 6 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ

AUTOにします。

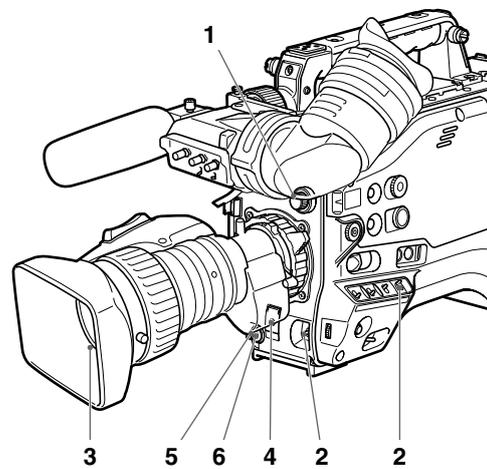
#### 【NOTE】

- ・記録中は、記録スロットの切り替えはできません。
- ・USER MAIN/USER1/USER2ボタンの割り当て設定は、設定メニューのSW MODE画面のUSER MAIN/USER1/USER2項目で設定します。

## 撮影するには

### ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには、下記の手順で操作します。



### 1 照明条件に合わせて、ND FILTERつまみでフィルターを選ぶ

## 2 ■ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき

・WHITE BALスイッチをA、またはBにします。

## ■ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間がないとき

・WHITE BALスイッチをPRSTにします。  
・3200Kと5600Kの切り替えができます。

## ■その場でホワイトバランスを調整するとき

・照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BALスイッチをA、またはBにして画面中央で白い被写体を撮影し、下記の手順でホワイトバランスを調整します。

1. AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して、ホワイトバランスを調整します。
  2. AUTO W/B BALスイッチをABB側に倒して、ブラックバランスを調整します。
  3. AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して、再度ホワイトバランスを調整します。
- 「ホワイトバランスの調整」(52ページ)、および「ブラックバランスの調整」(53ページ) 参照

## 3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整する

## 4 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/シャッターモードを設定する →「電子シャッターの設定」(55ページ) 参照

## 5 REC START/STOPボタンを押して記録を開始する

・記録中は、ビューファインダー画面のRECランプが点灯します。

## 6 停止するときは、再度REC START/STOPボタンを押す

・ビューファインダー画面のRECランプが消えます。

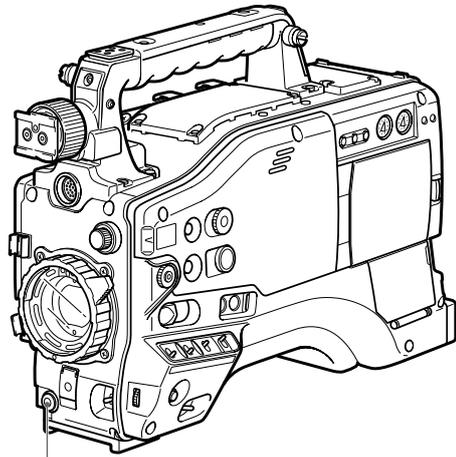
### 【NOTE】

#### ■操作ボタンについて

カメラモードでは、操作ボタン (REW、FF、PLAY、STILL、STOP) は動作しません。

## 通常の記録

- ・REC START/STOPボタンを押すと、P2カードに映像・音声の記録をはじめます。
- ・1回の撮影で生成される画像・音声（付加情報を含む）のひとかたまりのデータをクリップといいます。



REC START/STOPボタン

### 【NOTE】

下記のような場合は、REC START/STOPボタンを押しても、P2カードへの書き込み完了までに時間を要する場合がありますので、すぐにボタンを押しても動作を受け付けません。

- ・短時間記録の停止動作
- ・2枚目のP2カードにわたって記録した直後の停止動作

# バリエブルフレームレート (VFR) 記録

本機は、P2カードの特徴を生かし、コマ落とし（アンダークランク）や高速度（オーバークランク）撮影を、フレームレートコンバーターを使用することなく行うことができます（30PN、25PN、または24PNに設定してください）。有効フレームのみ記録（ネイティブ記録）するため、24P、30P、および60Pモード（50Hzでは、25P、または50P）で記録する（スタンダード記録）より記録時間を2～2.5倍長く記録できます。

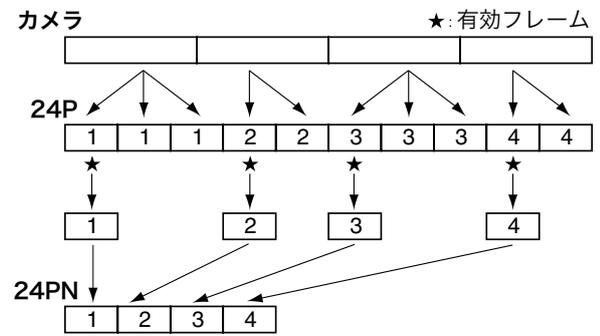
また、VARICAM (AJ-HDC27シリーズ) と同様に、ノンリニア編集を使つてのフレームレート変換が可能な記録フォーマットも兼ね備えています（30P、25P、または24Pに設定してください）。

**[NOTE]**

**720Pモード時のみバリエブルフレームレート記録が可能です。**

**24PNモード：**

24コマ/秒のネイティブモードで撮影を行います。映像信号は、24コマ/秒の画像が24フレームに記録されます。有効フレームのみ記録されるので、2.5倍長い時間記録できます。



- ・バリエブルフレームレート撮影するには、あらかじめ記録フレームレートと記録フォーマットを設定しておく必要があります。
- ・記録中にフレームレートを変更することはできません。

- ・記録フレームレートは、秒間12コマ（12fps）から60コマ（60fps）まで任意の11通りの中から設定できます。
- 「映像方式と記録フォーマット」（47ページ）参照
- ・表示される記録フレームレートと実際に記録されるフレームレートには若干の誤差があります。下表を参照してください。

59.94Hz		50Hz	
記録フレームレート	実記録フレームレート	記録フレームレート	実記録フレームレート
60	59.94	50	50.00
48	48.17	48	48.08
36	35.68	37	36.75
32	32.11	32	32.14
30	29.97	30	29.76
26	26.44	27	27.17
24	23.98	25	25.00
22	22.48	23	23.15
20	19.55	20	19.74
18	17.98	18	17.86
12	12.26	12	12.50

## ネイティブ記録

- 1 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目で記録フォーマット720P/30PN、または720P/24PN（50Hzでは720P/25PN）に設定する  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（120ページ）参照
- 2 適切なシーンファイルをSCENE FILEダイヤルで選ぶ  
・必要に応じて、あらかじめ設定メニューでカメラ設定を行い、シーンファイルを登録してください。  
→「SDメモリーカードにシーンファイルなどを保存する」（84ページ）参照
- 3 設定メニューのSCENE FILE画面のOPERATION TYPE項目でFILM CAMに設定し、FRAME RATE項目で任意の記録フレームレートを設定する  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（120ページ）参照

#### 4 REC START/STOP ボタンを押す

- ・REC START/STOP ボタンを押すと、VFR モードでネイティブ記録を開始します。

- ・ネイティブ記録の場合、記録待機中、および記録中は1394出力されません。
- ・通常、音声は記録されませんが、記録と再生のフレームレートが同一の場合は音声も記録されます。
- ・長時間記録したクリップを再生し、VARICAM対応ノンリニア編集システムで取り込みを行う場合は、RECORDING SETUP画面のUB MODE項目をFRM.RATEに設定してください。

### スタンダード記録

#### 1 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目で記録フォーマット720P/60P・720P/30P、または720P/24P (50Hzでは720P/50P、720P/25P) に設定する

- メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

#### 2 適切なシーンファイルをSCENE FILEダイヤルで選ぶ

- ・必要に応じて、あらかじめ設定メニューでカメラ設定を行い、シーンファイルを登録してください。

#### 3 設定メニューのSCENE FILE画面のOPERATION TYPE項目でFILM CAMに設定し、FRAME RATE項目で任意の記録フレームレートを設定する

- メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

- ・記録フォーマット720P/30P・720P/24P・720P/25Pを選択した場合、SCENE FILE画面のFRAME RATE項目の設定に応じて下記の表示になります。

- ①PROPERTY-CLIP PROPERTY-VIDEO に表示されるPULL DOWN情報

Default設定時 :2:2、または2:3

Default以外の設定時 : other

- ②サムネール表示時の画面左下のフォーマット情報

・Default設定時 :720P/30P、または720P/24P、720P/25P

・Default以外の設定時 :720P/60P、720P/50P

(Default設定とは、記録フォーマットのフレームレートが30Pであれば30FRAME、24Pであれば24FRAME【25Pのときは25FRAME】の設定を示します)

#### 4 REC START/STOP ボタンを押す

- ・REC START/STOP ボタンを押すと、VFR モードでスタンダード記録を開始し、音声も記録されます。

##### [NOTE]

- ・有効フレーム取り出し機能を備えたVARICAM対応ノンリニア編集システムの場合、アンダークランク/オーバークランク撮影素材もそのままアップロードできます。(RECORDING SETUP画面のUB MODE項目をFRM.RATEに設定してください)
- ・記録フレームレート24Pは2:3プルダウン記録、30P (50Hzでの25P) は2:2プルダウン記録になります。

## VFRの活用

### 映画制作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ24fps（毎秒24コマ）のフレームレートが通常（1倍速）となります。下記の設定にすれば上映時と同じ再生をすることができます。720Pプログレッシブとシネライクガンマによりフィルムライクな映像が得られます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/24P (2:3プルダウン)	24fps
720P/24PN (ネイティブ記録)	

### CM/ドラマ制作のための標準速撮影

HDTV/SDTV放送などテレビ画面上映を目的とした制作の場合、30fps（毎秒30コマ）【50Hzでは25fps（毎秒25コマ）】のフレームレートが通常（1倍速）となります。下記の設定にすれば放送時と同じ再生をすることができます。CM、ミュージッククリップがフィルムライクな映像で、しかもテレビ放送に適したコマ数で収録できます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
59.94Hz	720P/30P (2:2プルダウン)
	720P/30PN (ネイティブ記録)
	30fps
50Hz	720P/25P (2:2プルダウン)
	720P/25PN (ネイティブ記録)
	25fps

### アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンフーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット24Pで撮影した場合、VFR記録フレームレートを12fpsにすれば2倍速のクイックモーション効果が得られます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/24P、720P/24PN	22fps以下に設定
720P/30P、720P/30PN	26fps以下に設定
720P/25P、720P/25PN	23fps以下に設定

・720P/24P、および720P/30P、720P/25Pの場合、収録したものをノンリニア編集システムで処理することでクイックモーションの効果が得られます。

### オーバークランク撮影

カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット30Pで撮影した場合、記録フレームレートを60fpsにすれば1/2倍速のスローモーション効果が得られます。720Pプログレッシブ映像が滑らかで高画質のスローモーションを生み出します。

記録フォーマット (REC FORMAT)	記録フレームレート (FRAME RATE)
720P/24P、720P/24PN	26fps以上に設定
720P/30P、720P/30PN	32fps以上に設定
720P/25P、720P/25PN	27fps以上に設定

・720P/24P、および720P/30P、720P/25Pの場合、収録したものをノンリニア編集システムで処理することでスローモーションの効果が得られます。

## 1080i/480iのプログレッシブモードで撮影する

設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目で1080i、および480iモードの30P、24P、24PAに設定すると、プログレッシブモードで撮影できます。

### ■ 30Pモード

30コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。映像信号は、30コマ/秒の画像を60フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

- ・高画質な映像を得ることができます。

30P	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
↓										
60i	Ao;Ae	Bo;Be	Co;Ce	Do;De	Eo;Ee	Fo;Fe	Go;Ge	Ho;He	Io;Ie	Jo;Je

### ■ 24Pモード

24コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。映像信号は、24コマ/秒の画像を一般的な2:3変換方式で60フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

- ・映画感覚の映像を得ることができます。

24P	A	B	C	D	E	F	G	H
↓								
60i	Ao;Ae	Bo;Be	Co;Ce	Do;De	Eo;Ee	Fo;Fe	Go;Ge	Ho;He

### ■ 24Pアドバンスモード

24コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

- ・映像信号は、24コマ/秒の画像をアドバンス変換方式で、60フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

24PA	A	B	C	D	E	F	G	H
↓								
60i	Ao;Ae	Bo;Be	Co;Ce	Do;De	Eo;Ee	Fo;Fe	Go;Ge	Ho;He

- ・従来の24P(2:3)変換方式で編集を行う場合、図のBoCe、CoDe、FoGe、GoHeフレームでは、異なるコマの映像を伸張するため、画質の劣化が多くなります。
- ・24Pアドバンス変換方式では、図のBoCe、FoGeのフレームを間引くことで、24Pモードの画質劣化が少ない映像を得ることができます。また、アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用すると、24Pモードに比べ、画質の劣化が少ない編集が実現できます。
- ・アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用しない場合は、通常の24Pモードで撮影を行ってください。

#### 【NOTE】

プログレッシブモードで撮影を行う場合は、下記のことにご注意してください。

- ・ゲイン18dBにはできません。
- ・シャッタースピードを1/50(OFF)、または1/60に設定されることをおすすめします。
- ・24Pモードと24Pアドバンスモードで撮影を行うときは、5フレーム単位で記録するため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。

## 特殊な記録機能について

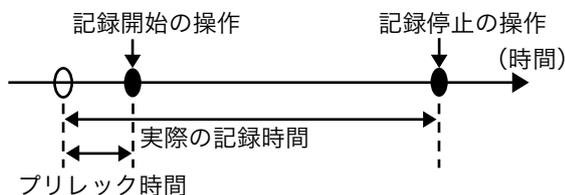
P2カードに記録する場合、設定メニューのRECORDING SETUP画面で設定することにより、プリレック、インターバル記録、ワンショット記録、ループレックの特殊な記録ができます。

これらの特殊な記録は下記の設定になっているときのみ可能です。

- ・OPERATION TYPE 項目：  
VIDEO CAM
- ・REC FORMAT項目：  
1080i/60i (50i)・1080i/30P (25P)・720P/60P (50P)・720P/30P (25P)、SDの60i (50i)・30P (25P) のいずれか

### プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より一定時間前 (HD記録で約3秒前、SD記録で約7秒前) からの映像と音声を記録します。



#### 1 設定メニューのSCENE FILE画面のOPERATION TYPE項目とRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目が下記の設定になっていることを確認する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

- ・OPERATION TYPE 項目：  
VIDEO CAM
- ・REC FORMAT項目：  
1080i/60i (50i)・1080i/30P (25P)・720P/60P (50P)・720P/30P (25P)、SDの60i (50i)・30P (25P) のいずれか

#### 2 設定メニューのRECORDING SETUP画面のPREREC MODE項目で、ONに設定する

#### 3 REC START/STOPボタンを押す

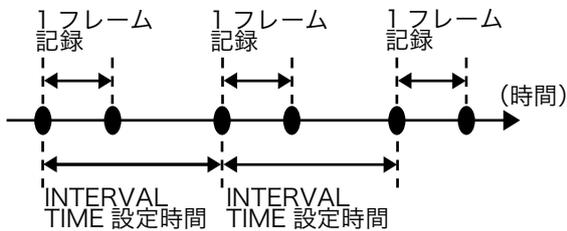
一定時間前からの映像と音声を記録します。

・下記の場合、プリレックは無効となり、それぞれの操作時点からの記録となります。

- ・IEEE1394入力記録時
- ・記録フォーマット切り替え時
- ・再生から記録への移行時
- ・インターバル記録時
- ・ワンショット記録時
- ・ループレック時
- ・MCRモードからカメラモードへの切り替え直後、電源ON直後、PREREC MODE項目を変更した直後は、すぐに記録を開始しても一定時間前の映像と音声は記録できない場合があります。

## インターバル記録 (INTERVAL REC)

INTERVAL TIME項目で設定した時間間隔で1フレーム(1/30秒)記録を行います。



### 1 設定メニューのSCENE FILE画面のOPERATION TYPE項目とRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目が下記の設定になっていることを確認する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

- ・OPERATION TYPE 項目：  
VIDEO CAM
- ・REC FORMAT 項目：  
1080i/60i (50i) ・ 1080i/30P (25P) ・  
720P/60P (50P) ・ 720P/30P (25P)、SD の  
60i (50i) ・ 30P (25P) のいずれか

### 2 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目で、INTERVALに設定する

### 3 設定メニューのRECORDING SETUP画面のINTERVAL TIME項目で時間を設定する

## 4 REC START/STOPボタンを押す

- ・INTERVAL TIME項目で設定した時間間隔で1フレーム記録する動作を繰り返し行います。
  - ・停止するには、STOPボタンを押します。
  - ・解除するには、電源OFFにするか、設定メニューのREC FUNCTION項目でNORMALに設定します。
  - ・動作状態表示の左に下記のように表示されます。
    - ・記録中：I-REC点灯
    - ・一時停止中：I-PAUSE点灯
- ただし、手順3の設定が2秒未満の場合は、設定時間に応じて記録中I-RECが点滅します。
- ・停止中：I-PAUSEのI点滅

#### [NOTE]

- ・フリレックは動きません。
- ・音声は記録されません。
- ・このモード中に記録したデータ(STOPボタンが押されるまでのデータ)は、まとめて1つのファイルとなります。
- ・1394端子からは出力されません。
- ・DIR ENTRY NG CARDが1枚でも挿入されている場合は、実行できません。
- ・記録中、および一時停止中にカードを挿入しても記録対象になりません。停止中にカードを挿入してください。

## ワンショット記録 (ONE-SHOT REC)

設定した時間単位で一度だけ記録します。

### 1 設定メニューのSCENE FILE画面でOPERATION TYPE項目とRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目が下記の設定になっていることを確認する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

- ・OPERATION TYPE 項目：  
VIDEO CAM
- ・REC FORMAT 項目：  
1080i/60i (50i) ・ 1080i/30P (25P) ・  
720P/60P (50P) ・ 720P/30P (25P)、SD の  
60i (50i) ・ 30P (25P) のいずれか

**2** 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目で、ONE SHOTに設定する

**3** 設定メニューのRECORDING SETUP画面のONE SHOT TIME項目で時間を設定する

**4** REC START/STOPボタンを押す

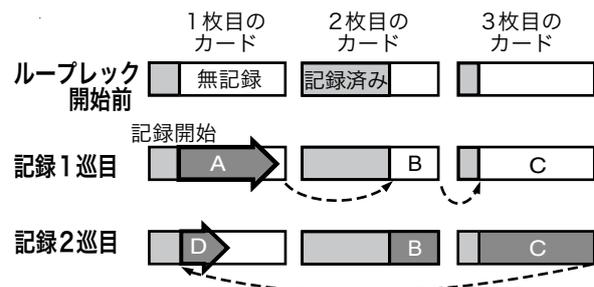
- ・手順3で設定した時間の記録を行い、記録一時停止になります。
- ・停止するには、STOPボタンを押します。
- ・解除するには、電源OFFにするか、設定メニューのREC FUNCTION項目でNORMALに設定します。
- ・動作状態表示の左に下記のように表示されます。
  - ・記録中：I-REC点灯
  - ・一時停止中：I-PAUSE点灯
  - ・停止中：I-PAUSEのI点滅

**【NOTE】**

- ・動作中は、ほかの操作を受け付けません。
- ・プリレックは働きません。
- ・音声は記録されません。
- ・このモード中に記録したデータ（STOPボタンが押されるまでのデータ）は、まとめて1つのファイルとなります。
- ・1394端子からは出力されません。
- ・DIR ENTRY NG CARDが1枚でも挿入されている場合は、実行できません。
- ・連続でワンショット記録する場合、記録動作の受け付けが遅くなる場合があります。
- ・記録中、および一時停止中にカードを挿入しても記録対象になりません。停止中にカードを挿入してください。

## ループレック (LOOP REC)

- ・P2カードスロットに2枚以上のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録します。
- ・カードの残量がなくなると1枚目に戻り、保存されている古いクリップを消去しながら新しいクリップを記録します。  
→「P2カードに記録されるクリップの分割について」(33ページ) 参照



P2カードの記録のない部分をつないで (A-B-Cの順で) 記録を行います。記録残量がなくなったら、Aを消去して新規の記録 (D) を行います。

**1** 設定メニューのSCENE FILE画面でOPERATION TYPE項目とRECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目が下記の設定になっていることを確認する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」参照

・OPERATION TYPE 項目：

VIDEO CAM

・REC FORMAT 項目：

1080i/60i (50i) ・ 1080i/30P (25P) ・ 720P/60P (50P) ・ 720P/30P (25P)、SDの60i (50i) ・ 30P (25P) のいずれか

**2** 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目で、LOOPに設定する

### 3 REC START/STOPボタンを押す

- ・記録を開始します。
- ・停止するには、REC START/STOPボタンを押します。
- ・解除するには、電源OFFにするか、設定メニューのREC FUNCTION項目でNORMALに設定します。
- ・動作状態表示の左に下記のように表示されます。
  - ・記録中：L-REC点灯
  - ・停止中：L-PAUSE点灯
  - ・メモリー残量少：P2 LACK L-点滅

#### 【NOTE】

- ・1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- ・モードチェック画面に切り替えると、最低記録保障時間を表示します。
- ・IEEE1394入力記録時は動作しません。
- ・プリレックは動きません。
- ・DIR ENTRY NG CARDが1枚でも挿入されている場合は、実行できません。
- ・停止に時間がかかる場合があります。P2カードアクセスLEDの点滅が点灯に変わるまで、次の動作は受け付けません。
- ・記録中にカードを挿入しても記録対象になりません。

## ホットスワップ記録

4つのP2カードスロットにP2カードを装着すれば、4枚のカードにわたって連続記録することができます。また、記録中に記録している以外のカードを差し替えて、5枚以上に連続記録することもできます（ホットスワップ記録）。

ただし、空きスロットにP2カードを挿入するタイミング（プリレックの直後や2つのスロットにわたって連続記録するときの前後）によって、P2カードの認識が遅くなる場合があります。P2カードを挿入するときは、記録対象カードの残量が1分以上ある状態で行ってください。

- ・設定メニューのSW MODE画面のUSER MAIN/USER1/USER2項目でUSERボタンにSLOT SELを割り当てると、ワンタッチで記録対象スロットを変更できます。

#### 【NOTE】

- ・スロットの変更は記録中にはできませんので、記録待機中に行ってください。
- ・ホットスワップ再生には対応していません。

## レックチェック (REC CHECK) 機能

- ・カメラモード時に、レンズのRETボタンを押すと、最新のクリップの最後の約2秒間が自動的に再生されます。
- ・これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。ただしクリップが短い場合、クリップの先頭からの再生になります。
- ・USER MAIN/USER1/USER2項目で、RETボタン機能をそれぞれのUSERボタンに割り当てることができます。各項目は、設定メニューのSW MODE画面から設定します。

#### 【NOTE】

バックアップ機器を1394端子、またはSDI OUT端子などに接続して、バックアップ画像を記録中の場合、このレックチェック中の再生画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。

## ショットマーク (SHOT MARK) 記録機能

ほかのクリップと区別するためにクリップごとにサムネールに付ける目印です。ショットマークを付けたクリップだけを表示させたり、再生することができます。

### ショットマークを付けるには

- 1 設定メニューのSW MODE画面で割り当てるUSERボタン (USER MAIN/USER1/USER2) にSHOT MARKを割り当てる  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

## 2 記録中にSHOT MARKを割り当てたUSERボタンを押す

- ・MARK ONと表示され、現在記録中のクリップにショットマークが付きます。
- ・再度、押すとMARK OFFと表示され、ショットマークは消えます。

### [NOTE]

- ・ショットマークは、サムネール表示中も付けることができます。
- ・ループレックでは、ショットマークを付けることはできません。操作が無効な場合は、ボタンを押したときにINVALIDと表示されます。
- ・再生中のショットマークの設定、または解除はできません。
- ・ホットスワップ記録で1回の撮影によってできた映像データが複数のクリップで構成される場合、その映像データを構成するすべてのP2カードがスロットに挿入されていないと、ショットマークの設定と解除はできません。

## テキストメモ記録機能

テキストメモとは、クリップを記録/再生中に任意の映像ポイントにテキストメモを付加する機能です。テキストメモが付いたクリップだけを選んでサムネール表示させたり、テキストメモの位置のサムネール、タイムコードを順に表示させることができます。

### テキストメモを付けるには

- 1 設定メニューのSW MODE画面で割り当てるUSERボタン (USER MAIN/USER1/USER2) にTEXT MEMOを割り当てる  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

- 2 記録、または再生中にTEXT MEMOを割り当てたUSERボタンを押す

- ・TEXT MEMOと表示され、押した瞬間のポイントにTEXT MEMOが付加されます。

### [NOTE]

- ・テキストメモは、1つのクリップに100個まで記録できます。
- ・ループレック、インターバル記録、ワンショット記録ではテキストメモを付けることはできません。操作が無効な場合は、ボタンを押したときにINVALIDと表示されます。

# 通常再生、および変速再生

## ■通常再生

MCRモードにすると、クリップを再生することができます。

PLAYボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画を、液晶モニターでカラーの再生画を見ることができます。同時にVIDEO OUT端子、SDI OUT端子、およびコンポーネント端子にカラービデオモニターを接続すると、カラーの再生画を見ることができます。

## ■早送り、早戻し再生

FF、REWボタンを使うと、32倍速や4倍速の高速再生/高速逆再生ができます。停止中に押すと、32倍速、再生中に押すと4倍速になります。

## ■クリップの頭出し

再生一時停止状態からFFボタンを押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。再生一時停止状態からREWボタンを押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

### 【NOTE】

- ・P2カードを抜き差しした直後や、電源ONにした直後にMCRモードにすると、クリップ情報を読み出すために時間がかかることがあります。この間、サムネール画面にはUPDATINGと表示されます。
- ・再生中、別のカードスロットにP2カードを挿入しても、そのカードのクリップは再生できません。再生中に挿入したP2カードの認識は、再生を停止したのちに行われます。
- ・複数のP2カードにまたがったクリップを変速再生する場合、音声が一瞬途切れることがあります。故障ではありません。
- ・REC FORMATと異なるフォーマットのクリップを再生する場合は、設定メニューのRECORDING SETUP画面のMCR FORMAT項目を再生するクリップのフォーマットに合わせて設定してください。
- ・他機で記録されたCH5～CH8の音声の再生はできません。

## ■可変速サーチ

再生中にPLAYボタンを押すと可変速サーチモードになり、X1倍速で再生します。

PAGE/VARボタンを押すことにより、再生速度を下記のように変更することができます。

- ・－24倍、－12倍、－4倍、－2倍、－1倍、－1/5倍、1/5倍、1倍、2倍、4倍、12倍、24倍

再度、PLAYボタンを押すと、通常再生に戻ります。

## ■コマ送り

再生一時停止中に、PAGE/VARボタンを押すとコマ送り再生します。

コマ送りの単位は下記のようになります。

- ・720P:1/60、または1/50単位
- ・720P/24PN、30PN、25PN:1/24、1/30、1/25単位
- ・1080i、480i、576i:1/30、または1/25単位

# 第4章 記録のための調整と設定

## 映像方式と記録フォーマット

### HD/SD マルチフォーマット

本機は、20種類のHD/SD映像フォーマット収録をサポートしています。1080i/720p HD収録は、DVCPRO HDコーデックで、SD映像はDVCPRO50/DVCPRO/DVのマルチコーデックが選択できます。

#### ■本機がサポートする映像フォーマットとコーデック

映像フォーマット*1		収録時間*3	記録コーデック
HD 59.94 Hz	1080/60i	64分	DVCPRO HD
	1080/30P (over 60i)		
	1080/24P (over 60i)		
	1080/24PA (over 60i)		
	720/60P		
	720/30P (over 60P)		
	720/24P (over 60P)		
HD 50Hz	720/30PN (Native)*2	128分	DVCPRO HD
	720/24PN (Native)*2	160分	
	1080/50i	64分	
	1080/25P (over 50i)		
720/50P			
720/25P (over 50P)			
SD 59.94 Hz	720/25PN (Native)*2	128分	DVCPRO HD
	480/60i	128分 (DVCPRO50) 256分 (DVCPRO/DV)	
	480/30P (over 60i)		
	480/24P (over 60i)		
SD 50Hz	480/24PA (over 60i)		128分 (DVCPRO50) 256分 (DVCPRO/DV)
	576/50i		
	576/25P (over 50i)		

\*1 24Pは23.98P、30Pは29.97P、60Pと60iはそれぞれ59.94Pと59.94iで記録されます。

\*2 ネイティブモードは、有効フレームのみ記録するモードです。

\*3 記録時間はそれぞれP2 16GBカード4枚使用時。P2カード1枚では、1/4になります。また、映像フォーマット、コーデックのほか、機能設定やカット数によっても、記録時間は異なります。

### カメラモードでの記録信号の選択

カメラモードでは、本機で撮影した映像を記録することができます。

下記の設定メニューで記録信号の選択などができます。

設定メニュー項目	設定内容
SYSTEM FREQ (OTHER FUNCTIONS画面)	システム周波数を設定します。(59.94Hz、50Hz) なお、この設定を変更した場合は、TURN POWER OFFと表示されるまで待ってから、一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。
REC FORMAT (RECORDING SETUP画面)	●記録、および撮影のフォーマット、フレームレートを選択します。 ●記録方式(1080i、720P、480i/576i)とフレームレート(60P/50P、60i/50i、30P/25P、24P、24PA)を組み合わせて選択できます。 ●720P/30PN、24PN、25PNは、ネイティブ記録となります。
FRAME RATE (SCENE FILE画面)	設定メニューのSCENE FILE画面のOPERATION TYPE項目をFILM CAMに設定していると、720Pモードで撮影フレームレートを選択できます。 →「バリエーションフレームレート(VFR)記録」(37ページ)参照
480i (576i) REC MODE (RECORDING SETUP画面)	SDモード(480i、576i)のとき、記録モードをDVCPRO50/DVCPRO/DVから選択できます。
ASPECT CONV (CAMERA SETUP画面)	SDモード(480i、576i)のとき、映像のアスペクト比を選択します。

## MCRモードでの記録/再生信号の選択

MCRモードでは、1394端子入力の記録とP2カードのクリップ再生ができます。

下記の設定メニューで記録/再生信号の選択ができます。

設定メニュー項目	設定内容
SYSTEM FREQ (OTHER FUNCTIONS画面)	システム周波数を設定します。(59.94Hz、50Hz) なお、この設定を変更した場合は、TURN POWER OFFと表示されるまで待ってから、一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。
MCR FORMAT (RECORDING SETUP画面)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1394端子入力記録のフォーマットとP2カードのクリップ再生のフォーマットを選択します。</li> <li>●1080i、720P、480i/576iでは、記録と再生ができます。</li> <li>●720P/30PN、720P/24PN、720P/25PNではそれぞれのフレームレートでネイティブ記録されたクリップの再生ができます。</li> <li>●カメラモードからMCRモードに切り替えたときは、REC FORMATの記録方式を受け継ぎます。</li> </ul>
480i (576i) MCR MODE (RECORDING SETUP画面)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDモード(480i、576i)での1394端子入力記録とP2カードのクリップ再生モードをDVCPRO50/DVCPRO/DVから選択できます。</li> <li>●カメラモードからMCRモードに切り替えたときは、480i(576i) REC MODEを受け継ぎます。</li> </ul>

## 映像出力の選択

カメラモード、およびMCRモードで映像出力方式を選択できます。

下記の設定メニューで映像出力の選択などができます。

設定メニュー項目	設定内容
CMPNT/SDI SEL (OUTPUT SEL画面)	COMPONENT OUT端子、およびSDI OUT端子に出力する信号方式(AUTO、1080i、480i/576iから)を選択します。
SETUP* (CAMERA SETUP画面)	ビデオ出力のセットアップレベルを選択します。 ●0%: 出力、記録ともセットアップ0% ●7.5%A: 出力のみセットアップ7.5%(記録は0%) ・再生時もSETUPメニューの設定が有効になります。
DOWNCON MODE (DISPLAY SETUP画面)	HDモード(1080i、720P)でダウンコン出力(VIDEO OUT、およびCMPNT/SDI SELを480i、576iにしたときのCOMPONENT OUT、SDI OUT)に出力する画面タイプを選択します。

\* 59.94Hz設定時のみ。

### 【NOTE】

設定メニューのSYSTEM FREQ項目やREC FORMAT、MCR FORMAT項目を変更したとき、映像・音声が入乱れることがあります。異常ではありません。

# 記録 / 再生と出力フォーマット一覧

## カメラモード (記録)

### ■ SYSTEM FREQ (設定メニュー) : 59.94Hz

フォーマット設定	記録状態			出力設定		出力状態			
REC FORMAT	撮影、および記録フレームレート	記録フォーマット	記録オーディオチャンネル	CMPNT/SDI SEL	SDI OUT	SDI OUT AUDIO	COMPONENT OUT	VIDEO OUT	1394出力
1080i/60i	60i	DVCPRO HD 1080i/59.94i	4ch	AUTO	1080i/59.94i	4ch	1080i/59.94i	525i/59.94i	DVCPRO HD 1080i/59.94i
1080i/30P	30P over 60i			1080i	1080i/59.94i		1080i/59.94i		
1080i/24P	24P over 60i			480i	525i/59.94i		525i/59.94i		
1080i/24PA	24PA over 60i								
720P/60P	60P*1	DVCPRO HD 720P/59.94P	4ch	AUTO	720P/59.94P*1	4ch	720P/59.94P*1	525i/59.94i	DVCPRO HD 720P/59.94P*1
720P/30P	30P over 60P*1			1080i	1080i/59.94i		1080i/59.94i		
720P/24P	24P over 60P*1			480i	525i/59.94i		525i/59.94i		
720P/30PN	30P撮影の ネイティブ記録*2	DVCPRO HD 720P/29.97P	4ch*5	AUTO	720P/59.94P*1	4ch*5	720P/59.94P*1	525i/59.94i	出力しない
720P/24PN	24P撮影の ネイティブ記録*3	DVCPRO HD 720P/23.98P		1080i	1080i/59.94i		1080i/59.94i		
				480i	525i/59.94i		525i/59.94i		
480i/60i	60i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV*4 480i/59.94i	4ch、 または 2ch*6	無効	525i/59.94i	4ch、 または 2ch*6	525i/59.94i	525i/59.94i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV*4 525i/59.94i
480i/30P	30P over 60i								
480i/24P	24P over 60i								
480i/24PA	24PA over 60i								

\*1 FILM CAMのときは、FRAME RATEメニューに従い12P～60P撮影のover 60Pとなります。

\*2 FILM CAMのときは、FRAME RATEメニューに従い12P～60P撮影のVFR記録が可能となります。  
(再生時は30P over 60P)

\*3 FILM CAMのときは、FRAME RATEメニューに従い12P～60P撮影のVFR記録が可能となります。  
(再生時は24P over 60P)

\*4 480i (576i) REC MODEに従い、DVCPRO50/DVCPRO/DVから選択可能です。

\*5 720P/30PN時、FRAME RATEがDEFAULT、あるいは30FRAME以外は音声を記録・出力しません。720P/24PN時、FRAME RATEがDEFAULT、あるいは24FRAME以外は音声を記録・出力しません。

\*6 DVCPRO50では4CH、DVCPRO/DVでは25M REC CH SELメニューで2CH、または4CHを選択します。

■ SYSTEM FREQ (設定メニュー) : 50Hz

フォーマット設定	記録状態			出力設定	出力状態				
REC FORMAT	撮影、および記録フレームレート	記録フォーマット	記録オーディオチャンネル	CMPNT/SDI SEL	SDI OUT	SDI OUT AUDIO	COMPONENT OUT	VIDEO OUT	1394出力
1080i/50i	50i	DVCPRO HD 1080i/50i	4ch	AUTO	1080i/50i	4ch	1080i/50i	625i/50i	DVCPRO HD 1080i/50i
1080i/25P	25P over 50i			1080i	1080i/50i		1080i/50i		
				576i	625i/50i		625i/50i		
720P/50P	50P <sup>*7</sup>	DVCPRO HD 720P/50P	4ch	AUTO	720P/50P <sup>*7</sup>	4ch	720P/50P <sup>*7</sup>	625i/50i	DVCPRO HD 720P/50P <sup>*7</sup>
720P/25P	25P over 50P <sup>*7</sup>			1080i	1080i/50i		1080i/50i		
				576i	625i/50i		625i/50i		
720P/25PN	25P撮影の25Pネイティブ記録 <sup>*8</sup>	DVCPRO HD 720P/25P	4ch <sup>*9</sup>	AUTO	720P/50P <sup>*7</sup>	4ch <sup>*9</sup>	720P/50P <sup>*7</sup>	625i/50i	出力しない
				1080i	1080i/50i		1080i/50i		
				576i	625i/50i		625i/50i		
576i/50i	60i	DVCPRO50/DVCPRO/DV <sup>*4</sup> 625i/50i	4ch、または2ch <sup>*6</sup>	無効	625i/50i	4ch、または2ch <sup>*6</sup>	625i/50i	625i/50i	DVCPRO50/DVCPRO/DV <sup>*4</sup> 625i/50i
576i/25P	25P over 50i								

<sup>\*4</sup> 480i (576i) REC MODEに従い、DVCPRO50/DVCPRO/DVから選択可能です。

<sup>\*6</sup> DVCPRO50では4CH、DVCPRO/DVでは25M REC CH SELメニューで2CH、または4CHを選択します。

<sup>\*7</sup> FILM CAMのときは、FRAME RATEメニューに従い12P～50P撮影のover 50Pとなります。

<sup>\*8</sup> FILM CAMのときは、FRAME RATEメニューに従い12P～50P撮影のVFR記録が可能となります。(再生時は25P over 50P)

<sup>\*9</sup> 720P/25PN時、FRAME RATEがDEFAULT、あるいは25FRAME以外は音声を記録・出力しません。

## MCRモード（再生と1394入力記録）

### ■ SYSTEM FREQ（設定メニュー）：59.94Hz

フォーマット設定	記録状態		出力設定	出力状態				
MCR FORMAT	1394記録・再生フォーマット	記録・再生オーディオチャンネル	CMPNT/SDI SEL	SDI OUT	SDI OUT AUDIO	COMPONENT OUT	VIDEO OUT	再生時1394出力
1080i/60i	DVCPRO HD 1080i/59.94i	4ch	AUTO	1080i/ 59.94i	4ch	1080i/59.94i	525i/ 59.94i	DVCPRO HD 1080i/59.94i
			1080i	1080i/ 59.94i		1080i/59.94i		
			480i	525i/ 59.94i		525i/59.94i		
720P/60P	DVCPRO HD 720P/59.94P	4ch	AUTO	720P/ 59.94P	4ch	720P/59.94P	525i/ 59.94i	DVCPRO HD 720P/59.94P
			1080i	1080i/ 59.94i		1080i/59.94i		
			480i	525i/ 59.94i		525i/59.94i		
720P/30PN	DVCPRO HD 720P/59.94P*1*2	4ch*5	AUTO	720P/ 59.94P*1*2	4ch*5	720P/59.94P*1*2	525i/ 59.94i*1	DVCPRO HD 720P/59.94P*2
			1080i	1080i/ 59.94i*1		1080i/59.94i*1		
			480i	525i/ 59.94i*1		525i/59.94i*1		
720P/24PN	DVCPRO HD 720P/59.94P*1*3	4ch*5	AUTO	720P/ 59.94P*1*3	4ch*5	720P/59.94P*1*3	525i/ 59.94i*1	DVCPRO HD 720P/59.94P*2
			1080i	1080i/ 59.94i*1		1080i/59.94i*1		
			480i	525i/ 59.94i*1		525i/59.94i*1		
480i/60i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV*6 525i/59.94i	4ch、 または 2ch*7	無効	525i/ 59.94i	4ch、 または 2ch*7	525i/59.94i	525i/ 59.94i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV*6 525i/59.94i

### ■ SYSTEM FREQ（設定メニュー）：50Hz

フォーマット設定	記録状態		出力設定	出力状態				
MCR FORMAT	1394記録・再生フォーマット	記録・再生オーディオチャンネル	CMPNT/SDI SEL	SDI OUT	SDI OUT AUDIO	COMPONENT OUT	VIDEO OUT	再生時1394出力
1080i/50i	DVCPRO HD 1080i/50i	4ch	AUTO	1080i/50i	4ch	1080i/50i	625i/ 50i	DVCPRO HD 1080i/50i
			1080i	1080i/50i		1080i/50i		
			576i	625i/50i		625i/50i		
720P/50P	DVCPRO HD 720P/50P	4ch	AUTO	720P/50P	4ch	720P/50P	625i/ 50i	DVCPRO HD 720P/50P
			1080i	1080i/50i		1080i/50i		
			576i	625i/50i		625i/50i		
720P/25PN	DVCPRO HD 720P/25P*1*4	4ch*5	AUTO	720P/50P*1*4	4ch*5	720P/50P*1*4	625i/ 50i*1	DVCPRO HD 720P/50P*4
			1080i	1080i/50i*1		1080i/50i*1		
			576i	625i/50i*1		625i/50i*1		
576i/50i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV*6 625i/50i	4ch、 または 2ch*7	無効	625i/50i	4ch、 または 2ch*7	625i/50i	625i/ 50i	DVCPRO50/ DVCPRO/DV*6 625i/50i

\*1 1394入力では記録不可、出力はブラック状態になります。

\*2 再生は、2:2プルダウンでover 60Pに変換します。

\*3 再生は、2:3プルダウンでover 60Pに変換します。

\*4 再生は、2:2プルダウンでover 50Pに変換します。

\*5 無音で記録されたクリップの再生は無音となります。

\*6 480i (576i) MCRモードに従いDVCPRO50/DVCPRO/DVから選択します。

\*7 DVCPRO50では4CH、DVCPRO/DVでは2CH、または4CHになります。

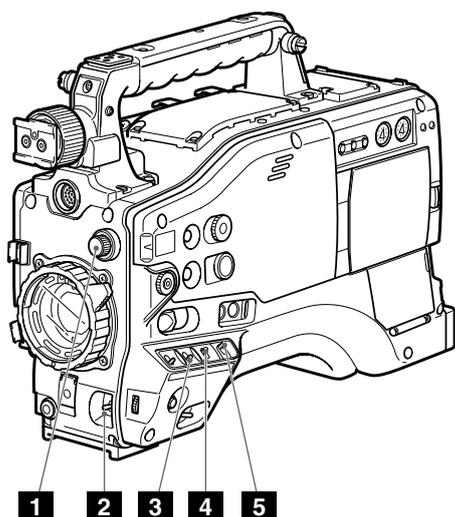
# ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

なお、より高画質を得るためには、AWB (ホワイトバランスの調整) → ABB (ブラックバランスの調整) → AWB (ホワイトバランスの調整) の順に行ってください。

## ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。下記の手順でホワイトバランスを自動調整します。



- 1 ND FILTERつまみ**  
CCDに入る光の量を調整します。
- 2 AUTO W/B BALスイッチ**  
AWB実行時に使用します。
- 3 GAINスイッチ**  
通常は0dB。暗すぎるときは、適切なゲインに設定します。
- 4 OUTPUTスイッチ**  
CAMに設定します。
- 5 WHITE BALスイッチ**  
A、またはBに設定します。

**1** GAINスイッチ、OUTPUTスイッチ、WHITE BALスイッチを設定する

**2** 照明条件に合わせて、ND FILTERつまみの設定を切り替える

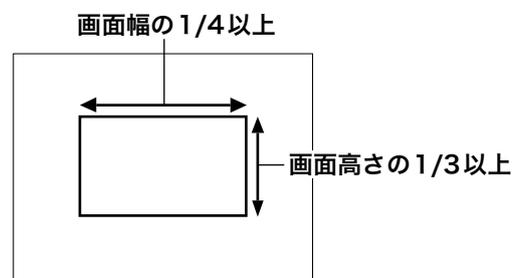
→ ND FILTERつまみの設定例については「撮影・記録/再生機能部」(20ページ) 参照

**3** 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す

・被写体近くの白い物(白布、白壁)で代用することもできます。必要な白の大きさは、図の通りです。

### [NOTE]

- ・画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- ・白い物は、画面の中心に写してください。



**4** レンズの絞りを調整する  
・センターマーカーを出して、表示が70%くらいになるようにアイリス調整します。

**5** AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒して、スイッチを離す  
・スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

## 6 調整中、ビューファインダー画面には、下記のメッセージが表示される



## 7 数秒で調整が完了し、下記のメッセージが表示される

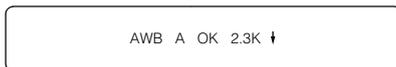
- 調整値は、設定したメモリー（A、またはB）に自動的に記憶されます。



- このときシーンファイルのCOLOR TEMP設定が0以外になっていると、C TEMP + 7 ~ - 7が表示されます。

## 8 被写体の色温度が、2300Kよりも低い場合や9900Kよりも高い場合は、下記のメッセージが表示される

- 矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。



## ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BALスイッチをPRSTにします。

- AUTO W/B BALスイッチをAWB側に倒すたびに、3200K、5600Kの変更ができます。

## ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	内容
AWB NG	色温度が高すぎる、または低すぎる
LOW LIGHT	光量が不足している
LEVEL OVER	光量が多すぎる

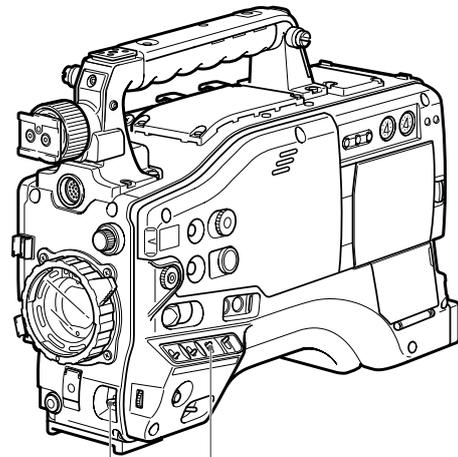
## ホワイトバランス関連のビューファインダー表示について

→「ビューファインダーの状態表示」（70ページ）参照

## ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、下記の場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかったあとに使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
- ゲイン切り替え値を変更したとき



**1** AUTO W/B BALスイッチ  
AWB実行時に使用します。

**2** OUTPUTスイッチ  
CAMに設定します。

**1** AUTO W/B BALスイッチをABB側に倒し、スイッチを離す

- スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

## 2 調整中、ビューファインダー画面には下記のメッセージが表示される

ABB ACTIVE

### 【NOTE】

調整中は、レンズ絞りが自動的にCLOSEになります。

## 3 数秒で調整が完了し、下記のメッセージが表示される

ABB END

・調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

### 【NOTE】

- ・レンズコネクターが接続されていること、レンズ絞りがCLOSEになっていることを確認してください。
- ・ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。

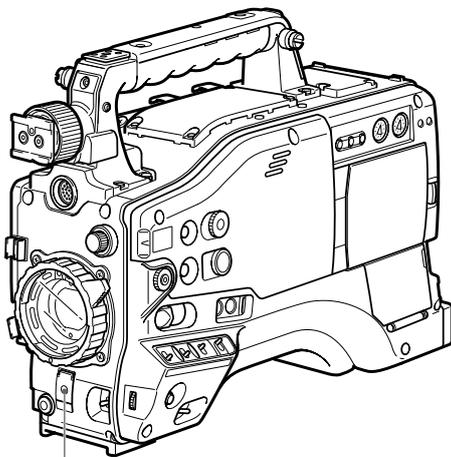
### ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、電源OFFの状態でも保存されます。

# 電子シャッターの設定

## シャッターモード/スピードの設定

- 1 シャッタースイッチをOFFの位置からON側に押す



シャッタースイッチ

- 2 シャッタースイッチをONからSEL側に押し、希望のモード、またはスピードがビューファインダー画面に表示されるまで、この操作を繰り返す

・すべてのモードとスピードが表示される場合は、下記の順序で表示が切り替わります。

### 60Hz モード

#### 60i,60P 記録の場合

S/S→(1/15)→(1/30)→1/100→1/120  
→1/250→1/500→1/1000→1/2000

#### 30P 記録の場合

S/S→(1/15)→1/50→1/60→1/120→1/250  
→1/500→1/1000

#### 24P 記録の場合

(720P/24P,720P/24PN を除く)

S/S→1/50→1/60→1/120→1/250→1/500  
→1/1000

#### 24P 記録の場合

(720P/24P,720P/24PN の場合)

S/S→(1/12)→1/50→1/60→1/120→1/250  
→1/500→1/1000

### 50Hz モード

#### 50i,50P 記録の場合

S/S→(1/12)→(1/25)→1/60→1/120→1/250  
→1/500→1/1000→1/2000

#### 25P 記録の場合

S/S→(1/12)→1/50→1/60→1/120→1/250  
→1/500→1/1000

### 【NOTE】

- ・電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- ・絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- ・設定メニューのSCENE FILE画面のOPERATION TYPE項目をFILM CAMに設定しているときは( )内のシャッタースピードには切り替わりません。

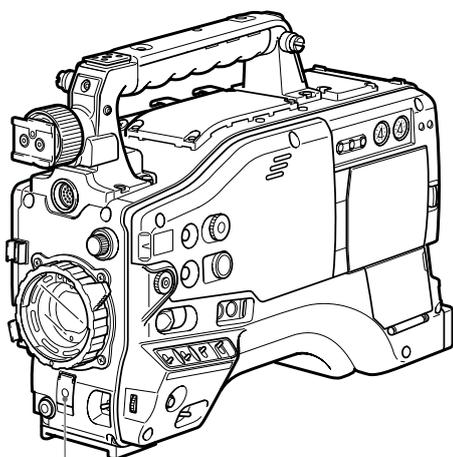
## シャッター関連のビューファインダー画面表示について

→「ビューファインダーの状態表示」(70ページ)参照

## シンクロスキャンモードの設定

下記の手順で操作します。

- 1 シャッタースイッチをONからSEL側に押し、SYNCHRO SCAN (S/S) モードに設定する



シャッタースイッチ

- 2 SYNCHRO SCANモード時は、ジョグダイヤルボタンを操作して1/60.0秒から1/249.8秒の範囲内で連続的に切り替える(60iモードの場合)

## 各モードでの可変範囲

### ■ 59.94Hzモード

- ・ 60P/60iのとき : 1/60.0 ~ 1/249.8
- ・ 30P/30PNのとき : 1/30.0 ~ 1/249.8
- ・ 24P/24PA/24PNのとき : 1/24.0 ~ 1/249.8
- ・ FILM CAMモードのとき\* : 10.0d ~ 360.0d

### ■ 50Hzモード

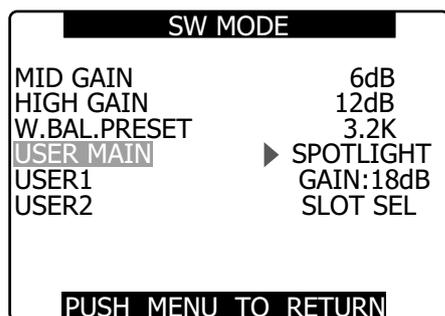
- ・ 50P/50iのとき : 1/50.0 ~ 1/248.9
- ・ 25P/25PNのとき : 1/25.0 ~ 1/248.9
- ・ FILM CAMモードのとき\* : 10.0d ~ 360.0d

\* 設定メニューのSCENE FILE画面で、OPERATION TYPE項目をFILM CAMに設定すると、開角度で設定・表示できます。

# USER ボタンへの機能割り当て

USER MAIN/USER1/USER2 ボタンに選択した機能を割り当てることができます。

USER MAIN項目とUSER1項目とUSER2項目で、各々に割り当てる機能を設定します。各項目は、設定メニューのSW MODE画面から設定します。



## 選択可能な機能について

- ・ **REC CHECK**: レックチェックを割り当てます。
- ・ **SPOTLIGHT**: スポットライト用のオートアイリス制御のON/OFFを割り当てます。
- ・ **BACKLIGHT**: 逆光補正用のオートアイリス制御を割り当てます。
- ・ **BLACKFADE**: ブラックフェードを割り当てます。
- ・ **WHITEFADE**: ホワイトフェードを割り当てます。
- ・ **GAIN 18dB**: ゲインを18dBにアップする機能を割り当てます。
- ・ **TEXT MEMO**: テキストメモ記録を割り当てます。
- ・ **SLOT SEL**: P2カードスロットの選択を割り当てます。
- ・ **SHOT MARK**: ショットマーク機能を割り当てます。
- ・ **LVL METER**: チャンネルのレベル表示機能を割り当てます。
- ・ **MARKER**: センターマーカ表示機能を割り当てます。
- ・ **LCD REV**: LCD映像の上下左右反転機能を割り当てます。

### 【NOTE】

初期状態の割り当ては、下記のように設定されています。

- ・ **USER MAIN**: SHOT MARK
- ・ **USER1**: BACK LIGHT
- ・ **USER2**: LVL METER

# 音声入力の選択と録音レベルの調整

本機は、すべての記録フォーマット（HD、SD）で音声独立4チャンネル記録ができます。

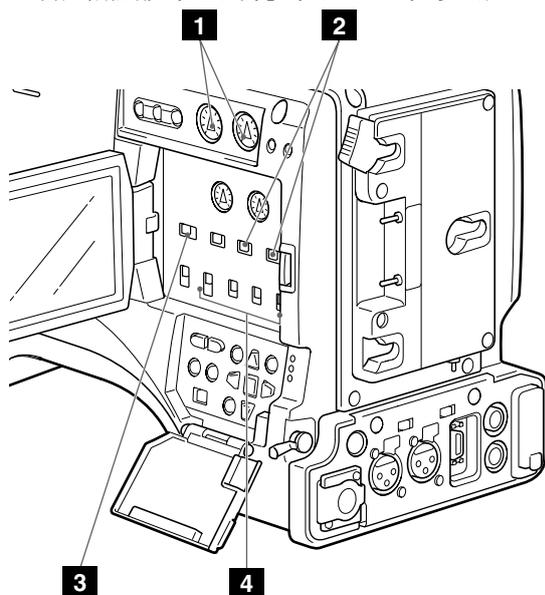
AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをAUTOにすると、音声チャンネル1/2に録音されるレベルは自動的に調整されます。また、MANにすると手動で調整することもできます。

なお、音声チャンネル3/4に録音されるレベルは設定メニューにより選択できます。

## 音声入力信号の選択

AUDIO INスイッチで音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選択します。

→「音声機能部（入力系）」（17ページ）参照。



- 1 AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみ
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ
- 3 MONITOR SELECT CH1/3/ST/CH2/4切り替えスイッチ
- 4 AUDIO INスイッチ

DVCPRO、またはDVフォーマットで使用する場合、工場出荷時の状態では音声チャンネル3/4は記録を行わないように設定されています。4チャンネル記録を行うときは、設定メニューのAUDIO SETUP画面の25M REC CH SEL項目を4CHに設定してください。→スイッチ設定と入力系統については、「AUDIO INスイッチ」（17ページ）参照

### 【NOTE】

- ・4チャンネル記録される音声信号は、そのままSDI出力されます。
- ・フロントマイク（AG-MC200Gなど）をFRONT2のみ入力した場合、AUDIO INスイッチのCH1をFRONT2に、CH2～CH4をFRONT側に設定して、MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4切り替えスイッチをCH3/4側に切り替えると、CH3側は無音となります。

音声関連の詳細設定は、設定メニューのAUDIO SETUP画面で行います。

AUDIO SETUP	
FRONT VR CH1	OFF
FRONT VR CH2	OFF
MIC LOWCUT CH1	OFF
MIC LOWCUT CH2	OFF
MIC LOWCUT CH3	OFF
MIC LOWCUT CH4	OFF
LIMITER CH1	OFF
LIMITER CH2	OFF
PUSH MENU TO RETURN	

## 録音レベルの調整

音声チャンネル1/2に録音されるレベルを手動調整する手順は下記の通りです。

- 1 オーディオレベルメーター表示がCH1、CH2を示すように、MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4切り替えスイッチをCH1/2側にし、表示が1、2であることを確認する
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにする

### 3 ビューファインダー画面のオーディオレベルメーター表示を見ながらAUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを調整する

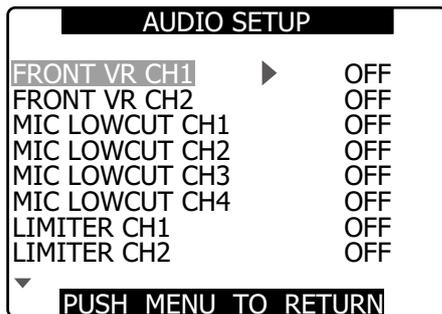
- ・最上段のバー（0dB）を超えるとOVER表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも0dBまで表示しないように調整してください。



本機を1人で操作する場合、音声レベルの調整には、FRONT AUDIO LEVELつまみを使用してください。あらかじめ調整するオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面のレベルメーターを見ながら、過大入力にならないよう、FRONT AUDIO LEVELつまみで調整します。

## FRONT AUDIO LEVEL つまみの機能の選択

設定メニューのAUDIO SETUP画面のFRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、入力信号として選択された系統に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみの操作を有効にするかしないかを設定します。ONに設定すると、FRONT AUDIO LEVELつまみの操作が有効になります。



## CH3/CH4の録音レベルについて

設定メニューのAUDIO SETUP画面のAUTO LEVEL CH3とAUTO LEVEL CH4項目をOFFに設定すると、AUDIO LEVEL CH3/CH4つまみで録音レベルの調整ができます。

# タイムデータの設定

本機はタイムデータとしてタイムコード、ユーザズビット、日時（リアルタイム）データを備え、サブコード領域とVIDEO AUX領域、およびクリップメタデータファイルのデータとして記録されます。

## タイムデータの概要

### タイムコード

TCGスイッチでレックランとフリーランに切り替えることができます。

- ・フリーラン：常に歩進し、電源OFFでも歩進が行われ、時刻と同様に扱うことができます。またTC IN端子や1394端子に入力されたタイムコードにスレーブロックして記録することができます。
- ・レックラン：記録のときだけ歩進します。通常、前回記録したクリップに連続した値となり、電源OFFにしたり、記録するP2カードを交換しても値は保持されます。

#### 【NOTE】

下記の場合は、連続した値になりません。

- ・記録したクリップを削除した場合
- ・24P、24PAのフレームレートに切り替えた場合
- ・24PN、30PN、25PNに切り替えた場合
- ・記録中にREC WARNINGなどの異常で記録を中止した場合

### ユーザズビット

- ・サブコード領域に記録するユーザズビット(UB)と、VIDEO AUX領域に記録するUB (VITC UB) の2種類を別々に内蔵しています。
- ・サブコード領域のユーザズビットは、ユーザー設定値、時刻、年月日、タイムコードと同値、カメラ撮影のフレームレート情報、外部（TC IN端子や1394端子）入力値などを選択して記録することができます。
- ・VITC UBは、カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。
- ・クリップメタデータのユーザズビットには、記録開始時のサブコード領域のユーザズビット値が記録されます。

### ■日時（リアルタイム）

- ・内蔵の時計により、年、月、日、時刻を計測し、ビューファインダー/LCD画面、およびVIDEO OUTなどの出力映像に表示することができます。
- ・内蔵時計はフリーランタイムコードの電源OFF中の計測や、ユーザズビットの時刻、年月日データとして使用されるだけでなく、クリップを記録するときにファイル生成時刻のもととなり、サムネールの並びや再生順序が決まります。
- ・また、クリップメタデータや、VIDEO AUX領域のUMIDの生成にも使用されます。  
→「内蔵時計の日付/時刻の設定」(29ページ) 参照

# タイムコード、およびユーザーズビットの記録

システム周波数や記録フォーマットにより下記ようになります。

MODE. SYSTEM FREQ	REC MODE/ MCR MODE	FRAME RATE (FILM CAM時)	サブコード領域のTC	VIDEO AUX領域のTC (VITC)	記録TCフレーム数	出力TCフレーム数	表示TCフレーム数	サブコード領域のUB	VIDEO AUX領域のUB (VITC UB)
59.94Hz カメラ モード	1080i/60i 1080i/30P	無関係	TC MODE に従う*1	TC MODE に従う*1	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	1080i/24P 1080i/24PA	無関係	ノンドロップ フレーム 固定*2	ノンドロップ フレーム固定*2	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	720P/60P 720P/30P 720P/24P	12P-60P (24P以 外)	TC MODE に従う*1	TC MODE に従う*1	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
		24P	ノンドロップ フレーム 固定*2	ノンドロップ フレーム固定*2	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	720P/30PN	12P-60P	TC MODE に従う*1*6	TC MODE に従う*1*6	30	30	30固定	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	720P/24PN	12P-60P	ノンドロップ フレーム 固定*2*6	ノンドロップ フレーム固定*2*6	24	30	24固定	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	480i/60i 480i/30P	無関係	TC MODE に従う*1	TC MODE に従う*1	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	480i/24P 480i/24PA	無関係	ノンドロップ フレーム 固定*2	ノンドロップ フレーム固定*2	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
59.94Hz MCR モード (1394 入力記録)	1080i/60i 720P/60P 480i/60i	無関係	TC MODE に従う*3	設定によらず 常に1394端子 に入力された VIDEO AUX領 域のTCを記録	30	30	30/24切り 替え可*7	UB MODE に従う*5	設定によらず常に 1394端子に入力され たVIDEO AUX領 域 のUBを記録
	720P/30PN	無関係	記録しない (再生30: フレーム)	記録しない (再生30: フレーム)	—	— (再生: 30)	— (再生:30 固定)	記録 しない	記録しない(再生: プルダウン映像に合 わせて、フレームレ ート情報を変換して 生成)
	720P/24PN	無関係	記録しない (再生30: フレーム)	記録しない (再生30: フレーム)	—	— (再生: 30)	— (再生*8: 30/24切り 替え可)	記録 しない	記録しない(再生: プルダウン映像に合 わせて、フレームレ ート情報を変換して 生成)
50Hz カメラ モード	1080i/50i 1080i/25P	無関係	* 1	* 1	25	25	25固定	UB MODE に従う*4	フレームレート 情報固定
	720P/50P 720P/25P	12P-50P							
	720P/25PN	12P-50P	* 1 * 6	* 1 * 6					
	576i/50i 576i/25P	無関係	* 1	* 1					
50Hz MCR モード (1394 入力記録)	1080i/50i 720P/50P 576i/50i	無関係	* 3	設定によらず 常に1394端子 に入力された VIDEO AUX領 域のTCを記録	25	25	25固定	UB MODE に従う*5	設定によらず常に 1394端子に入力され たVIDEO AUX領 域 のUBを記録
	720P25PN	無関係	記録しない	記録しない	—	— (再生: 25)	— (再生: 25固定)	記録 しない	記録しない(再生: プルダウン映像に合 わせて、フレームレ ート情報を変換して 生成)

\*1 フリーランでは、TC IN端子の入力TCにスレーブします。

\*2 フリーランでは、TC IN端子の入力TCがノンドロップフレームの場合にスレーブします。

\*3 フリーランでF-RUN TC SLAVE項目を1394にすると、1394端子に入力された値にスレーブします。TC IN端子のTCにはスレーブしません。

\*4 設定メニューのTC IN UB REGEN項目をONに設定すると、TC IN端子の入力UBにスレーブします。

\*5 設定メニューの1394 UB REGEN項目をONに設定すると、1394端子の入力UBにスレーブします。

\*6 撮影のフレームレート設定が記録フレームレートと異なる場合は、レックラン固定(スレーブしません)。

\*7 FILM CAMモードのときのみ、VIDEO CAMでは30フレーム固定。

\*8 FILM CAMモードのときのみ、VIDEO CAMでは24フレーム固定。

## ユーザーズビットの設定

サブコード領域に記録するユーザーズビットを設定メニューのRECORDING SETUP画面のUB MODE項目で設定します。

• **USER:**

内蔵しているユーザー値を記録します。ユーザー値は、TCGスイッチをSETにして設定メニューのTC PRESET画面で設定できます。設定値は、電源OFFでも保持されます。

→「ユーザーズビットの入力方法」(62ページ) 参照

• **TIME:**

内蔵時計で計測している時刻を記録します。

• **DATE:**

内蔵時計で計測している年、月、日時刻の時の桁を記録します。

• **TCG:**

タイムコード値が記録されます。

• **FRM. RATE:**

カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。ネイティブ記録されたクリップの再生時には、記録された値に関わらずVIDEO AUX領域のユーザーズビットと同じフレームレート情報を出力します。パソコンなどの編集機器がユーザーズビットのフレームレート情報を使用する場合には、この設定でご使用ください。

→「ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報」(63ページ) 参照

・なお、TC IN端子に入力しているユーザーズビット値にスレーブブロックする場合は、設定メニューのRECORDING SETUP画面のTC IN UB REGEN項目をONに設定します。

・また、MCRモードの1394入力記録で、1394端子から入力しているユーザーズビット値にスレーブする場合は、設定メニューのRECORDING SETUP画面の1394 UB REGEN項目をONに設定します。

・スレーブしている間は、UB表示が白黒反転文字になります。この状態ではUB MODE項目での設定は無効になります。

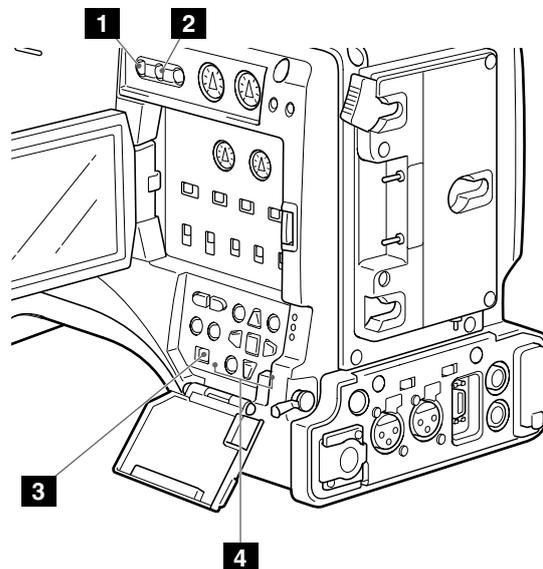
・一度スレーブしたあとは、TC IN端子や1394端子入力を止めてもスレーブ状態を継続します。ただし、下記の場合はユーザーズビットのスレーブ状態を解除します。

- ・設定メニューのTC IN UB REGEN項目、または1394 UB REGEN項目をOFFに設定する
- ・UB PRESETを行う
- ・CAMERA/MCRモードを切り替える
- ・電源OFFにする

スレーブ解除後も内蔵のUSER値はスレーブした値を保持します。

## ユーザーズビットの入力方法

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコード領域に記録できます。



1 HOLD ボタン

2 COUNTER ボタン

3 TCG スイッチ

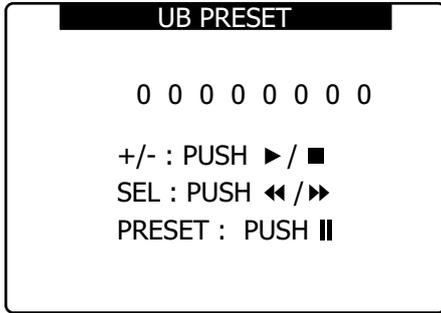
4 カーソル・SET ボタン

### 1 COUNTER ボタンでUBにする

### 2 TCGスイッチをSETにする

・左の桁が点滅し、数値が変更可能になります。

### 3 カースルボタンでユーザーズビットを設定する



- ▶ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が右に移ります。
- ◀ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が左に移ります。
- ▲ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ大きくします。
- ▼ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ小さくします。
- || (SET) ボタン：設定したユーザーズビットを確定させます。
- ・ユーザーズビットを設定しているときにRESETボタンを押すと、ユーザーズビットが0にリセットされます。

### 4 SETボタンを押してユーザーズビットの設定値を確定させてからTCGスイッチをF-RUN、またはR-RUNにする

**[NOTE]**

SETボタンを押さずにTCGスイッチを切り替えた場合は、設定した値は無効になります。

### 5 設定メニューからRECORDING SETUP画面を開き、UB MODE項目でUSERを選択する

#### ユーザーズビットのメモリー機能について

ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源OFFのあとも保持されます。

## ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報

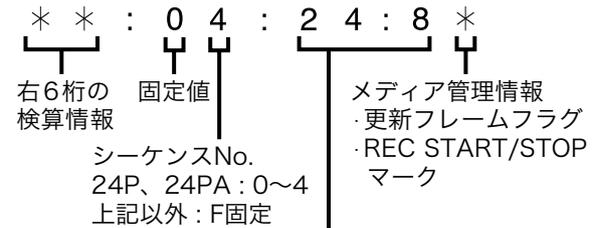
設定メニューのREC FORMAT項目（FILM CAMの720PではFRAME RATE項目）で設定されたフレームレートに従って撮影され、記録される映像情報をユーザーズビットに記録しておき、編集機器（パソコン編集ソフト）で利用できます。

カメラモードの記録では、VIDEO AUX領域のユーザーズビットには常にこの情報が記録されます。

また、設定メニューのUB MODE項目をFRM.RATEに設定すると、サブコード領域のユーザーズビットにも記録されます。720Pネイティブで記録されたクリップの再生では、VIDEO AUX領域のユーザーズビットを再生して得たフレームレート情報と同じ値をサブコード領域のユーザーズビットとしても出力します。

### ■フレームレート情報

フレームレート、および映像のプルダウンと、タイムコード・ユーザーズビットの関係は下記のようになっています。



カメラ映像モード

- ・60i : 600
- ・60P : 608
- ・30P : 308
- ・24P : 248
- ・24PA : 24C
- ・24PN : 24D (CAMモード中)
- ・50i : 502
- ・50P : 50A
- ・25P : 25A
- ・\*\*P : \*\*9 (59.94Hz 720Pネイティブ)
- ・\*\*P : \*\*B (50Hz 720Pネイティブ)

### 1080i、または 480i、576i のとき

フレームレート：24P Over 60i (2:3)

更新フレームの先頭フィールド

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ac	Ae	Bo	Be	...	Co	De	Do	De	Ac	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンスNo.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	01	00	10	10	...	01	00	10	10	01	01	00
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート：24PA Over 60i (2:3:3:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ac	Ae	Bo	Be	...	Co	De	Do	De	Ac	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンスNo.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	00	10	10	10	...	00	10	10	10	01	00	10
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート：30P Over 60i (2:2)

：25P Over 50i (2:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	...
----	----	----	-----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	...
----	----	----	----	----	----	-----

更新フレーム情報

10	10	10	...
----	----	----	-----

### 720P のとき

フレームレート：24P Over 60P (2:3)

更新フレーム

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

A	A	B	B	C	C	D	D	A	A	B	B	...	C	D	D	A	A	B	B	C	C	D	D
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	01	00	10	10	...	01	00	10	10	01	01	00
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート：30PA Over 60P (2:2)

：25PA Over 50P (2:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	...
----	----	----	-----

映像

A	A	B	B	C	C	...
---	---	---	---	---	---	-----

更新フレーム情報

10	10	10	...
----	----	----	-----

## タイムコードの設定

### 1 設定メニューのRECODING SETUP画面のTC MODE項目をDF、またはNDFに設定する (59.94Hzモード時)

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

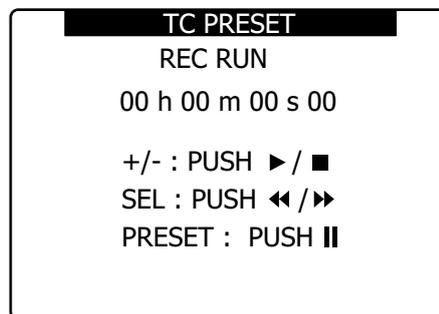
- ・ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときはDFに、ノンドロップフレームモードで歩進させるときはNDFに設定します。ただし、24P、24PA、24PNでは常にNDFで動作します。

### 2 COUNTERボタンでTC表示にする

### 3 TCGスイッチをSETにする

### 4 カーソルボタンでタイムコードを設定する

- ・タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00~23:59:59:29です。



- ▶ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が右に移ります。
- ◀ボタン：設定を行う（反転表示している）桁が左に移ります。
- ▲ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ大きくします。
- ▼ボタン：反転表示している桁の数値を1ずつ小さくします。
- || (SET) ボタン：設定したタイムコード値を確定させます。
- ・タイムコードを設定しているときにRESETボタンを押すと、タイムコード値が0にリセットされます。

## 5 SETボタンを押し、タイムコードの設定値を確定して、TCGスイッチを切り替える

- ・タイムコードをフリーランで歩進させるときはF-RUNに切り替え、レックランで歩進させるときはR-RUNに切り替えます。

### 【NOTE】

- ・24P、または24PAでご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に調整されます。24PNの場合は4の倍数に、30PNの場合は偶数に、25PNの場合は秒+フレームの値が偶数になるように調整されます。また、記録中にタイムコードの設定はできません。
- ・SETボタンを押さずにTCGスイッチを切り替えた場合は、設定した値は無効になります。

## ..... バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレーターは動作を続けます。

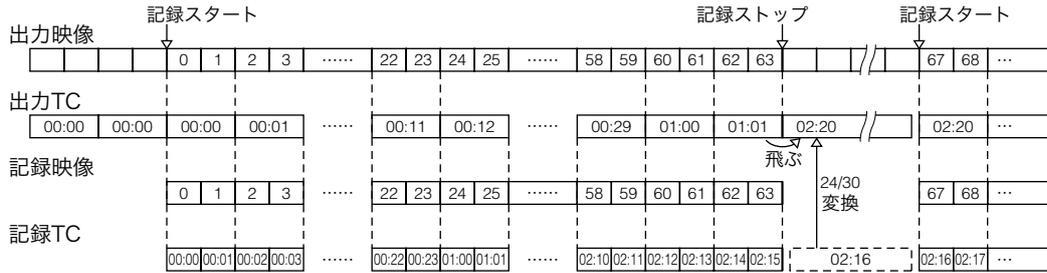
### 【NOTE】

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

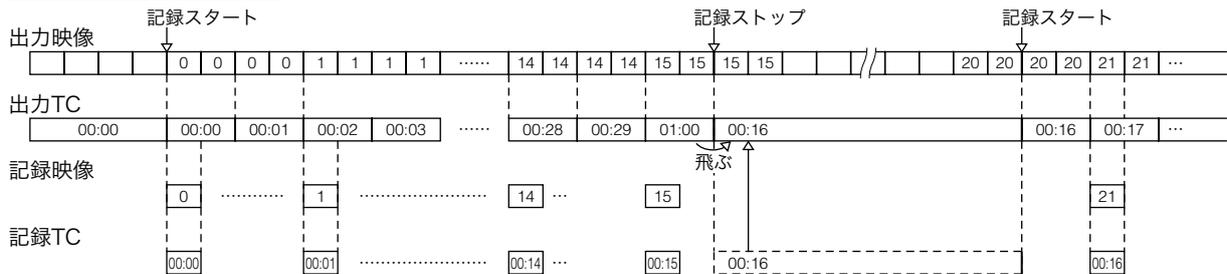
## 720P ネイティブモードのタイムコード

- ・24PN では、記録は 24 フレームとなり出力は 2 : 3 ブルダウン映像に合わせ、30 フレームとなります。
- ・FRAME RATE (撮影のフレームレート) が 24P のときは、記録と出力のタイムコードの歩進速度は、実時間どおり一致しますが 24P 以外では一致しません。(例:60P の場合、記録の歩進速度は 60/24 倍速となります)
- ・この場合は、レックラン固定動作となり記録開始時に出力するタイムコード値を記録タイムコードに一致させます。
- ・30PN のときの 30P 撮影以外、または 25PN のときの 25P 撮影以外も同様です。

### 60P 撮影の 24PN 記録



### 15P 撮影の 30PN 記録



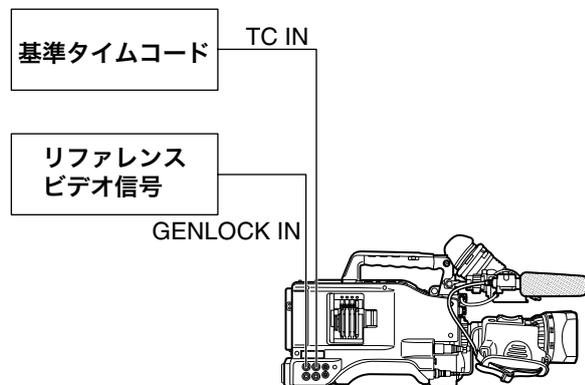
## タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部機器のタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

### 外部ロックさせる為の接続例

図のように、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

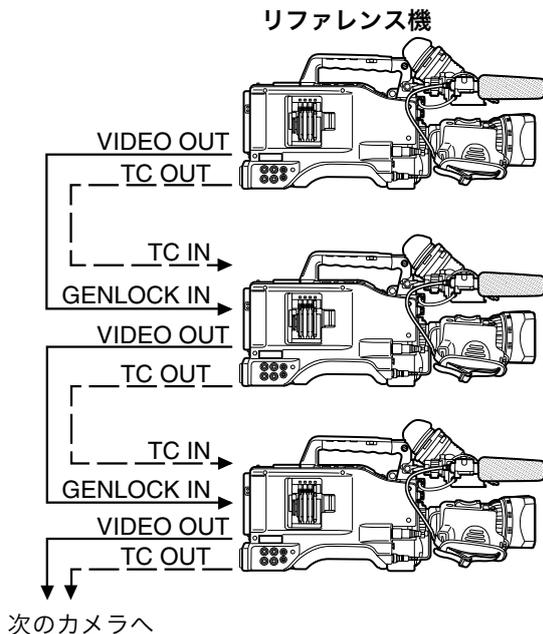
#### ■例1：外部の信号にロックさせる場合



#### [NOTE]

- リファレンスビデオ信号としては、HDのY基準信号のほかコンポジットビデオ信号も入力可能です。

#### ■例2：本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



#### [NOTE]

- 各機とも、設定メニューのOUTPUT SEL画面のTC VIDEO SYNCRO項目をTC INに、OTHER FUNCTIONS画面のGL SELECT項目をCOMPOSITEに、OUTPUT SEL画面のCMPNT/SDI SEL項目をAUTOに設定してください。
- 設定メニューのTC VIDEO SYNCROをTC INに設定するとTC INを遅延なく次のスレーブ機に供給することができます。

### 外部ロックの操作手順

下記の手順で、外部ロックさせます。

- POWERスイッチをONにする
- TCGスイッチをF-RUNにする
- COUNTERボタンでTCにする
- タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給する

- これで内蔵タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出て、TC表示が白黒反転文字になります。シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。
- 一度、スレーブするとTC IN端子やGENLOCK IN端子の入力がなくなっても、スレーブ状態\*を継続します。ただし、下記の場合はスレーブ状態は解除されます。
  - TC PRESETを行った場合
  - カメラモードとMCRモードを切り替えた場合
  - 電源OFFにした場合
  - TC MODEを切り替えた場合
  - TCGスイッチをR-RUNにした場合
- \*スレーブ機能とは、TC IN入力にタイムコードをロックさせ、その後タイムコードがなくなってもそのままタイムコードを連続させている状態です。

## 外部ロック時のユーザズビットの設定について

ユーザズビットを外部ロックさせるには、設定メニューのRECODING SETUP画面のTC IN UB REGEN項目をONに設定してください。

TCGスイッチのF-RUN/R-RUNに関わらず、TC IN端子に入力されたユーザズビット値にスレーブします。  
→「タイムデータの設定」(60ページ)・「ユーザズビットの設定」(62ページ) 参照

## 外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCGスイッチをR-RUNに設定します。

## 外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替えるときの注意

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

## 外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はGEN LOCKがかかります。

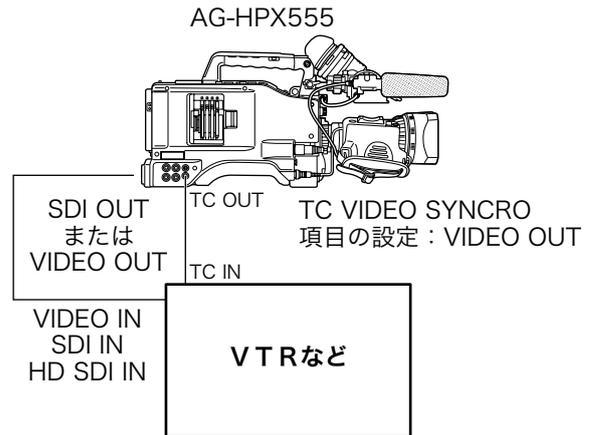
### 【NOTE】

- ・本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにしてください。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんのでご注意ください。
- ・MCRモードに切り替えると、GENLOCKが外れ、基準みだれとなりますのでご注意ください。
- ・24P、または24PAで外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。また、外部ロックした瞬間、画像が乱れることがありますが、5フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。

## タイムコードを外部に供給する

本機からカメラ映像、または再生映像にあわせてTC OUTをVTRなどの記録機器に供給する場合は、設定メニューのOUTPUT SEL画面のTC VIDEO SYNCRO項目をVIDEO OUTに設定してください。

また、設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のGL SELECT項目を供給する映像出力に合わせてSDI、またはCOMPOSITEに設定してください。



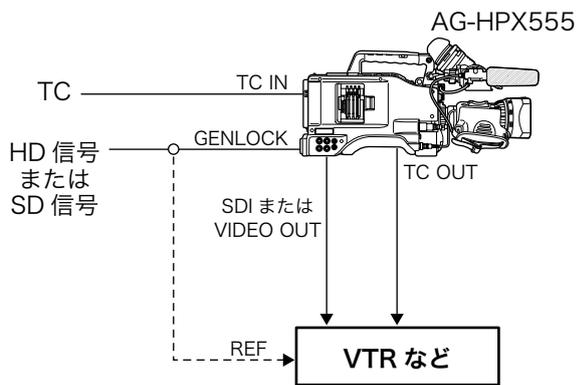
### 【NOTE】

TC VIDEO SYNCRO項目をVIDEO OUTに設定すると、TC INをVIDEO OUTの遅延にあわせてTC OUTから出力されます。

## GENLOCKとタイムコード入出力の接続と設定

本機の使用条件			本機の設定		GENLOCK入力と本機の出力位相 一致：○ 不一致：×			接続図
記録フォーマット	外部に供給する映像・基準信号	GENLOCK入力	GL SELECT	GL PHASE	SDI OUT	VIDEO OUT	TC OUT	
1080i	SDI OUT (1080i)	1080i	SDI	無効	○	×	○	(1)
	VIDEO OUT		COMPOSITE	OFF	×	○	○	—
	SDI OUT (1080i)	SD (480i、576i)	SDI	ON	×	△ 90H遅れ	△ 90H遅れ	(1)
	VIDEO OUT		COMPOSITE	無効	○	×	○	(2)
720P	SDI OUT (720P)	SD (480i、576i)	SDI	OFF	○	×	○	(1)
	VIDEO OUT		COMPOSITE	ON	△ 120H進み	×	△ 120H進み	(2)
	SDI OUT (480i、576i)	SD (480i、576i)	SDI	無効	○	×	○	(1)
VIDEO OUT	COMPOSITE		無効	×	○	○	(1)	
480i、576i	SDI OUT (480i、576i)	SD (480i、576i)	SDI	無効	○	×	○	(1)
	VIDEO OUT		COMPOSITE	無効	×	○	○	(1)

■接続図 (1)



## カウンターの設定と表示

COUNTER ボタンでカウンター表示にすると、ビューファインダー/LCD画面のタイムコード表示部にカウンター値を表示します。カウンター値は、時：分：秒で表示されます。

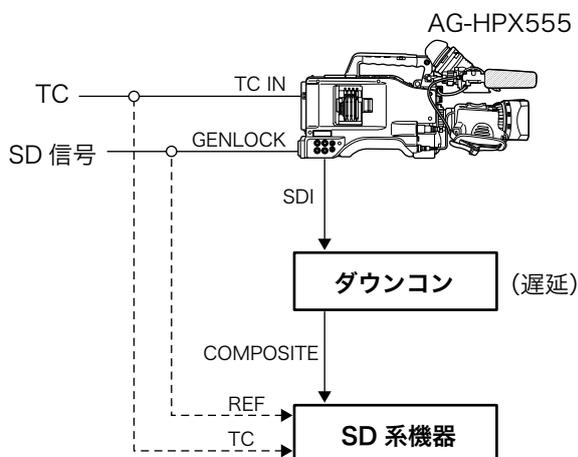
カウンター表示は、記録した合計の時間を表示する機能で、再生中は表示されません。

P2カードを入れ替えたときや電源OFF後もカウンター値は保持され、次に電源ON後、前の値に連続してカウントしていきます。

**【NOTE】**

- ・カウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、カウンター値がリセットされ、ふたたび0からカウントを開始します。
- ・カウンター値は、0:00:00～9:59:59の1秒単位です。

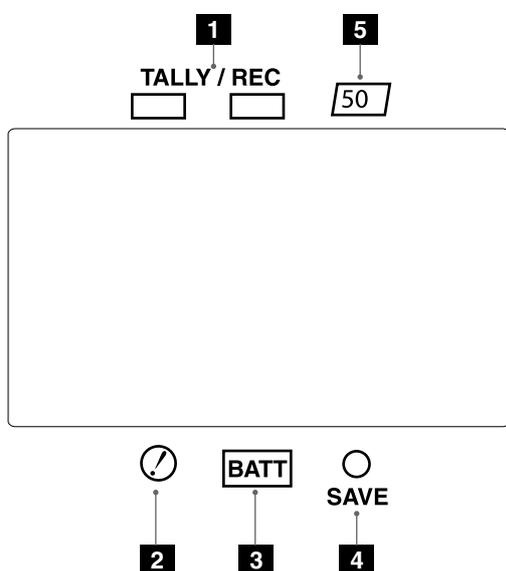
■接続図 (2)



# ビューファインダーの状態表示

ビューファインダーでは、映像のほかに本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカー、セーフティゾーンマーカーなどが表示されます。

## ビューファインダー画面のランプ表示



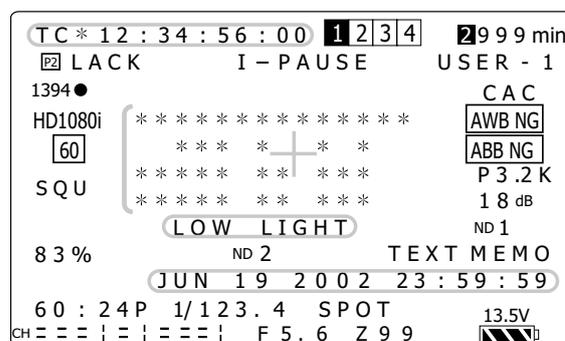
表示例は付属のビューファインダーおよび別売のAG-VF11G(付属のビューファインダーと同等)の表示です。これら以外のビューファインダーをお使いになるときは、そのビューファインダーに付属の取扱説明書を参照してください。

- 1 TALLY/REC (記録) ランプ**  
右側のLEDが記録時に赤く点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。  
→「警告システム」(144ページ) 参照
- 2 (変則動作状態警告) ランプ**  
設定メニューのVF! LED画面で設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。  
→ランプ表示の対象となる項目の選択については、「VF! LED画面」(129ページ) 参照
- 3 BATT (バッテリー) ランプ**  
バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅をはじめ、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。  
→「警告システム」(144ページ) 参照

- 4 SAVE ランプ**  
SAVEスイッチをONにし、LCDがOFFのときに点灯します。
- 5 50M表示ランプ**  
本機では未使用です。

## ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。

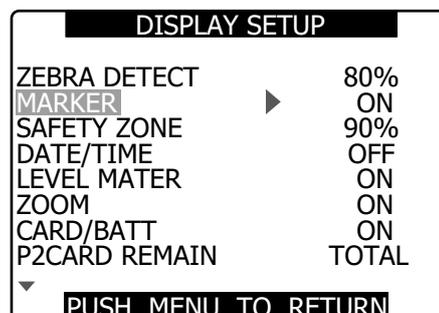


→次ページ以降参照

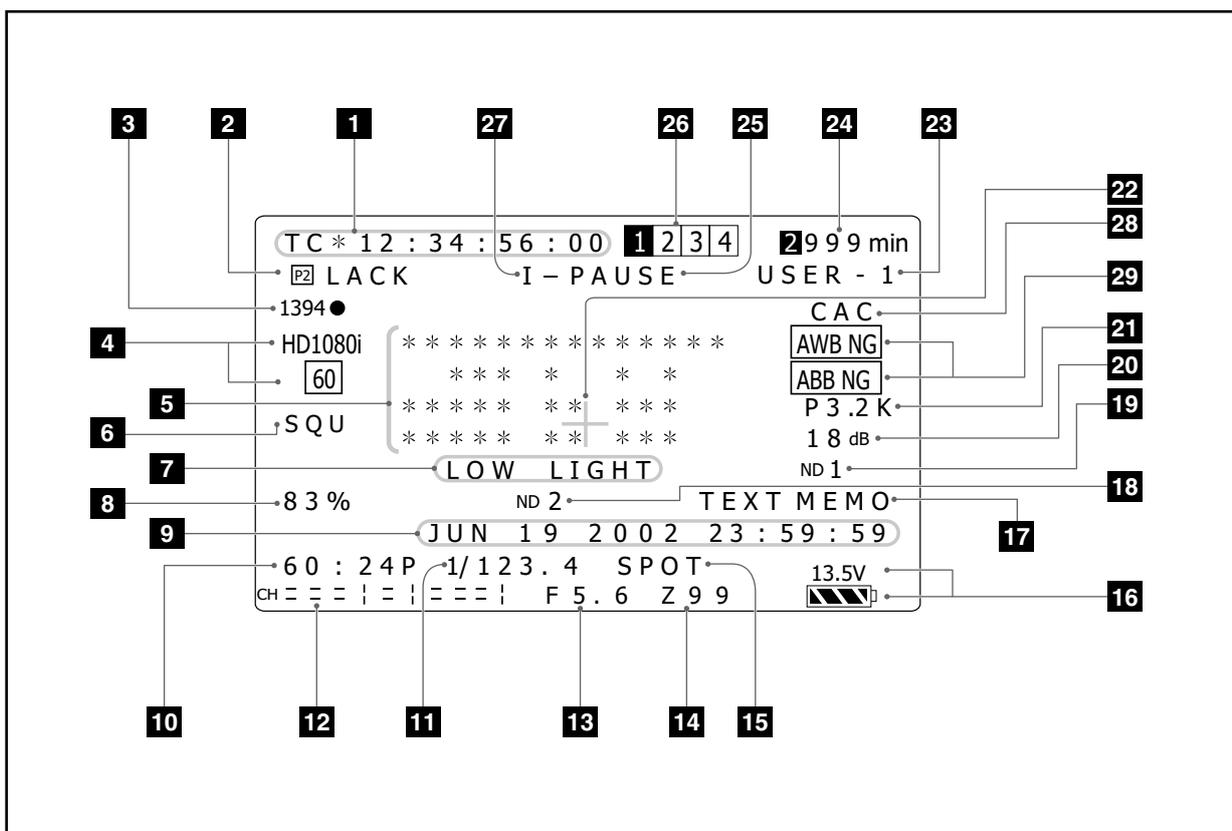
## ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示項目の選択は、設定メニューのDISPLAY SETUP画面の各項目で表示のON/OFF、または種類を切り替えます。

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照



## 画面の表示



### 1 タイムコード表示

COUNTER ボタンを押すことに、下記のデータ (または表示なし) に切り替わります。

・(表示なし)

・**カウンター**：カウンター値 (記録モードのみ)

・**TC**：タイムコード値

タイムコード値が1394端子から正しく読みとれなかったときには、TC\*を表示します。

ドロップフレームモード運用しているときは、秒とフレームの間の「:」(コロン)が「.」(ドット)になります。

・**tc**：タイムコード値 (フレーム桁を24フレーム/30フレーム変換して表示:59.94HzのFILM CAMのみ)

タイムコード値が1394端子から正しく読みとれなかったときには、tc\*を表示します。

ドロップフレームモード運用しているときは、秒とフレームの間の「:」(コロン)が「.」(ドット)になります。

・**UB**：ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が1394端子から正しく読みとれなかったときには、UB\*を表示します。

・**FR**：撮影するフレームレート情報

・FR60I:60iインターレースモード (60フィールド/秒)

・FR60P:60Pプログレッシブモード (60フレーム/秒)

・FR30P:30Pプログレッシブモード (30フレーム/秒)

・FR24P:24Pプログレッシブモード (24フレーム/秒)

・FR24PA:24Pアドバンスモード (24フレーム/秒)

・FR50I:50iインターレースモード (50フィールド/秒)

・FR50P:50Pプログレッシブモード (50フレーム/秒)

・FR25P:25Pプログレッシブモード (25フレーム/秒)

FR24PとFR24PAのモードのときは、最終けたにフレーム変換のシーケンス情報を表示します。

#### [NOTE]

TC、tc、UBは、TC IN入力にロックしている場合、白抜き文字 **[TC]** → **[TC]** になります。

また、HOLDボタンで表示を一時止めた場合は、HOLD表示が点滅表示します。

## 2 ワーニング情報表示

- ・  : P2カードが挿入されていないときや記録禁止状態のときに点滅します。
- ・  FULL : P2カードの残量がないときに点滅します。
- ・  LACK : ループレックモードでP2カードの残量が不足しているときに点滅します。
- ・  : 内蔵時計用の内蔵電池が消耗しているときに点灯します。

## 3 バックアップ用機器の状態表示

- ・ 1394端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。
- ・ 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面の1394 CONTROL項目をOFFに設定していると表示されません。
  - ・ 1394 ● : 記録
  - ・ 1394 ■■ : 記録待機
  - ・ 1394  : バックアップ機器が制御できない状態
  - ・ 1394  : バックアップ機器が未接続
  - ・ 1394  : バックアップ機器は接続されていますが、記録や記録待機状態になっていない

## 4 記録フォーマット、およびシステム周波数表示

- ・ **記録フォーマット**
  - ・ HD1080i:1080iのDVCPRO HDフォーマット記録
  - ・ HD720P:720PのDVCPRO HDフォーマット記録
  - ・ 50M:480i、576iのDVCPRO50フォーマット記録
  - ・ 25M:480i、576iのDVCPROフォーマット記録
  - ・ DV:480i、576iのDVフォーマット記録
- ・ **システム周波数**
  - ・ 60:59.94Hz
  - ・ 50:50Hz

## 5 情報表示

状況に応じて、下記の情報を表示します。

- ・ オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示
- ・ 警告表示、エラー表示
- ・ DISP/MODE CHKボタンを押している間、USERボタンに割り当てた機能、および! LEDの設定を表示

## 6 スクイーズ記録表示

記録フォーマットが480i、576iのとき、設定メニューのCAMERA SETUP画面のASPECT CONV項目でSQUEEZEを選択してスクイーズ記録を行っているときや、スクイーズ記録された映像を再生しているときに表示します。

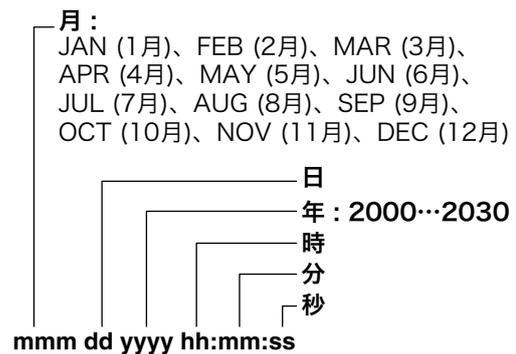
## 7 AWB情報表示

- ・ **LOWLIGHT** : オートホワイトバランス調整時、輝度が低すぎるときに表示します。
- ・ **C TEMP \*\*** : オートホワイトバランス調整時、WHITE BALスイッチ切り替え時、電源ON時、設定メニューのSCENE FILE画面のCOLOR TEMP項目を0以外に設定しているときに表示します。

## 8 マーカー輝度表示

マーカー表示のとき、画面中央付近の映像レベルを0%~99%で表示します。99%を超えるときは、99%↑を表示します。

## 9 日付と時刻表示



## 10 記録/再生フレームレート表示

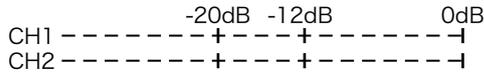
720/30PN、720/24PN、および720/25PNのとき以外は、記録フレームレートのみを表示します。  
例) 60:24P (60P撮影のVFR記録・24P再生)  
再生では、2:3プルダウンで24P over 60Pとなり、24/60倍速スロー再生であることを示します。

## 11 シャッタースピード表示

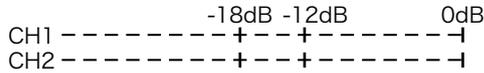
シャッタースピードを表示します。  
シンクロスキャンのときは、VIDEO CAMモードでは時間(分数)表示になり、FILM CAMモードでは開角度(degrees)表示になります。

## 12 オーディオレベルメーター表示

### HEAD ROOM -20dB のとき



### HEAD ROOM -18dB のとき



## 13 アイリス表示

F値を表示します。

・レンズコネクター未接続時は、NCと表示します。

## 14 ズームポジション表示

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

## 15 オートアイリス制御表示

・ **SPOT**: スポットライト用のオートアイリス制御  
 ・ **BACK**: 逆光補正用のオートアイリス制御  
 レンズのアイリスがマニュアルに設定されているときも表示されますが、動作は行われません。

## 16 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、 → → → と変わります。

容量がなくなると、 ( ) が点滅します。  
 (ACアダプター使用時に 以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

- ・ **13.5V**: バッテリー電圧表示  
アナログバッテリーのとき、現在の電圧値を表示します。
- ・ **\*\*%**: 10% ~ 99%  
デジタルバッテリーのとき、バッテリー残量表示 (%) を行います。このときは、メーターによる表示は行いません。
- ・ **MAX**: デジタルバッテリーが満充電状態のときに表示します。
- ・ **EMP**: デジタルバッテリーが10%未満のときに表示します。
- ・ バッテリー種類の表示  
DISP/MODE CHK ボタンを押し続けると、現在、バッテリー残量検出に設定している設定値が表示されます。ACアダプタの場合、AC ADPTと表示されます。

## 17 テキストメモ、およびショットマーク表示

- ・ 記録、または再生中に、あらかじめTEXT MEMO機能を割り当てたUSERボタンを押して、テキストメモを記録するときに点灯します。
- ・ 記録中にSHOT MARKを割り当てたUSERボタンを押して記録中のクリップにショットマークをつけたとき、MARK ONと表示されます。再び押すと、ショットマークは消去されMARK OFFと表示されます。
- ・ テキストメモが記録できなかったとき、またはショットマークの記録/削除ができなかったときはINVALIDと表示されます。

## 18 推奨NDフィルター表示

現在の撮影条件下で、推奨するNDフィルターを表示します。

## 19 NDフィルター表示

- ・ 選択しているNDフィルターを表示します。
- ・ NDーが表示されているときは、ND FILTERつまみがずれています (ND1 ~ ND4以外の位置) のので、ND FILTERつまみの位置を確認してください。

## 20 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。

## 21 WHITE BAL スイッチポジション表示

現在選ばれているポジションを表示します。また、AWBがプリセット時のホワイトバランスの動作を表示します。

## 22 センターマーカー表示

設定メニューのDISPLAY SETUP画面のMARKER項目をONに設定しているときに表示します。

## 23 シーンファイル名表示

SCENE FILE (F1 ~ F6) のシーンファイル名を表示します。

## 24 メディア残量表示

- ・ 設定メニューのDISPLAY SETUP画面のP2 CARD REMAIN項目をONE-CARDに設定すると、現在記録対象のP2カード1枚の残量の左側にスロット番号を表示します。TOTALに設定すると4枚の残量合計を表示します。
- ・ なお、モードチェックではONE-CARDとTOTALが入れ替わって表示されます。
- ・ 残量の計算中は無表示になります。ループレック中は、LOOPと表示されます。
- ・ ループレック中のモードチェックでは、最低記録保証時間を表示します。
- ・ 残量は、0 ~ 999分の1分単位表示です。
- ・ 残量が2分以下になると表示が点滅します。

## 25 動作状態表示

- ・ **REC**: 記録
- ・ **PAUSE**: 記録待機
- ・ **II**: 再生一時停止
- ・ **▶ (◀)**: 再生 (逆再生)
- ・ **▶▶ (◀◀)**: 早送り/早送り再生 (巻き戻し/早戻し再生)
- ・ **▶▶ (◀◀)**: スロー再生 (逆方向スロー再生)
- ・ **CHK**: レックチェック
- ・ **III▶ (III▶)**: コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)
- ・ **×▶ / ×▶▶ (×◀ / ×◀◀)**: 可変速サーチ (逆方向可変速サーチ)
- ・ **CLIP III▶ (CLIP III▶)**: クリップ送り (クリップ戻し)、クリップ単位での頭出し

カメラモード中にLCDをOFFにしている場合、表示されません。(ただし、プリレック、インターバル記録、ワンショット記録が設定されている場合は、表示されます)

## 26 メディア情報表示

P2カードが挿入されているカードスロット、および基本情報を表示します。

- ・ **1** 点灯: 記録可能なP2カード
- ・ **1** 緑色点灯: 記録対象のP2カード
- ・ **1** 点滅: カード認識中、または特殊記録時は、記録対象外のP2カード
- ・ **-**: カード未挿入
- ・ **P**: ライトプロテクトがかかっている
- ・ **F**: 残量なし
- ・ **X**: 認識不可
- ・ **E**: 不正なフォーマットのP2カード (フォーマットすれば、正常になります)

## 27 特殊記録

設定メニューRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目をINTERVAL、ONE SHOT、LOOPに設定しているとき、またはプリレックをONに設定しているときに表示します。

特殊記録を開始したあと、開きスロットにP2カードを入れても記録対象カードになりません。開始後にP2カードを入れないでください。

一度、特殊記録を止めてからP2カードを入れてください。

## 28 レンズ色収差補正 (CAC) 動作表示

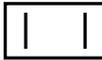
モードチェック中に、レンズ色収差補正 (CAC) 機能が正常に動作しているときに表示します。

## 29 AWB、ABB異常表示

AWB、およびABBが正しく動作しなかったとき、モードチェック中その状態を表示します。

### ■セーフティゾーン

DISPLAY SETUP画面のSAFETY ZONE項目の設定により、範囲を表示します。

・ **4:3**: 

4:3に切り出した位置を表示します。

・ **90%**: 

一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90%) を表示します。

## 警告表示

### ・ COPY INHIBITED

MCRモードで1394端子からDVフォーマットで入力しているとき、コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

### ・ EXTERNAL 1394DISCONNECT

設定メニューOTHER FUNCTIONS画面の1394 CONTROL項目をEXTに設定して、1394端子に外部機器を接続しないで撮影を行ったときに表示します。

### ・ INCOMPATIBLE CARD

規格が違うカードなので、使用することができません。

### ・ DIR ENTRY NG CARD

P2カードのディレクトリ配置が不正規となっているため、動作は継続しますが、正常に記録できないことがあります。また、特殊記録 (インターバル記録、ワンショット記録、ループレック) には使用できません。

速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。

### ・ RUN DOWN CARD

P2カードの規定の書き換え回数を超えているため、動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。

P2カードの交換をおすすめします。

### ・ FORMAT ERR !

P2規格に準拠していないカードです。

## サムネール画面

### ・ CANNOT ACCESS

クリップにアクセスできません。

### ・ CANNOT DELETE

クリップを削除できません。

- **CANNOT FORMAT**  
P2カード、およびSDメモリーカードをフォーマットできません。
- **CANNOT REPAIR**  
クリップを修復できません。
- **CARD FULL**  
P2カードの記録容量が足りません。
- **WRITE PROTECTED**  
P2カード、およびSDメモリーカードが記録禁止状態です。
- **NO CARD**  
P2カード、およびSDメモリーカードが入っていません。
- **NO FILE**  
ファイル（バージョンアップファイルなど）がありません。

## P2カード再生の情報表示

- **EOS**  
ストリームの終わりです。これ以上、正方向再生できません。
- **BOS**  
ストリームの最初です。これ以上、逆方向再生できません。
- **P2 SLOT**  
SLOT SEL を割り当てたユーザーボタンを押したとき表示されます。

## エラー表示

本機やP2カードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源OFFにしても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

- **CANNOT REC**  
記録時に異常が生じたときに表示します。
- **CANNOT PLAY**  
再生時に異常が生じたときに表示します。
  - CARD ERR (1) (2) (3) (4) (1/2/3/4) :  
数字の Slots の P2 カード異常
  - CLIP ERROR: クリップ異常
  - UPDATING: カード情報読み取り中
  - ERROR: その他
- **SYSTEM ERROR**  
システムに異常が発生したときに表示します。一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。
  - P2 MICON ERROR: P2 マイコン応答なし
  - P2 CONTROL ERROR: P2 制御異常
  - REC RAM OVERFLOW: 記録RAMのオーバーフロー

- **TURN POWER OFF**  
カードをアクセス中に抜いて異常が発生したときやシステム周波数を切り替えたあとなどに表示します。電源を入れ直してください。
- **REC WARNING**  
記録時に異常が生じたときに表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **CARD ERR (1) (2) (3) (4) (1/2/3/4) :**  
数字の Slots の P2 カード異常
  - 警告が続く場合は電源OFFにしてください。
  - 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。
- **ERROR: その他**
- **1394**  
1394 接続や信号に異常が発生したときに表示します。
  - 1394INITIAL ERROR: 接続異常
  - 1394INPUT ERROR: 入力異常
  - 1394INPUT ERROR (OTHER FORMAT) :  
(入力フォーマット違い)
- **LOW BATTERY**  
バッテリー残量がなくなったときに表示します。

## カメラ系状態表示

- ・ **AWB**  
AWB動作表示
- ・ **ABB**  
ABB動作表示
- ・ **AWB P3.2K/AWB P5.6K**  
WHITE BALスイッチをPRSTの位置にしたときPRSTに割り当てた色温度を表示します。また、PRST位置でAWBを実行しようとしたとき表示します。
- ・ **GAIN \*\* dB**  
GAINを切り替えたとき表示します。
- ・ **BACK LIGHT (OFF)**  
アイリス制御にBACK LIGHTを割り当てたユーザーボタンを押して、状態を切り替えたときに表示されます。
- ・ **SPOT LIGHT (OFF)**  
アイリス制御にSPOT LIGHTを割り当てたユーザーボタンを押して、状態を切り替えたときに表示されます。
- ・ **SHUTTER 1/\*\*\*\* (OFF)**  
シャッタースピードを切り替えたときに表示します。
- ・ **SCENE \*\*\*\* \*\***  
SCENE FILEダイヤルを回してシーンファイルを切り替えたときそのシーンファイル名を表示します。
- ・ **ND NG**  
NDフィルターが正しい位置にないときに表示します。
- ・ **AUTO KNEE (ON/OFF)**  
AUTO KNEE選択スイッチを切り替えたときに表示します。

## USER ボタンの割り当て情報 (MODE CHECK 時)

各USERボタンに割り当てた情報が表示されます。  
→「USERボタンへの機能割り当て」(57ページ)  
参照

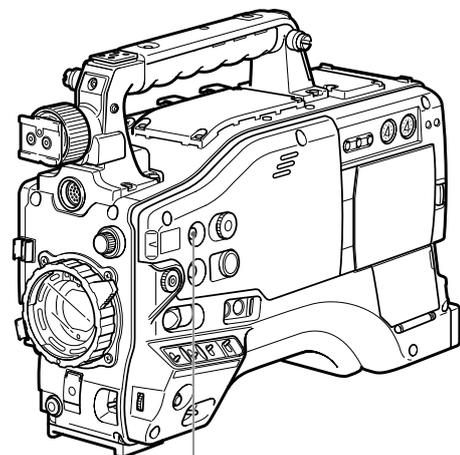
## ! LED点灯表示 (MODE CHECK 時)

設定メニューのVF! LED画面の各設定項目に従って、! LEDが点灯しているとき、その要因を表示します。

- ・ **GAIN**  
ゲインが0dB以外で動作中に表示します。
- ・ **AWB**  
WHITE BALスイッチの位置がPRSTになっているときに表示します。
- ・ **SHUT**  
電子シャッターが動作しているときに表示します。
- ・ **FILT**  
メニュー設定したフィルター内容と一致すると表示します。
- ・ **EXT**  
レンズのエクステンダーが入っているときに表示します。

## 撮影状態の確認と表示

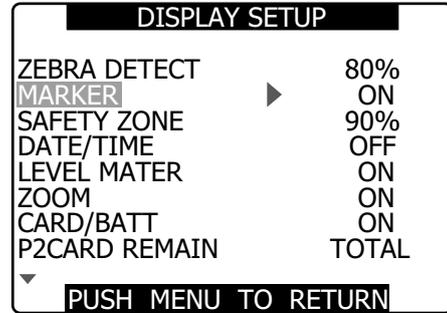
- ・ 記録待機、または記録中にDISP/MODE CHKボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USERボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンから手を離すと通常の表示に戻ります。
- ・ 記録待機、または記録中にDISP/MODE CHKボタンを押すと、すべての表示がOFFになります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。
- ・ 電源OFFにする、またはメディアや動作モードを切り替えても維持されます。
- ・ ビューファインダー/LCD画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHKボタンを押したときや、設定メニューDISPLAY SETUP画面のOTHER DISPLAY項目の設定により表示します。



DISP/MODE CHK ボタン

## マーカー表示の設定

マーカーの表示のON/OFFを選択します。  
 選択は、設定メニューのDISPLAY SETUP画面から表示モードを設定します。  
 →メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照



または、マーカー機能を割り当てたユーザーボタンを押すことにより、マーカー表示のON/OFFを切り替えることができます。

表示項目	MODE CHECK	DISPLAY	OTHER DISPLAY 項目の設定		
			ALL	PARTIAL	OFF
1 タイムコード表示	○	—	—	—	—
3 バックアップ用機器の状態	—	x	○	○	○
4 記録フォーマット、およびシステム周波数	○	○	○	x	x
5 情報表示	○	—	—	—	—
6 スクイーズ記録表示	○	○	○	○	x
8 マーカー輝度表示	○	○	—	—	—
9 日付と時刻表示	○	○	—	—	—
10 記録/再生フレームレート表示	○	○	○*1	x	x
11 シャッタースピード表示	○	○	○	○	x
12 オーディオレベルメーター表示	○	○	—	—	—
13 アイリス表示	○	○	○	○	x
14 ズームポジション表示	○	○	—	—	—
15 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	x
16 バッテリー残量表示	○	○*4	—	—	—
18 推奨NDフィルター表示	○	○	○	○	x
19 NDフィルター表示	○	○	○	x	x
20 ゲイン表示	○	○	○	○*2	x
21 WHITE BAL スイッチポジション表示	○	○	○	○*3	x
22 センターマーカー表示	○	x	—	—	—
23 シーンファイル名	○	○	○	x	x
24 メディア残量表示	○	○*4	—	—	—
25 動作状態表示	○	○	—	—	—
26 メディア情報表示	○	○	—	—	—
27 特殊記録表示	○	○	—	—	—
28 レンズ収差補正動作表示	○	—	x	x	x
29 AWB、ABB 異常表示	○	x	x	x	x
セーフティゾーン表示	—	x	—	—	—

○：表示する  
 x：表示しない  
 —：ほかの設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示される項目を示しています。  
 DISPLAY 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。

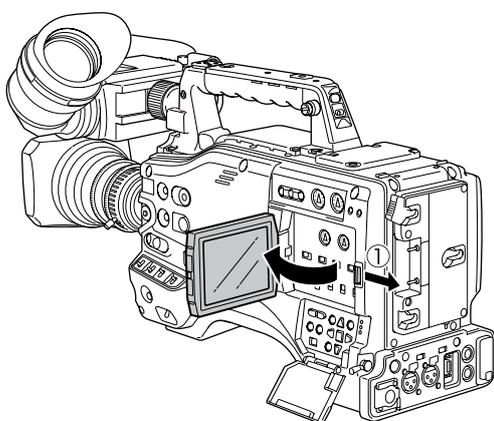
\*1 FRAME RATE が 60i、または 50i のときは表示されません。  
 \*2 OdB は表示されません。  
 \*3 プリセット 3.2K と 5.6K のみ表示します。  
 \*4 残量が少なくなると点滅表示します。

# 液晶モニターの調整と設定

## 液晶モニターを使う

1 POWERスイッチをONにする

2 OPENボタンを矢印①の方向に押して液晶モニターを開ける



**【NOTE】**

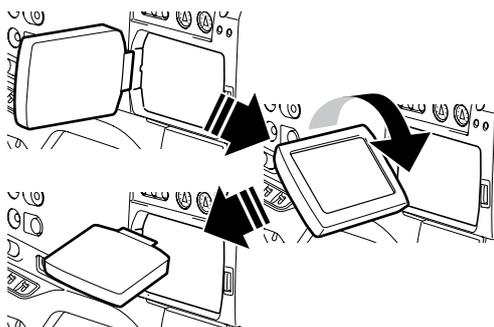
開く角度は120°までです。それ以上無理に開けると本機の故障につながります。

3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にする

・レンズ方向に180°、手前方向に90°まで回転します。

**【NOTE】**

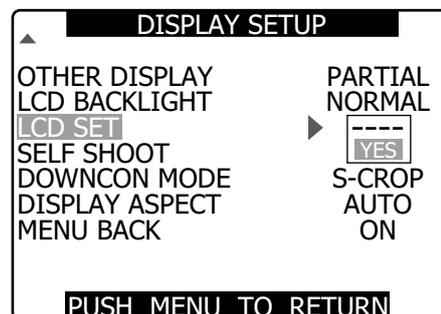
開けた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。



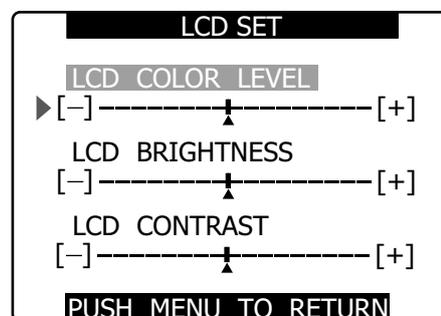
4 設定メニューのDISPLAY SETUP画面のLCD SET項目で画面の明るさ・色濃度・コントラストを調整する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

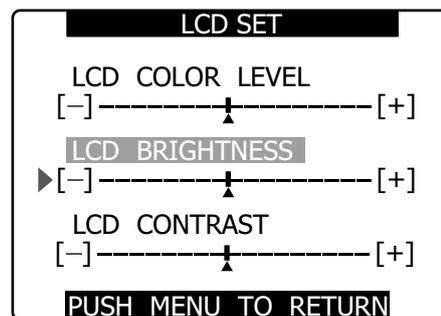
・LCD SET項目でYESを選びます。



5 設定する項目をジョグダイヤルボタンで選択する



6 ジョグダイヤルボタンを押して項目を確定し、ジョグダイヤルボタンを回して調整する



**【NOTE】**

- ・設定メニューのLCD SETの各項目を設定して、設定値が変更可能な状態のときRESETボタンを押すと、その項目の設定値を工場出荷値にすることができます。
- ・液晶モニターを閉めるときは、確実に閉めてください。
- ・温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。その場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ・カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源ONの直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- ・SAVEスイッチがONの場合、液晶モニターを強制的にOFFにします。

**対面対面撮影について**

液晶モニターをレンズ側に180°回転させて撮影を行うとき、設定メニューのDISPLAY SETUP画面のSELF SHOOT項目でMIRRORに設定すると、液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。鏡を見ているイメージでの撮影が可能になります。

ただし、左右反転されるのは液晶モニターの表示のみです。記録は通常どおり行われます。

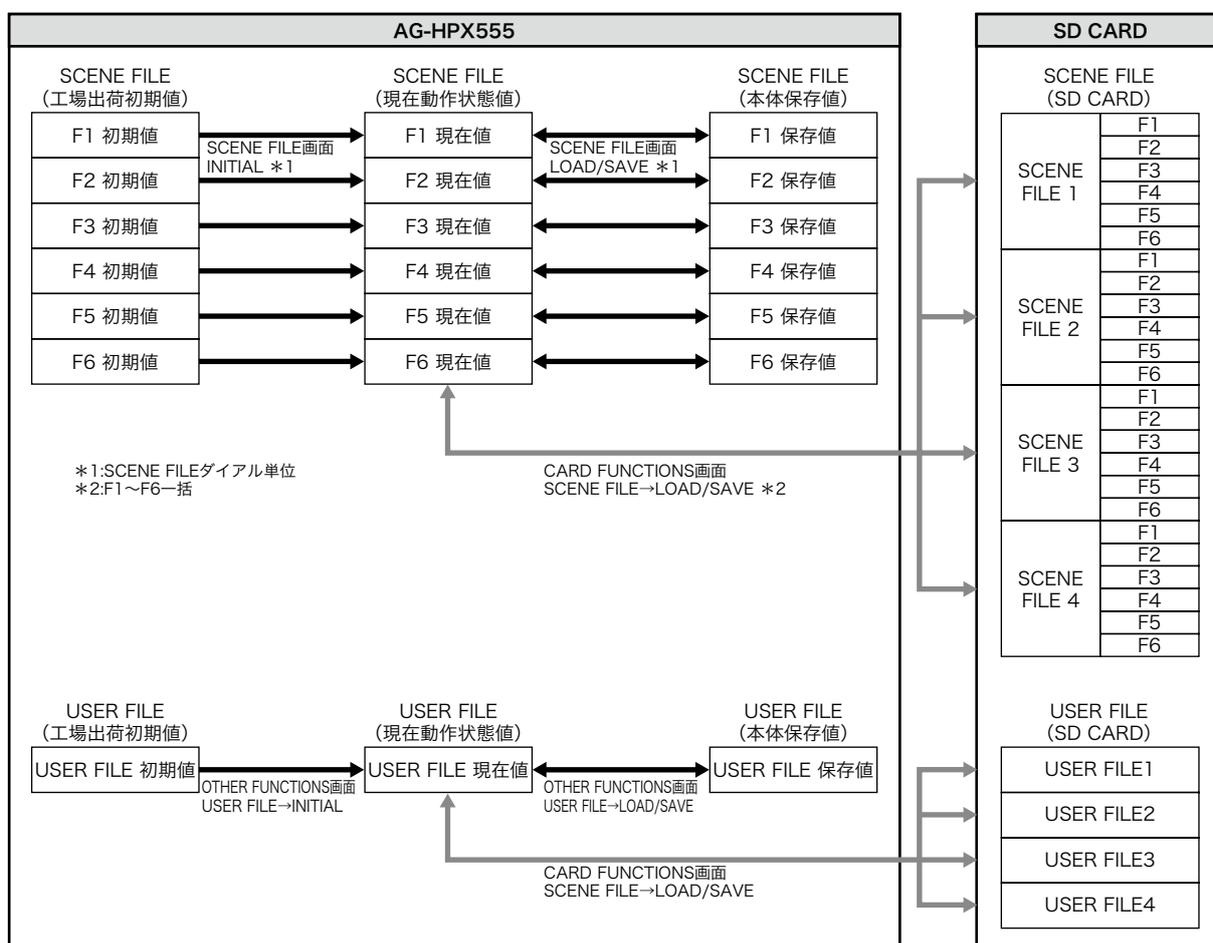
# 設定データの取り扱い

## 設定データのファイル構成

本機は、SCENE FILE ダイアルに合わせてF1～F6のSCENE FILEを本機内に保存できます。SDメモリーカードを使用すると、F1～F6のデータを一括して最大4つまでカード内のファイルに保存し、読み出して使用することができます。

また、設定メニュー値をユーザーファイルとして本機内に1つ、SDメモリーカードに最大4つまで保存することができます。

本機の設定データファイルの構成は、下記のようになっています。



## SDメモリーカードによるセットアップ

SD、またはSDHCメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を4ファイルまで記憶させることができます。

このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

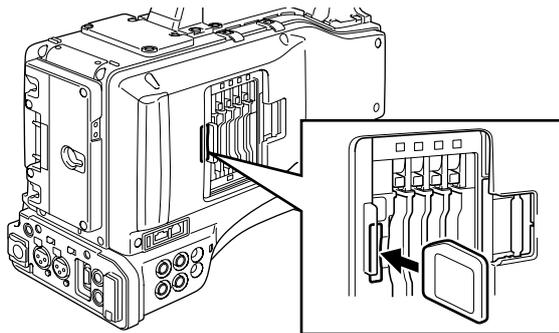
→「メモリーカードのご使用について」（86ページ）参照

## SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードは、電源ONの前でもONのあとでも出し入れすることができます。

### SDメモリーカードを入れるには

スライドとびらを開け、SDメモリーカード（別売品）の切り欠き部を上にして、SDメモリーカード挿入口に差し込み、スライドとびらを閉めます。



#### 【NOTE】

SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れるときに抵抗があって入りにくいときは、SDメモリーカードが裏向き、または上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

## SDメモリーカードを取り出すには

スライドとびらを開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからSDメモリーカードをさらに本体側へ押し込みます。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、SDメモリーカードを引き抜いて、スライドとびらを閉めます。

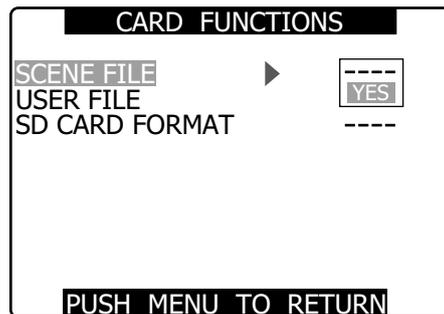
使用時、保管時は下記の項目にご注意ください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

SDメモリーカードは、本機に挿入してとびらを閉めた状態で保存してください。

## SDメモリーカードの操作

SDメモリーカードのフォーマットや、設定データのSDメモリーカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、設定メニューのCARD FUNCTIONS画面で行います。



また、本機以外の機器でSD/SDHC規格以外のフォーマットを行ったSDメモリーカードを挿入すると、画面右上にFORMAT ERRORと表示されます。この場合は、フォーマットしてください。

→「SDメモリーカードをフォーマットするには」（82ページ）参照

## SDメモリーカードをフォーマットするには

### [NOTE]

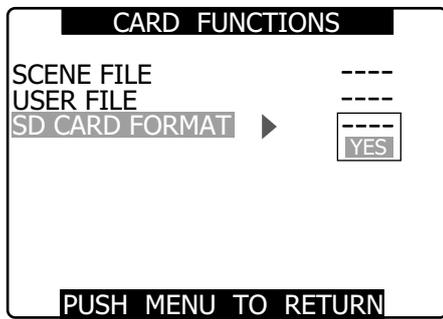
SDメモリーカードは、サムネール画面からもフォーマットができます。

→「SDメモリーカードのフォーマット」(115ページ) 参照

- 1 設定メニューのCARD FUNCTIOS画面のSD CARD FORMAT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

- 2 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- 3 確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

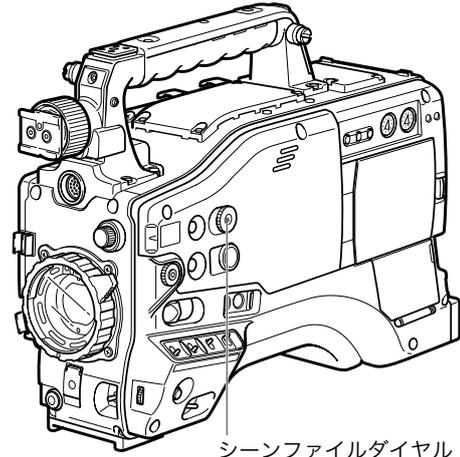
・SD CARD FORMAT OKと表示され、SDメモリーカードがフォーマットされます。

ジョグダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
SD CARD FORMAT NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
SD CARD FORMAT NG ERROR (フォーマットができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
SD CARD FORMAT NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
SD CARD FORMAT NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	SDメモリーカードにアクセスできません。現在のアクセスが終了してから、再度フォーマットを行ってください。

## シーンファイルデータの使い方

- ・各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。
- ・撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。
- ・シーンファイルの設定値は、各メニュー項目で変更することもできます。また、変更したシーンファイルを、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存することもできます。



シーンファイルダイヤル

- ・記録中にシーンファイルを変更しても、OPERATION TYPEとFRAME RATEは変更されません。OPERATION TYPEとFRAME RATEを変更する場合は、記録待機状態にしてください。

### ■工場出荷時の設定

- ・ **F1 (SCENE)**  
標準の撮影に適したファイル。
- ・ **F2 (SCENE FLUO.)**  
蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。
- ・ **F3 (SCENE SPARK)**  
解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけたSD撮影に適したファイル。
- ・ **F4 (SCENE B-STR)**  
暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。
- ・ **F5 (SCENE CINE V)**  
コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目で設定してください）

## ・F6 (SCENE CINE D)

ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。(シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP画面のREC FORMAT項目で設定してください)

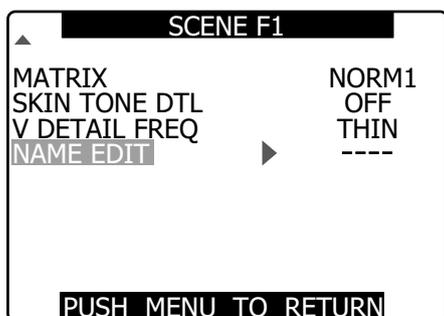
## シーンファイルの設定変更

### ■例1: シーンファイルのファイル名を変更する

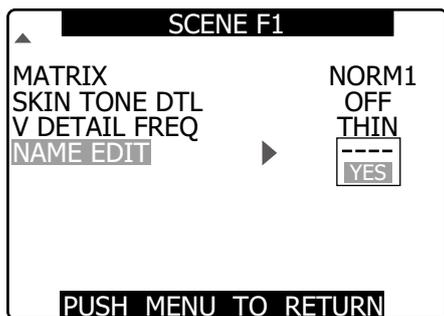
1 シーンファイルダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選ぶ

2 設定メニューのSECENE FILE画面のNAME EDIT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

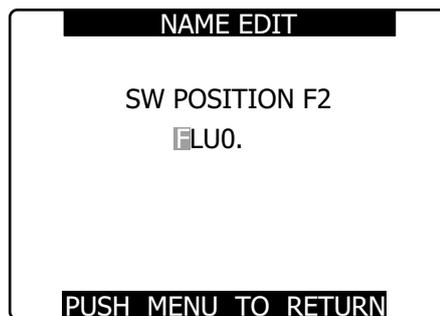


3 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



4 下記の画面が表示されたら、ジョグダイヤルボタンで6文字のファイル名を設定する

- ・ジョグダイヤルボタンを回すと、文字表示がスペース ( ) →アルファベット (A~Z) →数字 (0~9) →記号 (:;<=>?@ (¥) ^\_-./) の順に切り替わります。
- ・ファイル名を設定しているときに、RESETボタンを押すと、文字がクリアされます。

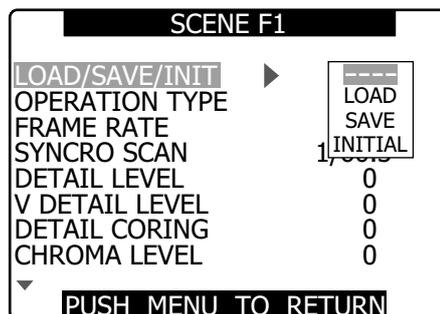


- ・MENUボタンを押すと、NAME EDITが終了します。変更した値が確定すると、電源OFFにしたりダイヤルを変更しても保持されます。また、シーンファイルの各項目の設定も同様に保持されます。

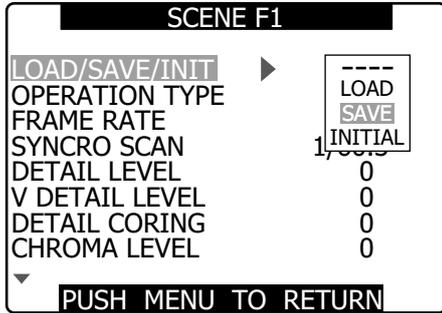
### ■例2: F1のシーンデータを本機に保存する

1 設定メニューのSECENE FILE画面のLOAD/SAVE/INT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

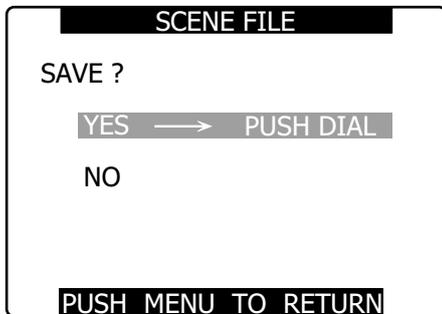
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照



**2** SAVEを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



**3** YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す  
 ・一階層上の設定メニューに戻るにはMENUボタンを押します。



- ・ PROCESSINGと表示され、設定の変更が終了すると、下記のようなメッセージが表示されます。



- ・ シーンファイルの設定変更後、前回保存した設定値に戻す場合は、2の操作でLOADを選択して3の操作を同様に行います。
- ・ シーンファイルの設定値を工場出荷時の設定に戻す場合は、2の操作でINITIALを選び、3の操作を同様に行います。
- ・ ユーザーファイルの設定の保存、読み出し、工場出荷時の設定に戻す場合は、設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のUSER FILE項目で、シーンファイル時と同様に操作を行います。

## SDメモリーカードにシーンファイルなどを保存する

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、SDメモリーカードに保存、読み出しすることができます。

- ・ シーンファイルの場合、現在の設定値は自動的に本機に保存され、その保存したデータをSDメモリーカードに書き込みます。SDメモリーカードから読み出したときは、本機内の保存データと同時に、現在の設定値も書き替わります。
- ・ F1～F6すべてのシーンファイルが書き替わります。

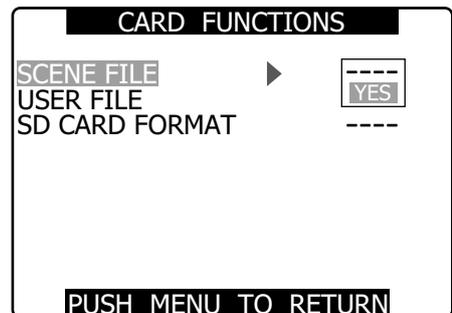
下記の説明は、シーンファイルの保存を基本に説明しています。

**1** POWER スイッチをONにする

**2** 設定メニューのCARD FUNCTIONS画面のSCENE FILE項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

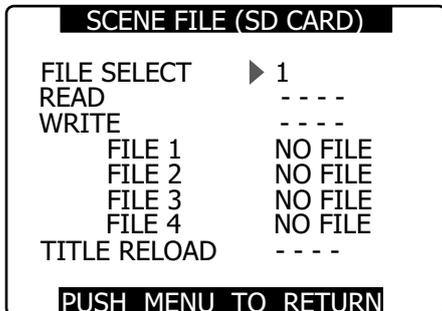
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

**3** YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す  
 ・ その他の設定値の場合は、USER FILEを選択します。

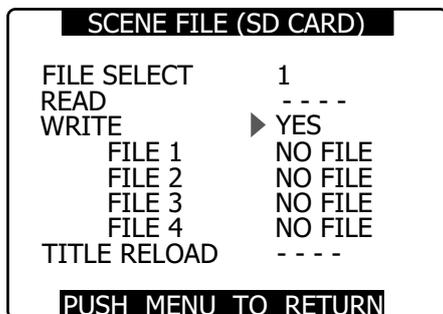


#### 4 ジョグダイヤルボタンを押し、ジョグダイヤルボタンを回してファイル番号 (1~4) を選ぶ

- ・確定するには再度、ジョグダイヤルボタンを押します。

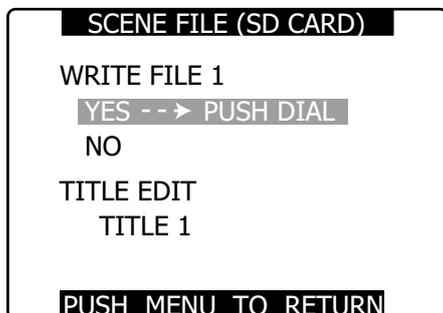


#### 5 WRITE を選び、ジョグダイヤルボタンを押す



#### 6 カーソルボタン◀◀を押し、ジョグダイヤルボタンを回して、YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

- ・下図の場合は、TITLE1 がファイル名になります。
- ・書き込みが完了すると、WRITE OKが表示されます。



#### ファイルを読み出すには

手順1~4を行い、手順5でREADを選び、ジョグダイヤルボタンを押します。読み込みが完了すると、READ OKが表示されます。

ユーザーファイルもCARD FUNCTION画面のUSER FILE項目で、シーンファイル時と同様の操作で行います。

#### SDメモリーカードからファイルを再読み込みするには

手順1~3を行い、手順5でTITLE RELOADを選んだあと、YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押すと、ファイルの再読み込みが行われます。

#### ファイルにタイトルを付けるには

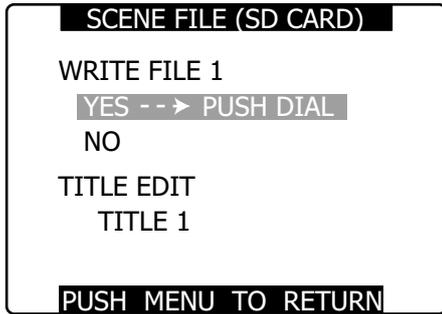
##### 1 手順1~5を行う

##### 2 ジョグダイヤルボタンを回して、文字を選び、ジョグダイヤルボタンを押して次の文字に移動する。

- ・入力できる文字は下記の通りです。  
スペース (□)、アルファベット (A~Z)、  
数字 (0~9)、記号 (:;<=>?@{¥)^\_./)
- ・RESET ボタンで全文字を消去できます。

##### 3 すべての入力が終わったら、文字の左端でカーソルボタン◀◀ (または右端でカーソルボタン▶▶かジョグダイヤルボタン) を押す

#### 4 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- ・書き込みが完了すると、WRITE OKが表示されます。

#### 【NOTE】

- ・WRITE NG FORMAT ERRORが表示された場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。
- ・WRITE NG WRITE PROTECTが表示された場合は、SDメモリーカードのプロテクトを解除してください。
- ・WRITE NG CANNOT ACCESSが表示された場合は、その他の動作（再生中など）を終了してから操作してください。
- ・WRITE NG ERRORが表示された場合は、SDメモリーカードの不良が考えられますので、交換してください。

## メモリーカードのご使用について

本機には、SD規格/SDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。

また、mini SDカードを本機で使用する場合は必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。（アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには必ず、メモリーカードを入れてご使用ください）

#### ■使用可能なカード

- ・SDメモリーカード（mini SDカードを含む）
- ・SDHCメモリーカード



当社製のSD/SDHCメモリーカードおよびmini SDカードをご使用いただくことをおすすめします。

本機や、本機で使用可能なメモリーカードについての最新情報は、下記のウェブサイトのP2のサポートサイトをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

#### 【NOTE】

SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。

#### ■使用できないカード

上記以外のすべてのメモリーカード

- ・MMC（マルチメディアカード）



# 第5章 準備

## 電源の供給

本機の電源には、バッテリーパック、または外部DC電源が使用できます。

### バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、

- ・アントンパワー製
- ・IDX製
- ・PACO製
- ・ソニー製

のバッテリーが使用できます。

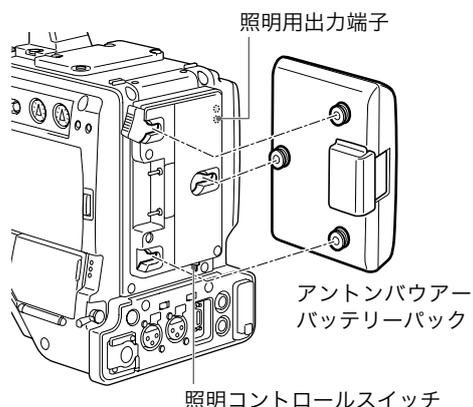
#### 【NOTE】

- ・ほかのバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応できますが、本機とのシステム保証はしていません。
- ・バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください)

## バッテリーの取り付け、および設定

### アントンパワー製バッテリーパックをご使用の場合

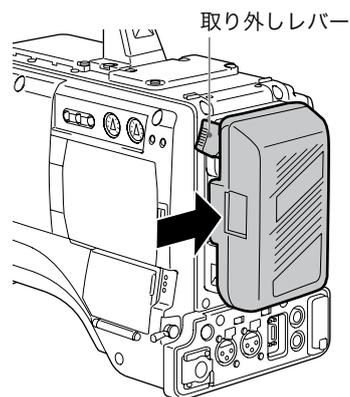
#### 1 アントンパワーバッテリーパックを取り付ける



#### 【NOTE】

アントンパワーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパワー社にお問い合わせください。

#### 2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせる



#### 【NOTE】

■バッテリーパックを取り外すにはバッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

#### 3 バッテリーの種類を設定する

- ・設定メニューのBATTERY SETUP画面のBATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を設定します。

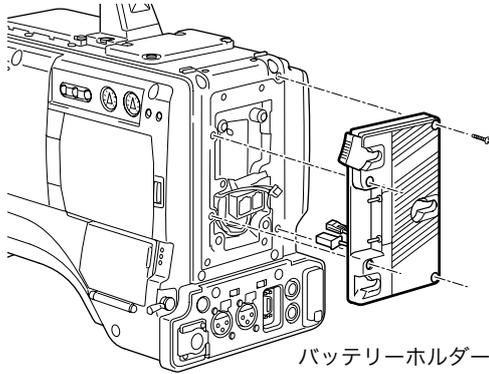
#### ■使用できるアントンパワー製バッテリー

- ・PROPAC14
- ・TRIMPAC14
- ・HYTRON50
- ・HYTRON140
- ・DIONIC90
- ・DIONIC160

## NP-1 タイプバッテリーパックをご使用の場合

バッテリーホルダーを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 1 バッテリーホルダーを取り外す

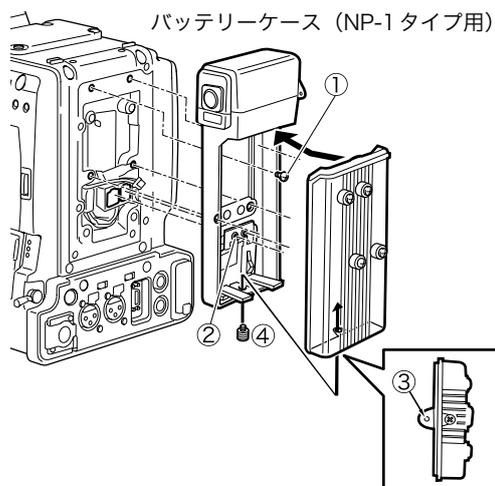


### 2 本機にNP-1 タイプバッテリーケースを取り付ける

- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

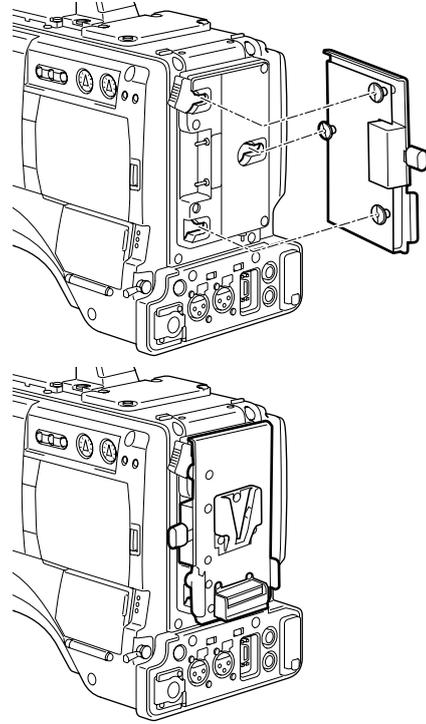
**【NOTE】**

バッテリーホルダーを取り付けるときは、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



## Vマウント式バッテリーパックをご使用の場合

V-マウントアダプタープレートを取り付けます。下図のように差し込んでからスライドさせてください。



バッテリーの種類を設定します。

- ・設定メニューのBATTERY SETUP画面のBATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を設定します。
  - ・BATTERY SELECT項目にないバッテリーをご使用の場合、ニッケルカドミウムバッテリーはNiCd14 (14V) に設定して、特性に合わせて各項目を設定してください。ニッケルカドミウムバッテリー以外のバッテリーはTYPE A、またはTYPE Bを設定して、特性に合わせて各項目を設定してください。
- 「BATTERY SETUP」 (130ページ) 参照

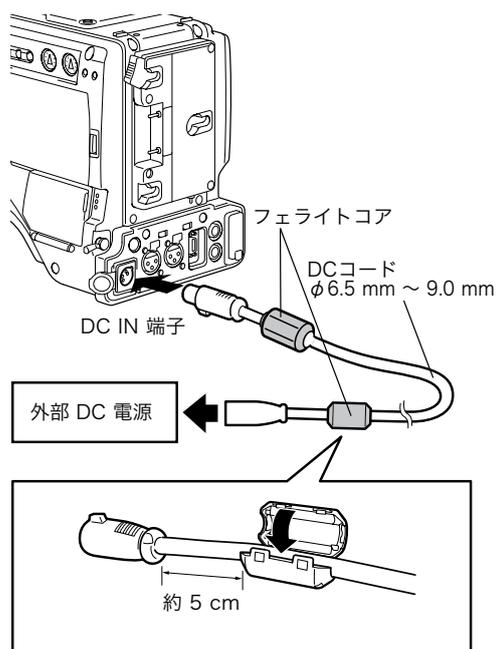
**【NOTE】**

Vマウントアダプタープレートに関しては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 外部DC電源の使用

### 1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続する

- DCコードの両端、コネクター部分から約5cmの位置に、付属のフェライトコアを図のように取り付けます。「パチッ」と音がしてロックするまでフェライトコアを閉めてください。



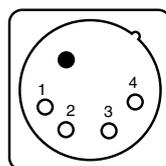
#### 【NOTE】

フェライトコアは、落下などの衝撃によって割れやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。

### 2 外部DC電源の電源スイッチをONにする (外部DC電源に電源スイッチがある場合)

### 3 POWERスイッチをONにする

- 本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源投入と連動して電源投入される接続機器（ビューファインダー等）の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる外部DC電源のご使用をおすすめします。また、DCコードは、ご使用になる外部DC電源推奨のものをお選びください。
- 外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因となります。



ピン No.	信号
1	GND
2、3	—
4	+12V

#### 【NOTE】

- バッテリーパックと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにしたあと、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- DC IN端子にバッテリーを接続する場合は、設定メニューのBATTERY SETUP画面のEXT DC IN SEL項目でBATTERYに設定し、BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を設定してください。ただしこの場合、残量表示機能のあるバッテリーでも%表示はできません。
- 外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

# ビューファインダーの取り付け、および位置調整

ここでは、付属のビューファインダーおよび別売のAG-VF11G（付属のビューファインダーと同等）の取り付けおよび位置調整について説明します。

これら以外のビューファインダーをお使いになるときは、そのビューファインダーに付属の取扱説明書を参照してください。

・旧タイプのアタッチメントを使用しての取り付けには対応していません。

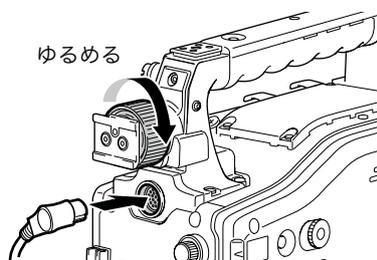
## ビューファインダーの取り付け

**1** カメラのPOWERスイッチがOFFであることを確認する

**2** ビューファインダー接続端子にプラグを接続する

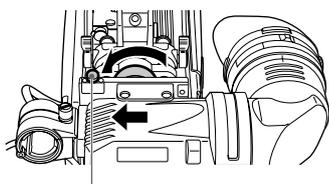
**[NOTE]**

ビューファインダー接続端子にプラグを接続するときは確実に押し込んでください。



**3** ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる

**4** ビューファインダーstopperネジを左に回し（脱落防止解除）、ビューファインダーを矢印の方向へスライドさせて取り付ける



ビューファインダーstopperネジ

**5** ビューファインダーstopperネジを右に回す（脱落防止）

**6** ビューファインダー左右位置固定リングを締める

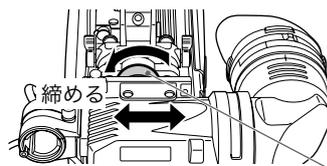
**[NOTE]**

ビューファインダーの左右調整部に取り付けているビューファインダーstopperネジは確実に締めてください。ビューファインダーstopperネジがゆるむと、ビューファインダーが脱落するおそれがあります。

## ビューファインダーの左右位置調整

**1** ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる

**2** ビューファインダーを左右にスライドさせ、見やすい位置に調整する

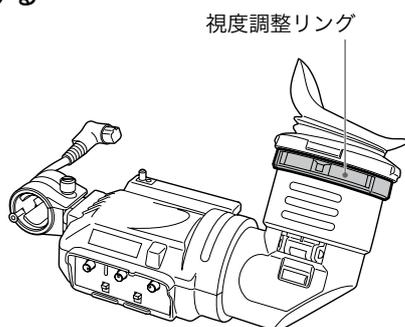


ビューファインダー左右位置固定リング

**3** ビューファインダー左右位置固定リングを締める

## 視度調整

- 1 カメラのPOWERスイッチをONにする  
・ビューファインダーに画像が見えます。
- 2 視度調整リングを回して、ビューファインダーの画像がはっきり見えるように調整する

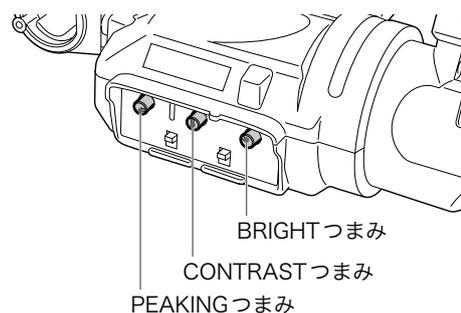


## 画面調整

ビューファインダー画面の状態を調整します。

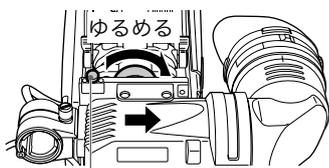
- ・明るさ：BRIGHTつまみで調整します。
- ・濃淡：CONTRASTつまみで調整します。
- ・輪郭：PEAKINGつまみで調整します。

- 1 カメラのPOWERスイッチをONにする
- 2 カメラのOUTPUTスイッチをBARSにする
- 3 ビューファインダーのBRIGHTとCONTRASTつまみを回して、画像の明るさとコントラストを調整する  
・PEAKINGつまみを回すと、画像をよりシャープに調整できます。  
・シャープにすると、レンズでのピント合わせがやりやすくなります。



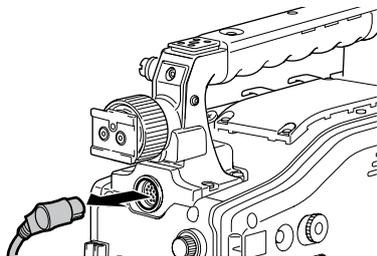
## ビューファインダーの取り外し

- 1 カメラのPOWERスイッチがOFFであることを確認する
- 2 ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる
- 3 ビューファインダーstopperネジを左へ回し、ビューファインダーを矢印の方向へスライドして取り外す



ビューファインダーstopperネジ

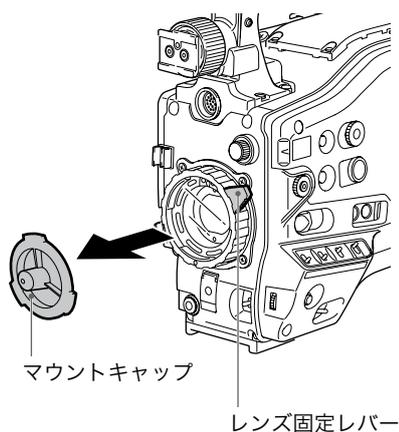
- 4 ビューファインダーケーブルとマイクケーブルをクランプから外し、それぞれのケーブルを抜く



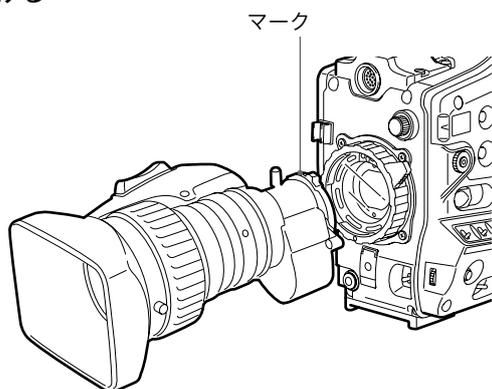
# レンズの取り付けと調整

## レンズの取り付け

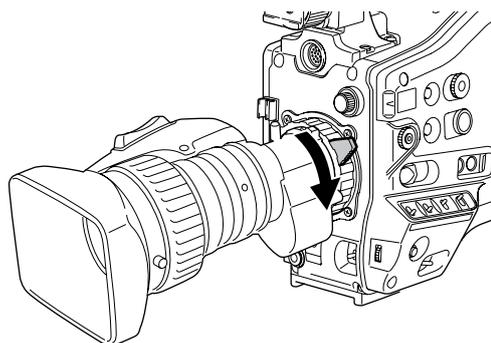
- 1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外す



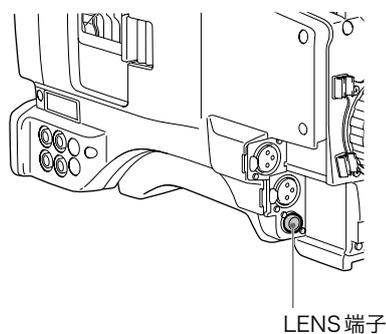
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付ける



- 3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定する



- 4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS 端子に接続する



- 5 レンズのフランジバックの調整を行う

### [NOTE]

- ・レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書を参照してください。
- ・レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

## フランジバック調整

ズーム操作のときに望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。

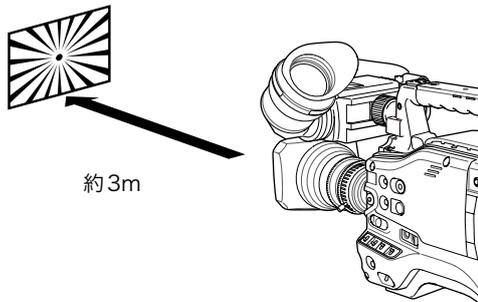
一度調整すると、レンズの交換をしない限り、再調整の必要はありません。

### 【NOTE】

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付ける  
・レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。

- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にする



- 3 フランジバック調整用チャートから約3m離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定する  
・映像レベルが高すぎる場合は、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめる  
【NOTE】  
レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示されている場合もあります。

- 5 手動、または電動でズームリングを望遠の位置にする

- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせる

- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせる  
・このとき、距離リングは動かさないでください。

- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返す

- 9 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジを、確実に閉める

## ホワイトシェーディング補正機能

本機は1つの固定のデータ（DEFAULT）と3つの任意に調整可能なデータ（USER1、USER2、USER3）をホワイトシェーディング補正に利用することができます。これらのデータは設定メニューのLENS SETUP画面のSHADING SELECT項目から設定します。OFFに設定すると、シェーディング補正を行いません。

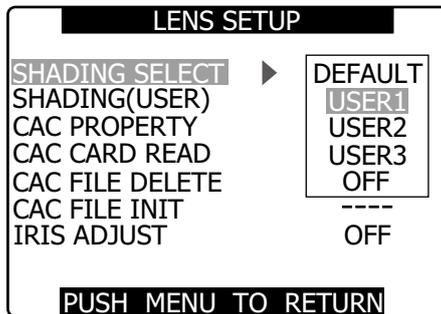
### ホワイトシェーディングデータを選択する

- 1 設定メニューのLENS SETUP画面のSHADING SELECT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（120ページ）参照

LENS SETUP	
SHADING SELECT	▶ DEFAULT
SHADING(USER)	----
CAC PROPERTY	----
CAC CARD READ	----
CAC FILE DELETE	----
CAC FILE INIT	----
IRIS ADJUST	OFF
PUSH MENU TO RETURN	

## 2 ジョグダイヤルボタンで、DEFAULT、USER1、USER2、USER3、OFFのいずれかを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

- ・ホワイトシェーディング調整を行うときは、USER1、USER2、USER3のいずれかを選択してください。
- ・工場出荷値ではUSER1、USER2、USER3には補正データは記憶されていません。
- ・DEFAULTにはKJ16e x 7.7B IRSD PS12、およびKJ16e x 7.7B KRSD PS12に合う補正データが記憶されています。上記以外のレンズを用いる場合は、「ホワイトシェーディング調整を行う」を参照してください。



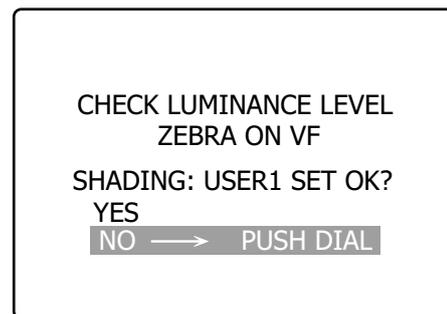
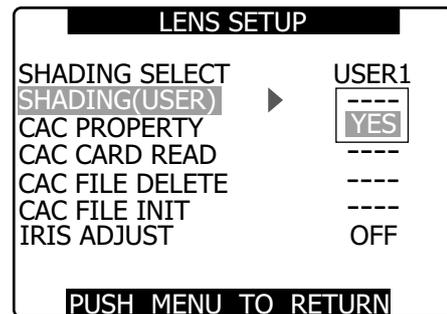
## ホワイトシェーディング調整を行う

### 【NOTE】

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放 (OPEN) 付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象は光学系の特性で、故障ではありません。

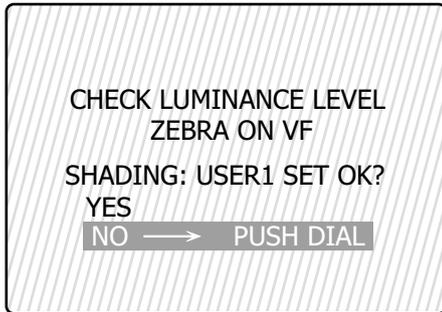
### 1 調整のためにカメラを設定する

- ①カメラのレンズを取り付けます。
  - ・レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- ②シャッタースイッチをOFFにし、ゲインをL (0dB) にします。
- ③レンズにエクステンダ機能がついている場合は、エクステンダ機能を外します。
- ④設定メニューのLENS SETUP画面のSHADING SELECT項目でUSER1、USER2、USER3のいずれかが設定されていることを確認します。
- ⑤SHADING (USER) 項目で、YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押します。
  - ・CHECK LUMINANCE LEVEL ZEBRA ON VFというメッセージが表示されます。



## 2 画面の設定を行う

- ①色ムラの無い白い紙を画面全体に撮影します。
- ②レンズ絞りをマニュアルにして、ビューファインダー画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。
  - ・照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなるので、照明の位置を調整してください。
  - ・白い紙に色温度の異なる複数の光源（例：蛍光灯とハロゲンランプ）が当たらないように調整してください。



### 【NOTE】

- ・蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどのフリッカーが発生しにくい光源を用いてください。
- ・レンズ絞りがF4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- ・シャッタースイッチは必ずOFFのままにしておいてください。

## 3 ホワイトバランス/ブラックバランスを調整する

- ①WHITE BAL切り替えスイッチをA、またはBにして、AUTO W/B BALスイッチで、ホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。
- ②AUTO W/B BALスイッチで、ブラックバランスの自動調整（ABB）を行います。
- ③再度、AUTO W/B BALスイッチで、ホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。

## 4 再度、2-②の操作を行う

## 5 ホワイトシェーディング調整を実行する

- ①YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押します。
- ②調整中、画面にはSHADING ACTIVEというメッセージが表示されます。
- ③数秒で調整が完了すると、SHADING OKというメッセージが表示されます。
  - ・SHADING NG LEVEL OVER、またはSHADING NG LOW LIGHTなどのエラーメッセージが出たときは、絞りを調節し直してください。
  - ・調整値は設定したメモリー（USER1、USER2、USER3）に自動的に記憶されます。

## 6 レンズにエクステンダ機能がついている場合は、エクステンダ機能を入れて、2～5の操作を繰り返す

- ・このとき、再度エクステンダ機能を外してホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

## 色収差補正機能 (CAC)

CACは、レンズ自体で補正しきれないわずかな色収差などが主な原因で起こるレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体にて自動的に補正し、周辺画像の色にじみを最小限に抑える機能です。

CAC対応レンズを装着したときに、そのレンズのCACデータが本機内があれば、自動的にCAC動作を開始します。

本機の工場出荷時には下記の4つのCACデータを記憶しています。

本機での表示	対応レンズ品番
KJ16EX7.7B IRSD PS12	KJ16ex7.7B IRSD PS12
	KJ16ex7.7B KRSD PS12
KJ21EX7.6B IRSD PS12	KJ21ex7.6B IRSD PS12
KJ10EX4.5B IRSD PS12	KJ10ex4.5B IRSD PS12
XA17X7.6BERM-M58B	XA17x7.6BERM-M58B
	XA17x7.6BRM-M58B

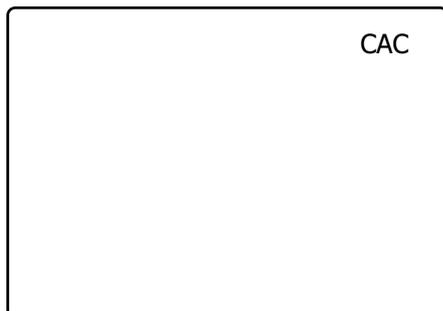
### 【NOTE】

- ・メニューにおいて、レンズ品番は代表して表示しています。
- ・本機のCACは水平方向にのみ有効です。
- ・+18dB時はCACは動作しません。
- ・レンズがマクロ撮影の時はCACが正しく動作しないことがあります。
- ・本機の発売以降の対応レンズの追加、変更等に関しては、下記のウェブサイトのサポートサイトを参照してください。  
<http://panasonic.biz/sav/>

## CACの動作状態の確認

メニューが表示されていない状態で、モードチェックボタンを押します。

- ・画面右上にCACの文字が表示されれば、CACは動作中です。



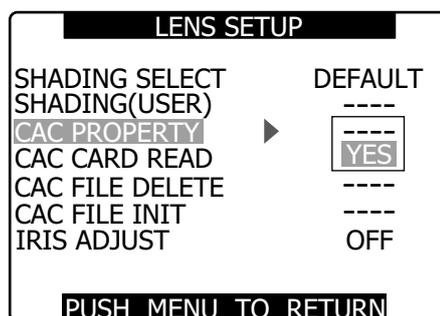
## 使用中のCACデータ番号、CACデータ情報の確認

### 1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC PROPERTY項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

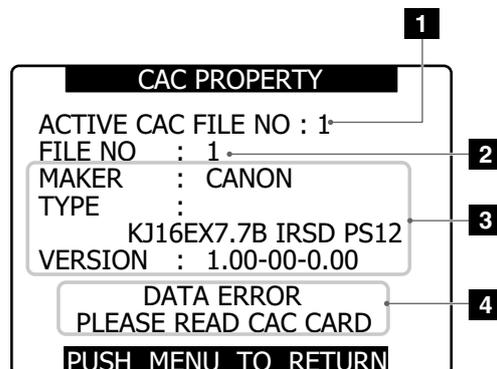
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

### 2 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

・CACのプロパティが表示されます。



### ■ CACのプロパティ



- 1 現在使用中のCACデータの番号
- 2 確認するCACデータの番号  
ジョグダイヤルボタンを回して選択できます。

### 3 2で番号指定したCACデータの情報

### 4 エラーメッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、使用できないファイルです。CACファイルの初期化を行うか、もう一度SDメモリーカードからCACファイルの読み込みを行ってください。

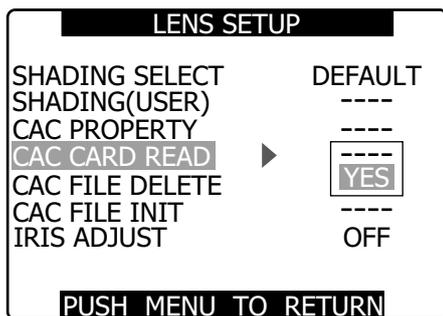
→「CACファイルをSDメモリーカードから読み込む」(98ページ)、または「CACファイルを初期化する」(99ページ)参照

## CACファイルをSDメモリーカードから読み込む

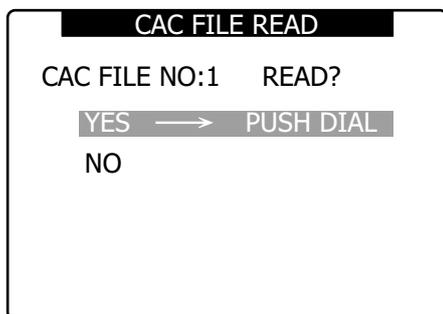
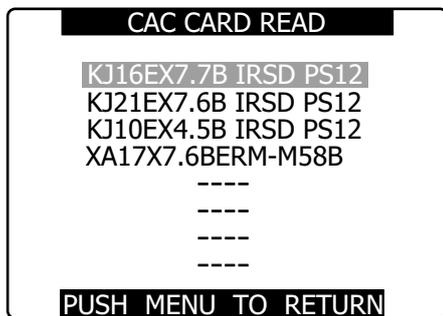
- 1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC CARD READ項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

- 2 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



- 3 読み込むCACファイルを選び、確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



### 【NOTE】

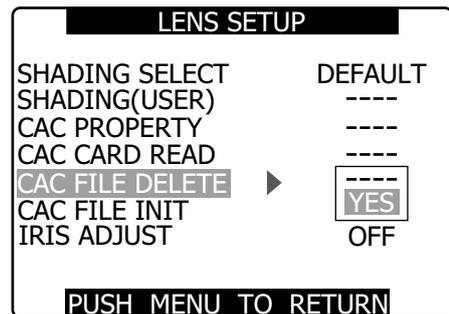
- ・本機に読み込みできるファイル数は最大8個です。8個のファイルが本機に読み込まれた状態で読み込み操作を行うとRAED NG CAC FILE FULLと表示されます。新たなファイルを読み込む場合は、いずれかのファイルを消去してから読み込み操作を行ってください。  
→「CACファイルを本機から消去する」(98ページ)参照
- ・READ NG FORMAT ERRORが表示された場合、使用できないファイルであるため、読み込みができません。本機で使用可能なファイルであること、もしくはSDメモリーカードに正しくファイルが格納されていることをご確認ください。

## CACファイルを本機から消去する

- 1 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC FILE DELETE項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

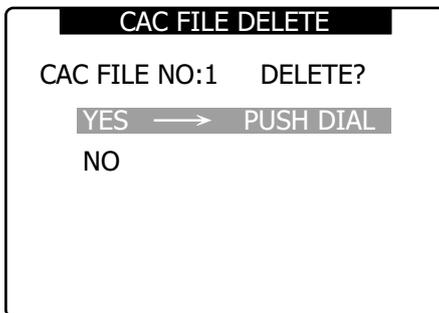
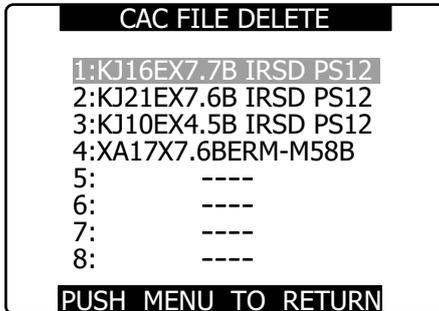
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照

- 2 YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



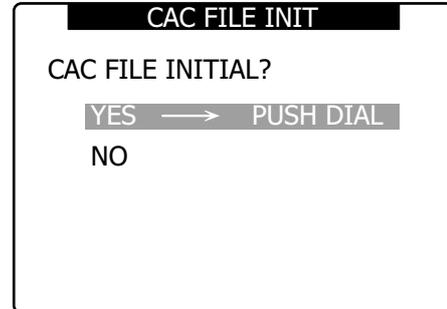
- 3** 消去するCACファイルを選び、確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

・消去が完了すると表示は----となります。



- 3** 確認画面でYESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す

・CAC FILE INIT PROCESSING COMPLETEDと表示されると完了です。  
・完了後、表示はLENS SET UP画面に戻ります。



**【NOTE】**

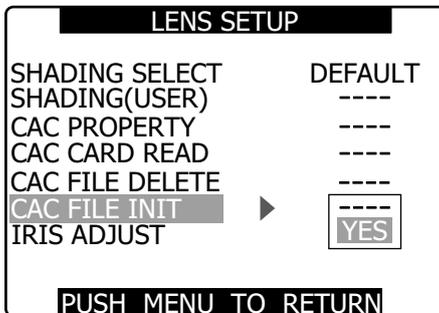
本機に読み込みこまれているファイルがすべて消去され、工場出荷時の4つのCACファイルに戻ります。

.....  
CACファイルを初期化する（工場出荷設定に戻す）

- 1** 設定メニューのLENS SETUP画面のCAC FILE INIT項目を選び、ジョグダイヤルボタンを押す

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」（120ページ）参照

- 2** YESを選び、ジョグダイヤルボタンを押す



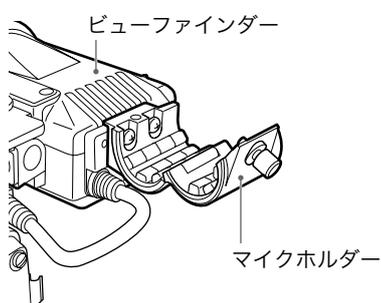
# 音声入力の準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

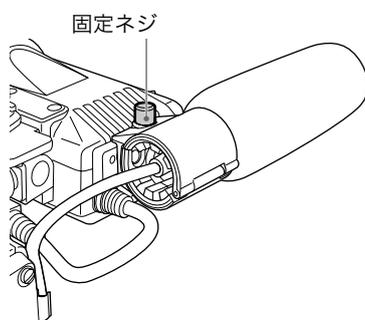
## フロントマイクを使用する場合

マイクキット AG-MC200G (別売品) などのマイクを取りつけることができます。

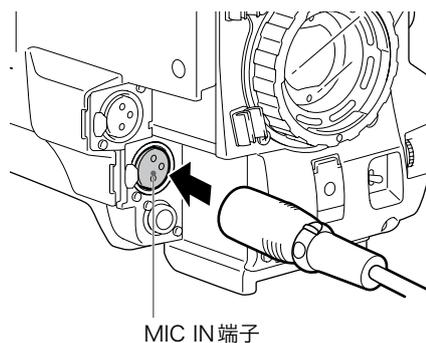
### 1 マイクホルダーを開ける



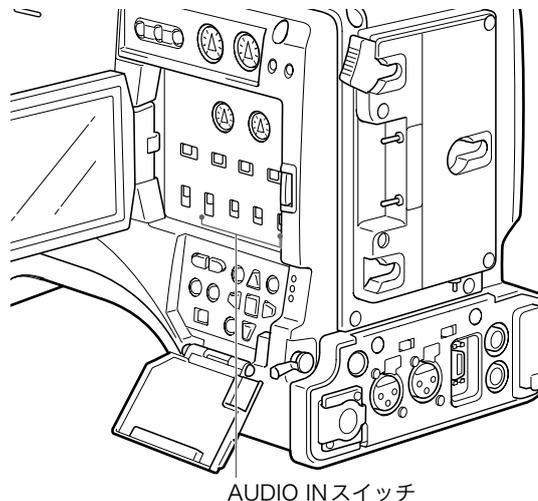
### 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締める



### 3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN端子に接続する



### 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチをFRONTに切り替える



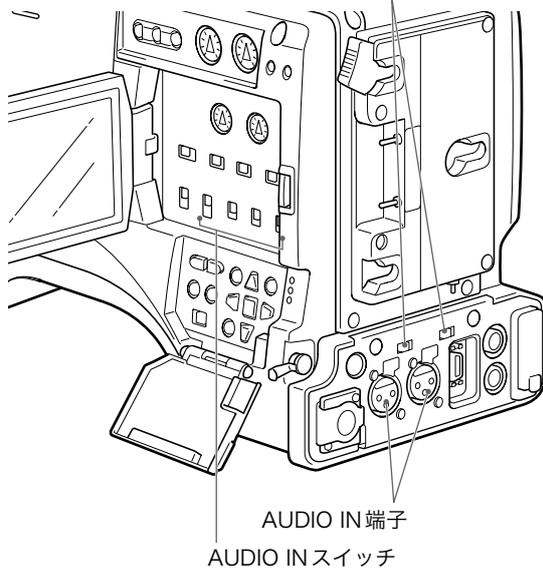
#### 【NOTE】

マイクの接続ケーブルをFRONT2端子に接続した場合、AUDIO INスイッチCH1をFRONT2、CH2をFRONTに切り替えると両方のチャンネルにマイク音声が入力されます。

## オーディオ機器を使用する場合

- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続する
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチをREARに切り替える
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチをLINEに切り替える

LINE/MIC/+48V切り替えスイッチ

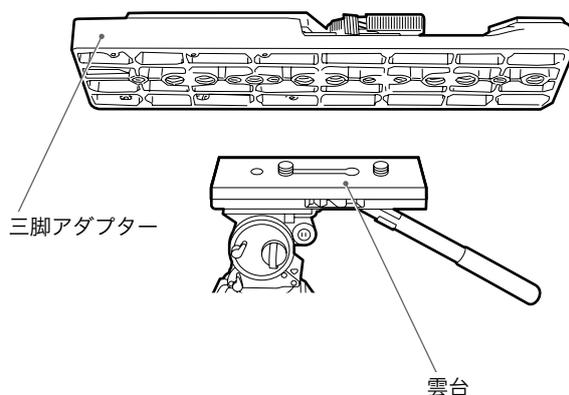


# アクセサリーの取り付け

## 三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アダプターを使います。

### 1 三脚アダプターを三脚に取り付ける

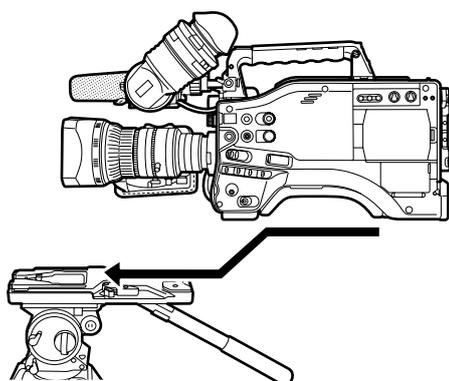


#### 【NOTE】

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。  
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

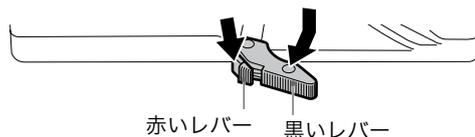
### 2 本機を三脚アダプターに取り付ける

・溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へスライドさせます。



## 三脚アダプターから取り外す

赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方にスライドさせて外します。

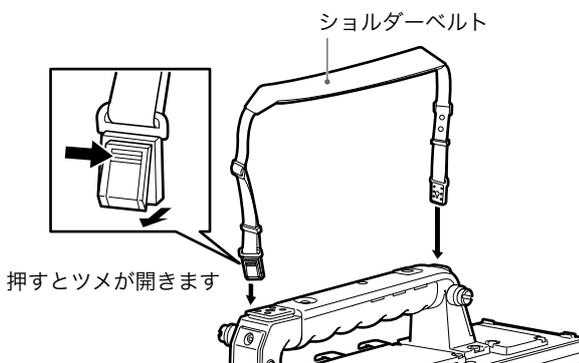


#### 【NOTE】

本機を取り外したあと、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。  
ピンが中央に残ったままでは、本機を取り付けができませんのでご注意ください。

## ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを  
押してから外します。

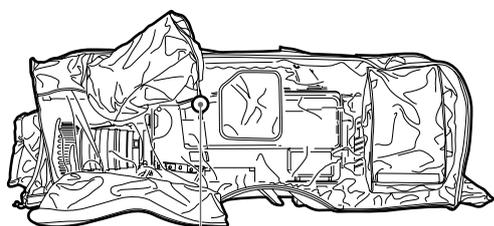


### [NOTE]

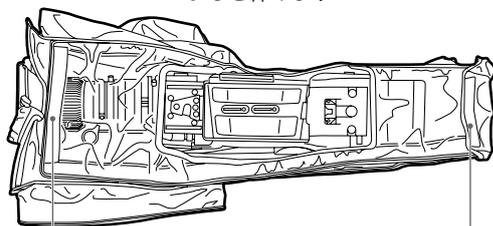
ショルダーベルトが確実に取り付けられていることを、確認  
してください。

## レインカバーの取り付け

### レインカバー SHAN-RC700 の使用例



ひもを締めます



面ファスナーで止めます

面ファスナーで止めます

## FRONT AUDIO LEVEL ノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、  
付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすく  
することができます。

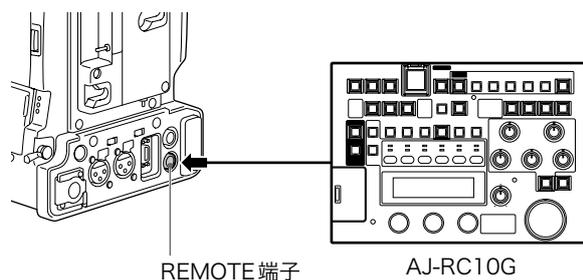


FRONT AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本  
機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。  
このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合  
わせてください。

# エクステンションコントローラ (AJ-RC10G) の接続

## 第5章 準備

- ・エクステンションコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。
- ・AJ-RC10Gを接続して本機、およびAJ-RC10GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。



### 【NOTE】

- ・専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-RC10GのPOWERスイッチを必ずOFFにしてください。
- ・AJ-RC10GのRC DATA SAVE項目の設定がOFFの場合、AJ-RC10Gを使って行った調整や設定は、本機のPOWERスイッチをOFFにするとカメラ関連の設定値は取り消されます。また、SDメモリーカードへの設定値の書き込みもできません。ただしAJ-RC10Gを使って行った設定メニュー内容は、SDメモリーカードへの書き込みができます。再度、AJ-RC10Gと接続されると、AJ-RC10Gの設定値に戻ります。
- ・AJ-RC10GのRC DATA SAVE項目の設定がONの場合、AJ-RC10Gを使って行った調整や設定は、本機を電源OFFにしても消えません。
- ・本機のUSERボタン、MENUボタン機能は、AJ-RC10G接続時には動作しません。
- ・同梱CDのAJ-RC10Gの操作ガイドを参照してください。

# 第6章 クリップのサムネール操作

クリップとは、一回の撮影によって生成される画像、音声、およびテキストメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。

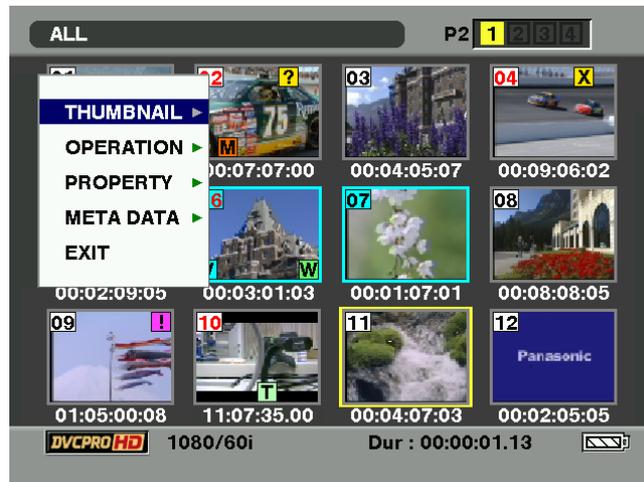
本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、カーソル・SETボタンを使って下記の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、および修復
- クリップのサムネールにショットマーク/テキストメモを付加、および消去する
- P2カード、SDメモリーカードのフォーマット
- クリップメタデータのSDメモリーカードからのアップロード

## サムネール操作について

### サムネールの概要

サムネール画面は下記の構成になっています。



#### THUMBNAIL

- ALL CLIP
- SAME FORMAT CLIPS
- SELECTED CLIPS
- MARKED CLIPS
- TEXT MEMO CLIPS
- SLOT CLIPS
- SETUP
- EXIT

#### OPERATION

- DELETE
- FORMAT
- REPAIR CLIP
- REPAIR CLIP (LOOP)
- EXIT

#### PROPERTY

- CLIP PROPERTY
- CARD STATUS
- DEVICES
- PROPERTY SETUP
- SYSTEM INFO
- EXIT

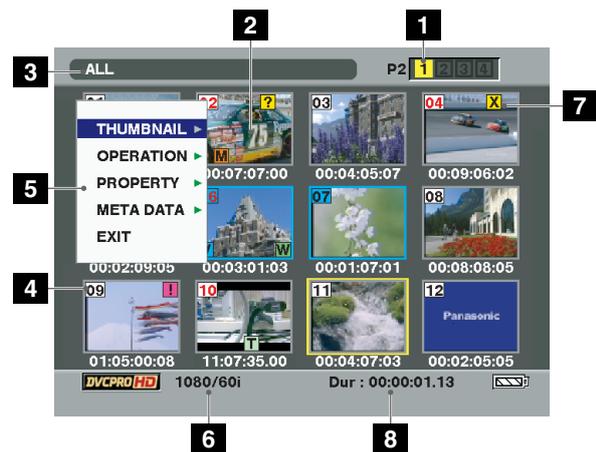
#### META DATA

- LOAD
- RECORD
- USER CLIP NAME
- INITIALIZE
- PROPERTY
- EXIT

・SDI OUT/COMPONENT OUT 端子からはサムネール画面は出力されません。

## サムネール画面

MODEボタンを押してMCRモードにすると、液晶モニターにサムネール画面を表示します。なお、通常表示からサムネール画面表示に変わったときは、すべてのクリップがサムネール画面に表示されます。また、サムネール画面からサムネールメニューボタンを押すと、ポインターが設定メニュー表示に移動し、サムネールのメニュー操作が可能になります。



### 1 スロット番号

- ・選択されたクリップが、どのスロットのP2カードにあるかを示しています。(番号が黄色になります)
- ・クリップが2つ以上のスロットにまたがって記録されている場合は、記録されたすべての番号が黄色になります。
- ・挿入されたP2カードが以下のような場合に、番号の外枠がピンク色になります。  
[RUN DOWN CARD]  
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合  
[DIR ENTRY NG CARD]  
P2カードのディレクトリが不正規の場合

### 2 サムネール

各クリップの最初の映像を表示します。

### 3 サムネールの表示状態

サムネール表示するクリップの種類を示しています。

### 4 クリップ番号

- ・撮影した順番に表示されます。
- ・記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されます。
- ・赤色のクリップを再生するには、設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FORMAT、またはMCR FORMAT項目を、6のフォーマットに設定してください。
- ・メモリーカードレコーダーAJ-SPD850などでプレイリストのエディットコピーをしたクリップで、フォーマット (DVCPRO50/DVCPRO/

DV) が混在しているものも赤色で表示されますが、この場合はREC FORMAT項目を設定しても再生できません。

### 5 設定メニュー表示

- ・各種設定メニュー項目が表示されます。
- ・EXITを選び、SETボタンを押すと、設定メニュー表示が消えて元の画面に戻ります。

### 6 記録モード/フォーマット表示

記録した映像の記録モードとフォーマットが表示されます。

### 7 各種インジケータ

#### M (ショットマーク) :

ショットマークが付いていることを示しています。

#### W (ワイド) :

16:9の画角で記録されていることを示しています。(480i/576i記録の場合)

#### ! (不完全クリップ) :

2枚以上のP2カードにまたがって記録されているのに、いずれかのカードがスロットに入っていない場合に表示されます。

#### X (不良クリップ) :

- ・記録中に電源OFFになるなどの原因で、記録に不具合があるクリップに表示されます。
- ・黄色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは修復ができます。
- ・赤色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは修復できませんので、削除してください。削除できない場合は、バックアップを取ったあとにP2カードをフォーマットしてください。P2規格のフォーマットなどが異なるクリップの場合は、代わりに(?)が表示されます。

#### V (ボイスメモ) :

ボイスメモがあることを示しています。(本機では記録/再生はできません)

#### T (テキストメモ) :

テキストメモがあることを示しています。

#### E (エディットコピー) :

エディットコピークリップであることを示しています。(本機では編集できません)

#### P (プロキシ) :

プロキシが付加記録されていることを示しています。(本機では記録できません)

#### [NOTE]

V T E P の機能詳細については、記録した機器の取扱説明書を参照してください。

### 8 デュレーション表示

選択したクリップのデュレーションが表示されます。

## サムネールの選択

サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できます。

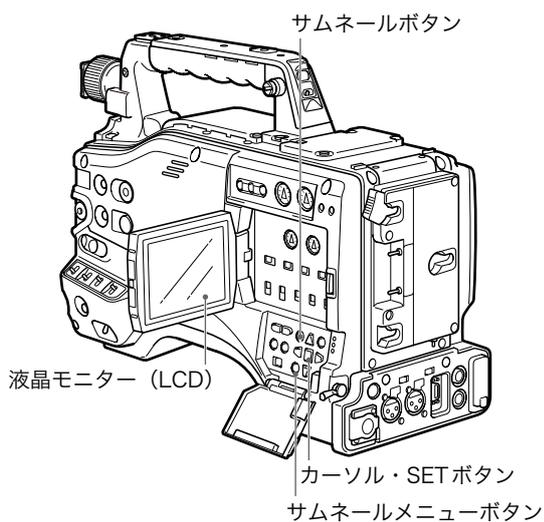
### 1 ポインター（黄色い枠）をカーソルボタンで動かして、選択するクリップに合わせ、SETボタンを押す

- ・選択されたクリップのサムネールには青色の枠が表示されます。再度SETボタンを押すと、選択は解除されます。

### 2 さらに選択するクリップがある場合は、1の操作を繰り返す

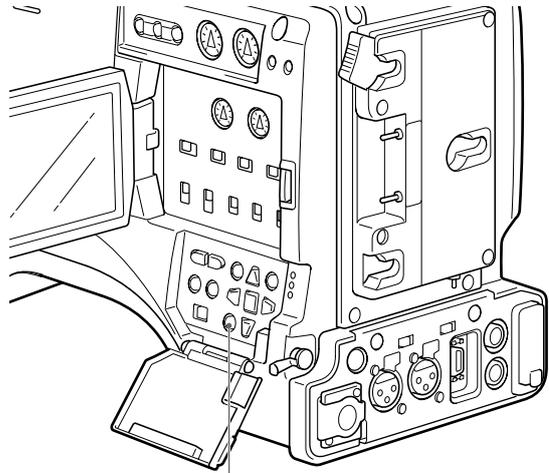
選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することができます。

→「サムネール表示の切り替え」(107ページ) 参照



### 2 サムネールメニューボタンを押す

- ・メニューが表示されます。



サムネールメニューボタン

### 3 ポインターをTHUMBNAILに移動し、SETボタンを押す

- ・サブ設定メニューが表示されます。
- ・それぞれの項目を選択して、サムネール表示を切り替えることができます。



## サムネール表示の切り替え

サムネール画面に表示されるクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

### 1 MODEボタンを押してMCRモードにする

- ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

- ・ **ALL CLIP**  
すべてのクリップを表示します。
- ・ **SAME FORMAT CLIPS**  
記録フォーマット、またはMCRフォーマットと同じクリップを表示します。
- ・ **SELECTED CLIPS**  
任意に選択したクリップを表示します。
- ・ **MARKED CLIPS**  
ショットマークが付いたクリップを表示します。
- ・ **TEXT MEMO CLIPS**  
テキストメモが付いたクリップを表示します。テキストメモの位置のサムネール、TC、メモの総数、および現在の順番が表示されます。

・ SLOTT CLIPS

特定のスロットにあるP2カードのクリップを表示します。

・ SETUP

各種セットアップを行います。

・ EXIT

1つ前の画面に戻ります。

■ テキストメモを削除するには

**1** サムネールメニューの THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIP と選択し、テキストメモを削除するクリップにポインターを移動して、SET ボタンを押す

**2** サムネール画面下段に移動し、削除するテキストメモサムネールにポインターを移動する

**3** サムネールメニューの OPERATION → DELETE と選択する  
 ・ テキストメモが消去されます。  
 ・ サムネールメニューボタンを押し、EXIT を選択するとポインターがサムネール画面上段に戻ります。

**サムネールの表示設定**

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

**1** MODE ボタンを押して MCR モードにする  
 ・ 液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

**2** サムネールメニューボタンを押す  
 ・ メニューが表示されます。

**3** THUMBNAIL → SETUP と選択する



- ・ **MARKER IND.**  
 ショットマークインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・ **TEXT MEMO IND.**  
 テキストメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・ **VOICE MEMO IND.**  
 ボイスメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・ **WIDE IND.**  
 ワイドインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・ **PROXY IND.**  
 プロキシインジケータの表示・非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。
- ・ **DATA DISPLAY**  
 クリップの時間表示の部分を、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時刻 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日、および時刻 (DATE TIME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。
- ・ **DATE FORMAT**  
 記録日時の表示順を、年月日 (YMD) / 月日年 (MDY) / 日月年 (DMY) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。  
 この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、および DATA DISPLAY で DATE を選択したときに表示される記録日時に反映します。
- ・ **THUMBNAIL SIZE**  
 1画面に表示されるサムネールを、LARGE (サムネールを 3×2 で表示) / NORMAL (サムネールを 4×3 で表示) のいずれかから選択できます。工場出荷時は NORMAL に設定されています。

- **THUMBNAIL INIT**

上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態にします。  
カーソルをこの項目にあわせ、SETボタンを押すと、  
確認画面が表示されますので、YESを選択します。

- **EXIT**

1つ前の設定メニューに戻ります。

# クリップの操作について

## クリップの再生

- 1 MODE ボタンを押してMCRモードにする  
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、再生するクリップに合わせる

- 3 PLAY ボタンを押すと、選択したクリップが、液晶モニターで再生される  
・選択したクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが撮影時刻順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

### 【NOTE】

- ・クリップを再生するときは、クリップを選択する(サムネールに青色の枠が表示された状態にする)必要はありません。
- ・クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。

- 4 クリップの再生中に、REW ボタンを押すと4倍速逆再生、FF ボタンを押すと4倍速再生を行う  
・通常の再生に戻すにはPLAYボタンを押します。

- 5 クリップの再生中に、STILL ボタンを押して、再生を一時停止する  
・再生の一時停止中、REW ボタンを押すと、そのクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。  
・さらにREW ボタンを押すと、1つ前のクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。  
・再生の一時停止中、FF ボタンを押すと、1つあとのクリップの先頭で、再生を一時停止した状態になります。(FF ボタンを押し続けると、最後のクリップの最後の映像が表示されます。このときEOS表示されます。)

- 6 クリップの再生中にSTOP ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻る  
【NOTE】  
再生を停止時、ポインターは再生開始時の位置に関わらず、再生していたクリップのサムネールに合っています。

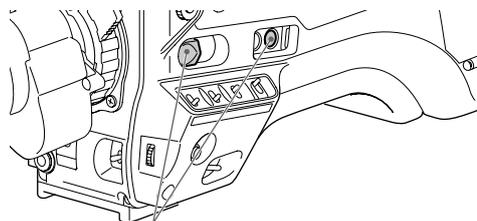
## ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

- 1 MODE ボタンを押してMCRモードにする  
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、ショットマークを付加するクリップに合わせる

- 3 ショットマーク機能を割り当てたUSER ボタンを押す  
・設定メニューのSW MODE画面で、USER ボタンにSHOT MARKを割り当ててください。



USER MAIN/USER1/USER2 ボタン

- 4** ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加される
- ・ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせてショットマークボタンを押します。

**[NOTE]**

複数のP2カードにまたがるクリップに、ショットマークを付加/削除する場合、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。

## クリップの削除

- 1** MODEボタンを押してMCRモードにする
- ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2** ポインターをカーソルボタンで動かして、削除するクリップに合わせ、SETボタンを押す
- ・SETボタンを押して、クリップを選択します。
- 3** サムネールメニューボタンを押し、OPERATION→DELETEと選択する



- 4** 削除を確認する画面が表示されるので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する
- ・クリップが削除されます。
  - ・このとき選択された（青色の枠で囲まれた）クリップはすべて削除されます。

**[NOTE]**

複数のクリップを選択し、削除中にCANCELメッセージが出ているとき、SETボタンを押すと、途中で削除を中止できません。

## クリップの修復

記録中、急に電源が切れる、またはアクセス中のP2カードを取り出したなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

**[NOTE]**

- ・修復できるのは、黄色い不良クリップインジケータがついたクリップのみです。赤い不良クリップインジケータがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。
- ・ただし修復中に、不良クリップインジケータが黄色から赤色になり、修復できない場合があります。

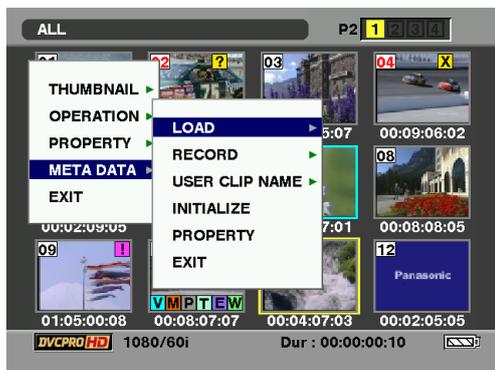
- 1** MODEボタンを押してMCRモードにする
- ・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2** ポインターをカーソルボタンで動かして、修復するクリップ（不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています）に合わせ、SETボタンを押す
- ・SETボタンを押して、クリップを選択します。
- 3** サムネールメニューボタンを押し、OPERATION→REPAIR CLIPと選択する
- [NOTE]**
- ループレック撮影時に発生した不良クリップを修復する場合は、REPAIR CLIP (LOOP) を選択します。ただし、修復処理に時間がかかる場合があります。
- 4** 修復を確認する画面が表示されるので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する

# クリップメタデータの設定

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報をSDメモリーカードから読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。

## クリップメタデータの読み込み（メタデータアップロード）

- 1 クリップメタデータを記述したファイル（メタデータアップロードファイル）が入ったSDメモリーカードを本機に挿入する
- 2 MODEボタンを押してMCRモードにする  
・液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 3 サムネイルメニューボタンを押す  
・メニューが表示されます。
- 4 メニューバーからMETA DATA→LOADと選択する



- 5 SDメモリーカードにあるメタデータアップロードファイルのファイル名が表示される  
・カーソルボタンで読み込むファイルを選択してYESを選択すると、読み込みが開始されます。  
・読み込んだメタデータは電源OFFにしても保持されます。  
→読み込んだデータの確認は、「メタデータアップロードの確認」（119ページ）参照

## クリップメタデータの内容

- ・クリップメタデータには下記の項目があります。下線の入った項目は、SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。
- ・その他の項目は、撮影時に自動的に設定されます。メタデータアップロードファイルは、パソコンでP2 Viewer最新アップデート版を使用することで、SDメモリーカードに書き込むことができます。
- ・P2 Viewer最新アップデート版は下記のウェブサイトよりダウンロードしてお使いください。

<http://panasonic.biz/sav/p2>

→使用するSDメモリーカードについては、「メモリーカードのご使用について」（86ページ）参照

### 【NOTE】

P2 Viewer以外で編集したファイルは、UNKNOWN DATAと表示され、読み込めない場合があります。

- ・ **GLOBAL CLIP ID:**  
クリップの撮影状態を示すグローバルクリップIDを表示します。
- ・ **USER CLIP NAME:**  
ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。  
\* メタデータアップロードファイルに情報がない場合は、グローバルクリップIDがそのままUSER CLIP NAMEになります。USERCLIP NAMEの記録方法を選択することができます。  
→「USE CLIP NAMEの記録方法の選択」（113ページ）参照
- ・ **VIDEO:**  
記録映像のFRAME RATE（フレームレート）、PULL DOWN（プルダウン方式）、ASPECT RATIO（アスペクト比）を表示します。
- ・ **AUDIO:**  
記録音声のSAMPLING RATE（サンプリング周波数）、BITS PER SAMPLE（量子化ビット数）を表示します。  
CH1～CH4に対応しています。
- ・ **ACCESS:**  
CREATOR（収録者名）、CREATION DATE（収録日）、LAST UPDATE DATE（最終更新日）、LAST UPDATE PERSON（最終更新者）を表示します。

- **DEVICE:**  
MANUFACTURER (機材のメーカー名)、SERIAL NO. (機材のシリアルナンバー)、MODEL NAME (機材のモデル名) を表示します。
- **SHOOT:**  
SHOOTER (撮影者名)、START DATE (撮影開始日時)、END DATE (撮影終了日時)、LOCATION/ALTITUDE/LONGITUDE/LATITUDE/SOURCE/PLACE NAME (撮影地-高度/経度/緯度/情報源/場所の名前) を表示します。
- **SCENARIO\*:**  
PROGRAM NAME (番組名)、SCENE NO. (シーンナンバー)、TAKE NO. (テイクナンバー) を表示します。  
\* SCENARIOを入力するときは、必ずPROGRAM NAMEを入力してください。SCENE NO.、TAKE NO.のみの入力ではできません。
- **NEWS:**  
REPORTER (リポーター名)、PURPOSE (取材目的)、OBJECT (取材対象) を表示します。
- **MEMO: \***  
NO. (メモ番号)、OFFSET (クリップ先頭からのフレーム位置)、PERSON (テキストメモの記録者名)、TEXT (メモの内容) を表示します。  
\* MEMOを入力するときは、必ずTEXTを入力してください。PERSONのみの入力ではできません。

**[NOTE]**

日本語や中国語のメタデータを英語で表示したときや、メタデータに英語の非表示文字があるときは正しく表示されず、\*で表示されます。

.....  
**読み込んだメタデータの記録する/しないを設定**

META DATA → RECORD項目でON/OFFを設定します。

.....  
**USER CLIP NAMEの記録方法の選択**

META DATA → USER CLIP NAME項目で、USER CLIP NAMEの記録方法を、TYPE1とTYPE2の二通りから選択することができます。

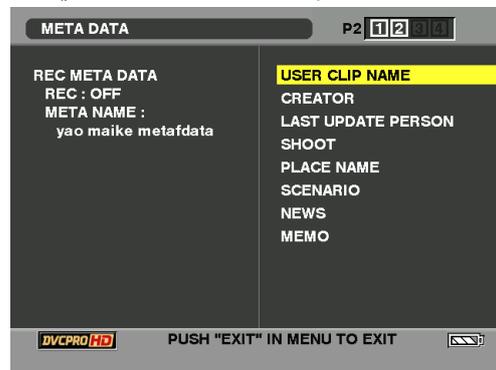
●TYPE1 (工場出荷時)

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP IDと同じ (UMIDデータ)

●TYPE2

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ + COUNT値*
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	CLIP NAMEと同じ

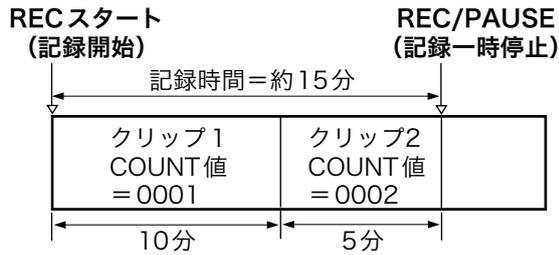
\* COUNT値は、4桁の数字で表示されます。COUNT値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法をTYPE2に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成するごとに、1ずつ増えます。  
また、COUNT値は、下記の方法でリセットできます。  
META DATA → PROPERTY → USER CLIP NAMEを選択します。  
COUNT RESETにカーソルを合わせ、SETボタンを押すと、COUNT値が1にリセットされます。



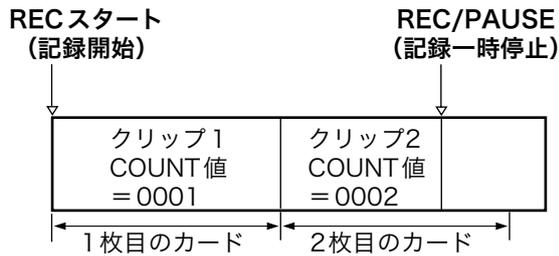
**[NOTE]**

本機で8GB以上のP2カードを使用し、1回の連続記録時間が一定時間 (DVCPRO HD時: 約5分/DVCPRO50時: 約10分/DVCPRO、またはDV時: 約20分) を超える場合、また、1回の記録が複数のP2カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT値はそれぞれのクリップにつけられます。

■ P2カード1枚での記録 (DVCPRO50) の例



■ P2カード2枚にまたがって記録する例



なお、P2機器で上記例のクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ1のサムネール、およびCOUNT値が表示されます。

読み込んだメタデータのクリア

META DATA → INITIALIZEと選択し、SETボタンを押します。確認画面が表示されますので、YESを選択します。

読み込んだメタデータの表示

META DATA → PROPERTYと選択し、SETボタンを押すと、本機に記録されたメタデータを表示します。

# P2カード、SDメモリーカードのフォーマット

## P2カードのフォーマット

- 1 MODEボタンを押してMCRモードにする  
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押す  
・メニューが表示されます。
- 3 OPERATION → FORMATと選択する  
・下記の画面が表示されますので、フォーマットするP2カードが挿入されたスロット番号を選択します。  
・フォーマットしない場合はEXITを選択してください。



- 4 フォーマットを確認する画面が表示されるので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する  
・選択したP2カードがフォーマットされます。

## SDメモリーカードのフォーマット

サムネール画面から、SDメモリーカードをフォーマットすることもできます。本機にSDメモリーカードを挿入した状態で、下記の作業を行ってください。

- 1 MODEボタンを押してMCRモードにする  
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押す  
・メニューが表示されます。
- 3 OPERATION → FORMATと選択する  
・下記の画面が表示されますので、SD CARDを選び、選択します。  
・フォーマットしない場合はEXITを選択してください。



- 4 フォーマットを確認する画面が表示されるので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択する  
・SDメモリーカードがフォーマットされます。

### [NOTE]

- ・SDメモリーカードは、設定メニューからフォーマットすることもできます。  
→ 「SDメモリーカードの操作」(81ページ) 参照
- ・SDHCカードの場合、32KBの容量は使用済みとなります。

# プロパティ

クリップのプロパティ、P2カードの状態を表示します。

## クリップのプロパティ

PROPERTY→CLIP PROPERTYと選択します。下記の画面が表示されます。



- 1 クリップ番号
- 2 サムネール
- 3 スロット番号
- 4 クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータや、さまざまなデータを表示します。(P2カードにライトプロテクトがかかけられているときは、を表示します)

- ・ **CLIP NAME**: クリップ名
- ・ **START TC**: 記録開始時のタイムコードの値
- ・ **START UB**: 記録開始時のユーザーズビットの値
- ・ **DATE**: 記録した日付
- ・ **TIME**: 記録開始時の時刻
- ・ **DURATION**: クリップの長さ
- ・ **V\_FORMAT**: ビデオ信号フォーマット
- ・ **FRAME RATE**: 再生フレームレート
- ・ **REC RATE**: 記録フレームレート

この表示は720P/24PN、および720P/30PN記録時に、SCENE FILE画面のFRAME RATE項目の設定がDefault以外の収録時に表示されます。

## 5 クリップメタデータ

映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。音声フォーマットの表示は、1～4CHのみです。

カーソルボタンで項目を選び、SETボタンを押してください。

→クリップメタデータの内容については、「クリップメタデータの設定」(112ページ)参照

## P2カードの状態表示

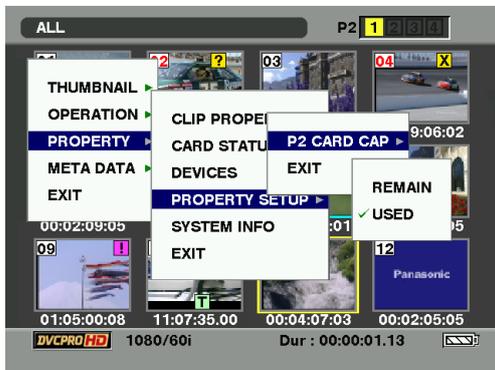
### P2カードの状態表示設定

PROPERTY→CARD STATUSと選択することで表示されるP2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示するか使用容量で表示するか選択できます。

- 1 MODEボタンを押してMCRモードにする  
・液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押す  
・メニューが表示されます。

### 3 PROPERTY → PROPERTY SETUP → P2CARD CAPと選択する

・下記の画面が表示されますので、P2 CARD CAP項目より、P2カードの状態表示の設定を選択します。

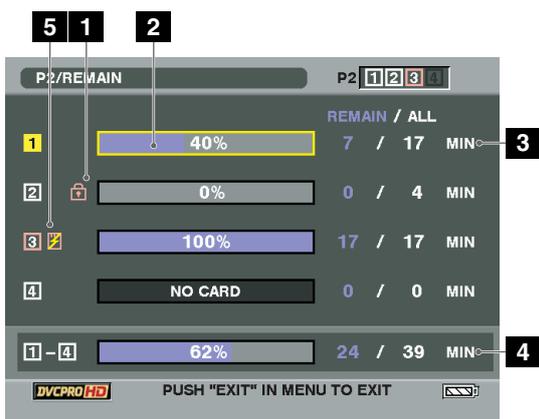


- ・ **REMAIN:**  
P2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示します。
  - ・ **USED:**  
P2カードの状態表示を、P2カードの使用容量で表示します。
- [NOTE]**  
工場出荷時は、REMAINに設定されています。

### P2カードの状態表示設定内容

PROPERTY → CARD STATUSと選択します。下記の画面が表示されます。

#### ■ REMAINを選択した場合：



- 1** 書き込み禁止マーク  
P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

### 2 P2カード状態（記憶残量）

P2カードの記憶残量を、メーターと%で表示します。記憶残量が減るとともに、メーターが左に減っていきます。

また、カードの状態によって、下記のような表示になります。

- ・ **FORMAT ERROR:**  
フォーマットされていないP2カードが挿入されています。
- ・ **NOT SUPPORTED:**  
本機に対応していないカードが挿入されています。
- ・ **NO CARD:**  
P2カードが挿入されていません。  
選択されているスロット（黄色数字で表示）のカード情報を、SETボタンを押すことで見ることができます。
- ・ **BRAND:** メーカー名
- ・ **MODEL NO.:** 品番
- ・ **SERIAL NO.:** シリアル番号
- ・ **USER ID:** ユーザーID
- ・ **WARNING:** DIR ENTRY NG (ディレクトリ配置が不正規)、RUN DOWN CARD (規定の書き換え回数を超えている)

### 3 P2カード残量 / 総容量

P2カードの記憶残量 / 総容量を表示します。単位は分です。

分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記憶残量の合計と総容量が一致しないことがあります。

### 4 スロット記憶残量合計

・4つのスロットの記憶残量を総合計した数値を表示します。

ただし、ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

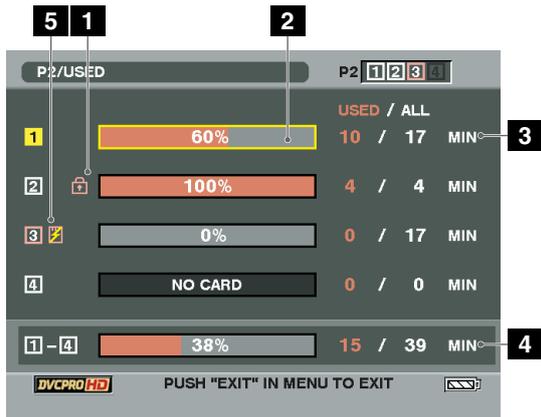
・設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目をLOOPに設定しているとき、スロット合計はLOOP REC時の保証最低記録時間を示します。REMAINを選択しているときは、スロット合計の残量は実際より少なくなります。

### 5 警告カードマーク

P2カードが以下の場合、マークが表示されます。

- ・ DIR ENTRY NG  
P2カードのディレクトリ配置が不正規な場合
- ・ RUN DOWN CARD  
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合  
警告内容は、**2**のP2カード状態の表示で見ることができます。

■ USEDを選択した場合：



1 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2 P2カード状態（使用容量）

P2カードの使用容量を、メーターと％で表示します。使用容量が増えるとともに、メーターが右に増えていきます。

また、カードの状態によって、下記の表示になります。

- ・ **FORMAT ERROR:**  
フォーマットされていないP2カードが挿入されています。
- ・ **NOT SUPPORTED:**  
本機に対応していないカードが挿入されています。
- ・ **NO CARD:**  
P2カードが挿入されていません。  
選択されているスロット（黄色数字で表示）のカード情報を、SETボタンを押すことで見ることができます。
- ・ **BRAND:** メーカー名
- ・ **MODEL NO.:** 品番
- ・ **SERIAL NO.:** シリアル番号
- ・ **USER ID:** ユーザーID
- ・ **WARNING:** DIR ENTRY NG (ディレクトリ配置が不正規)、RUN DOWN CARD (規定の書き込み回数を超えている)

3 P2カード使用容量 / 総容量

P2カードの使用容量 / 総容量を表示します。単位は分です。

分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの使用容量の合計と総容量が一致しないことがあります。

また、ライトプロテクトがかかっているP2カードの使用容量は、100%使用したものと表示されます。

4 スロット使用容量合計

- ・ 4つのスロットの使用容量を総合計した数値を表示します。
- ・ 設定メニューのRECORDING SETUP画面のREC FUNCTION項目をLOOPに設定しているとき、スロット合計はLOOP REC時の保証最低記録時間を示します。USEを選択しているときは、スロット合計の使用量は実際より多くなります。

5 警告カードマーク

P2カードが以下の場合、マークが表示されます。

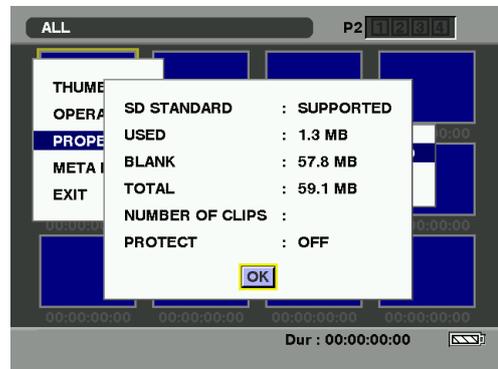
- ・ DIR ENTRY NG  
P2カードのディレクトリ配置が不正規な場合
- ・ RUN DOWN CARD  
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合  
警告内容は、**2**のP2カード状態の表示で見ることができます。

## SDメモリーカードの状態表示

SDメモリーカードのフォーマットの状態や、空き容量などを確認できます。

PROPERTY→DEVICES→SD CARDと選択します。

■ SDメモリーカードの情報画面



- ・ **SDSTANDARD:** SDメモリーカードがSD、およびSDHC準拠でフォーマットされている/いない (SUPPORTED/NOT SUPPORTED) を表示します。

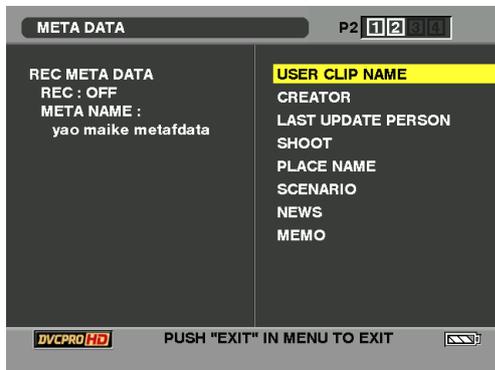
**[NOTE]**

SDHCカードの場合、フォーマットを行っても32KBの容量は使用済みとなります。

- ・ **USED:** 使用量
- ・ **BLANK:** 残量
- ・ **TOTAL:** 全容量
- ・ **NUMBER OF CLIPS:** クリップ数
- ・ **PROTECT:** SDメモリーカードの書き込み禁止状態を表示します。

## メタデータアップロードの確認

- ・SDメモリーカードから読み込んだメタデータアップロードファイルの内容を確認できます。
- ・META DATA→PROPERTYと選択すると、下記の画面が表示されます。



- 各項目の内容については、「クリップメタデータの設定」(112ページ) 参照
- ・なお、META NAMEは、メタデータアップロードファイル内に書かれているメタデータの名前です。クリップには記録されません。

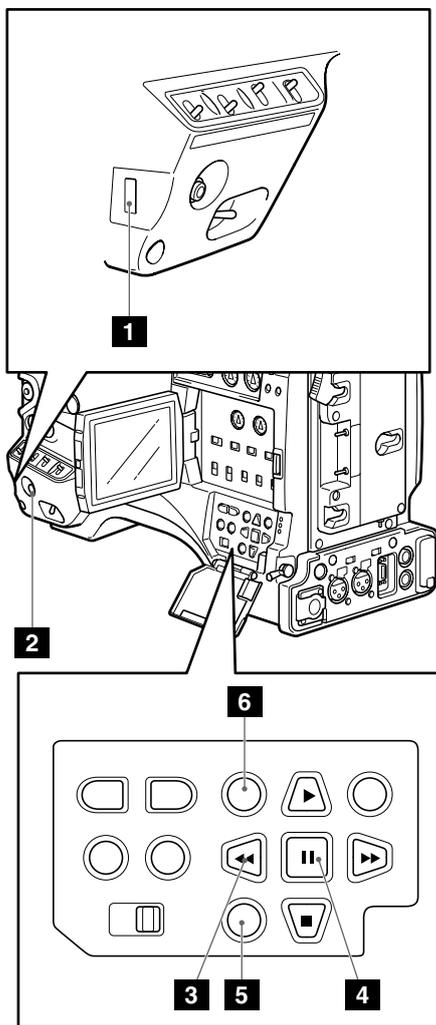
# 第7章 メニュー操作

## ビューファインダー/LCD画面の設定メニュー表示

### 設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて本機の設定を設定メニューで変更することができます。

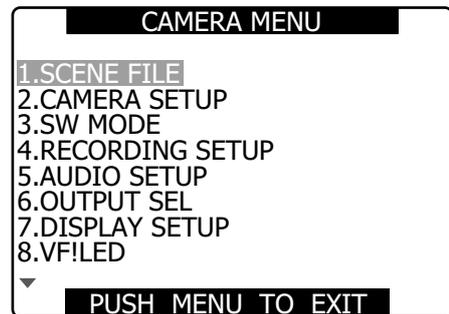
- ・サムネール設定メニューが表示されている場合は、THUMBNAIL ボタンを押して解除してください。
- ・青文字で表示されている設定メニュー項目は使用できません。



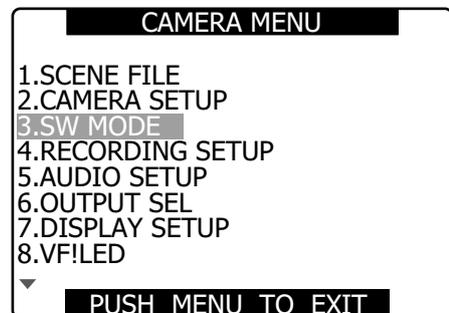
- 1 ジョグダイヤルボタン
- 2 MENUボタン
- 3 カーソルボタン
- 4 SETボタン
- 5 サムネールメニューボタン
- 6 サムネールボタン

#### 1 記録動作以外の際に、MENUボタンを押す

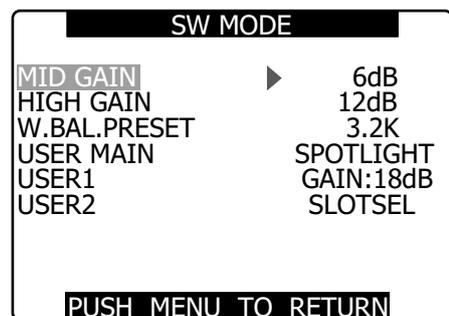
- ・フロントのMENUボタンは、1秒以上押し続けてください。
- ・設定メニュー画面がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。



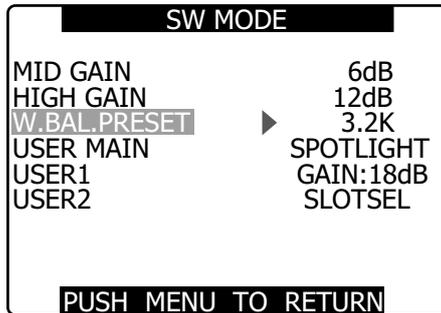
#### 2 ジョグダイヤルボタン（または上下のカーソルボタン）で設定する機能に反転表示部分を移動させる



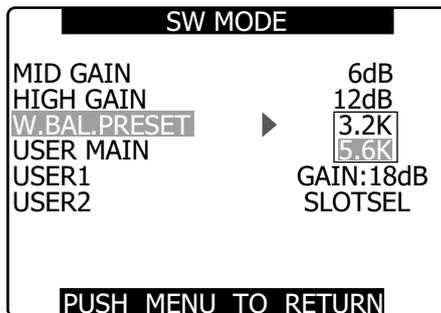
#### 3 ジョグダイヤルボタン（またはSETボタン）を押して、設定項目を表示する



- 4** ジョグダイヤルボタン（または上下のカーソルボタン）で設定する項目に反転表示部分を移動させる



- 5** ジョグダイヤルボタン（またはSETボタン）を押して設定する



- 6** ほかの項目を変更する場合は、手順4、5を繰り返す

- ・設定を終了する場合はMENUボタンを押して機能設定メニュー画面に戻ります。

- 7** ほかの機能を変更する場合は、手順2～5を繰り返す

- ・機能設定メニューを終了する場合は、再度MENUボタンを押して、通常画面に戻ります。

#### [NOTE]

##### ■メニューダイレクトクローズ機能

メニュー設定後、MENUボタンを長押しすることで、前設定メニュー画面に戻ることなく、ダイレクトに設定メニュー画面を閉じることができます。

## 設定メニュー項目の初期化

設定項目はユーザーファイルとシーンファイルに分けて保存されています。それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

### ユーザーファイル（シーンファイル以外の全設定項目）を初期化するには

OTHER FUNCTIONS画面のUSER FILE項目で、INITIALを選択すると、現在使用しているユーザーファイルの設定メニューを工場出荷時の状態に戻すことができます。

### シーンファイル（SCENE FILE）を初期化するには

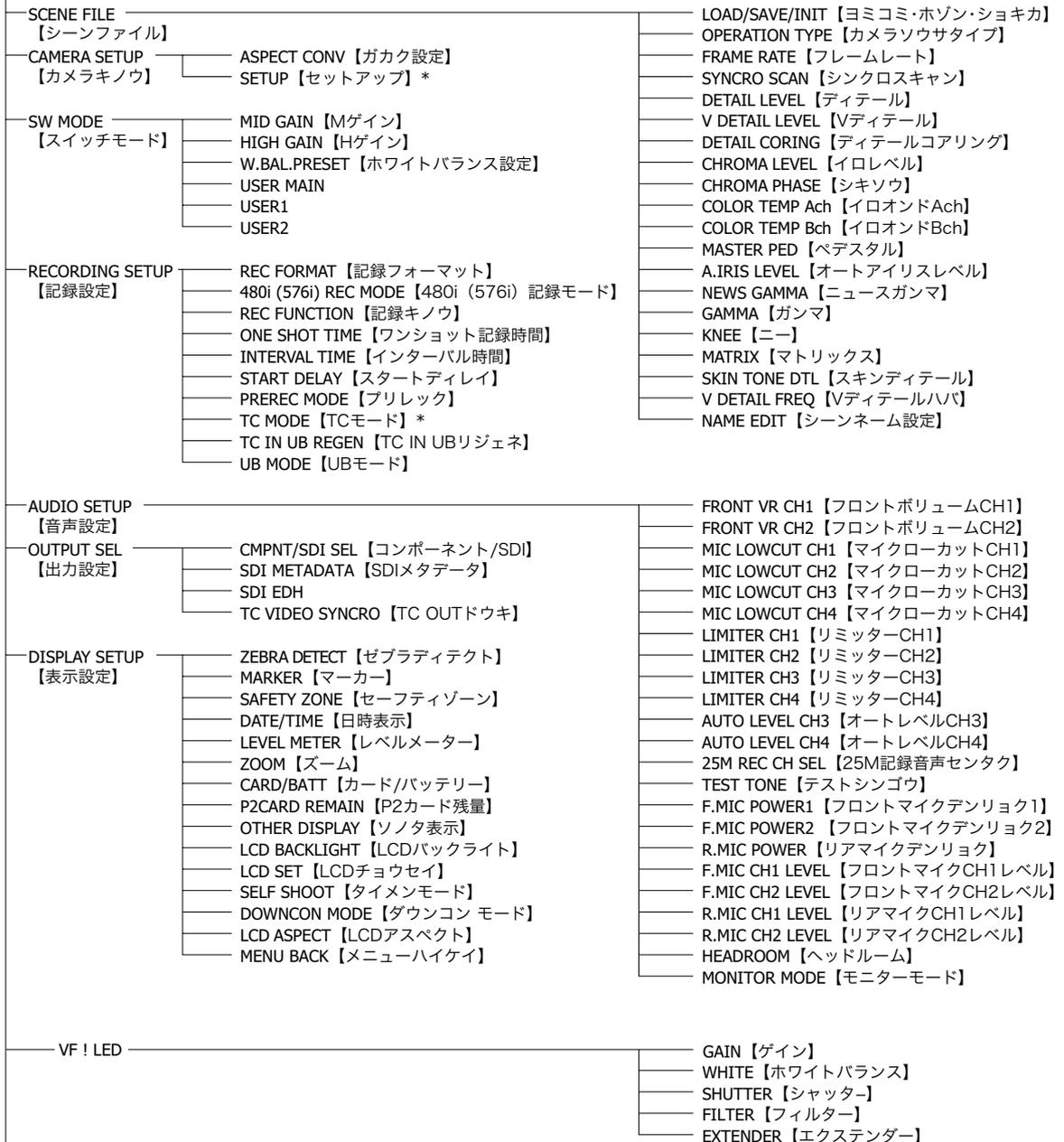
6つのシーンファイルのうち、初期化するファイルを選択してください。その後、SCENE FILE画面のLOAD/SAVE/INIT項目でINITIALを選択すると、選択したシーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- ・SCENE FILEダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

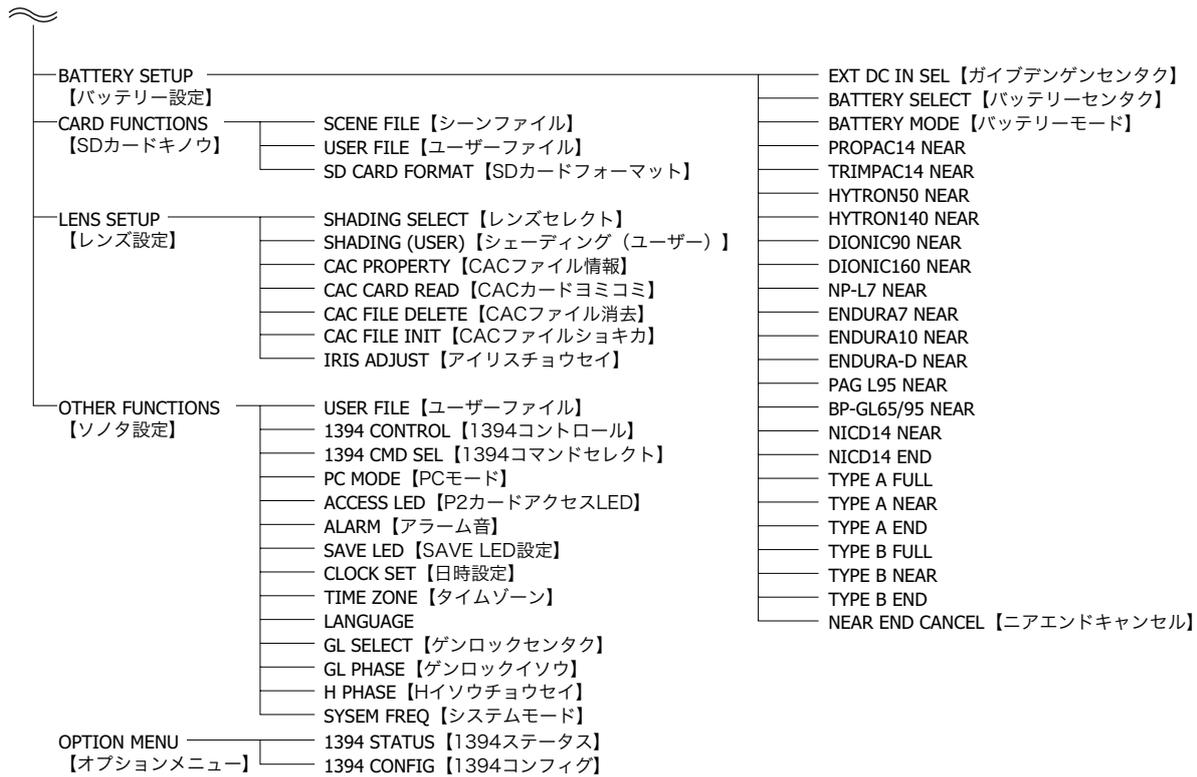
# 設定メニューの構成

## カメラ (CAM) モードの設定メニュー

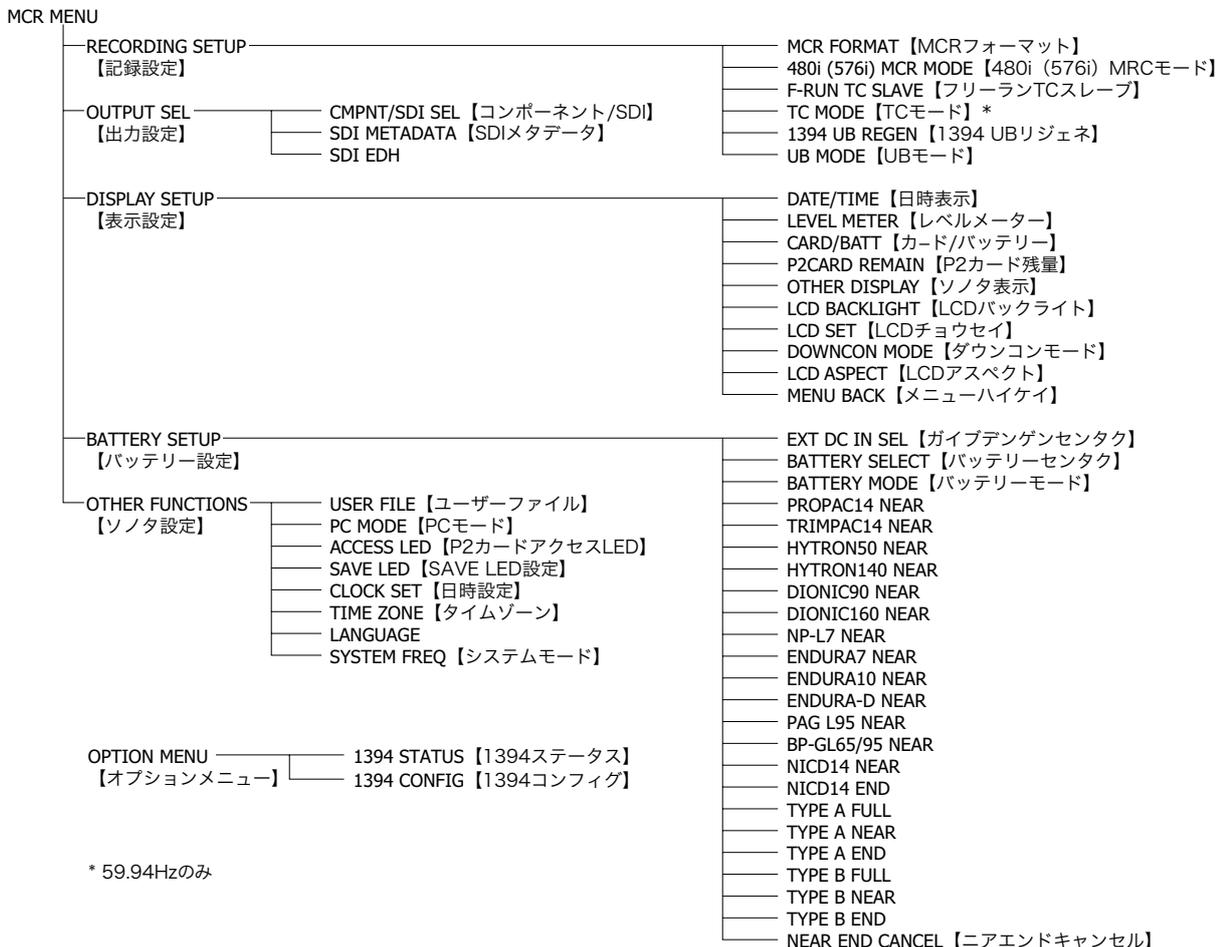
### CAMERA MENU



\* 59.94Hzのみ



## MCRモードの設定メニュー



\* 59.94Hzのみ

# メニューの一覧

## ■メニューで使用するマークについて

**CAM** : カメラモード時に設定できる項目です。

**MCR** : MCRモード時に設定できる項目です。

**CAM** / **MCR** : カメラモード、およびMCRモード時に設定できる項目です。

## SCENE FILE (シーンファイル) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
LOAD/SAVE/INIT <b>CAM</b>	シーンファイルの保存・読み込み・初期化を行います。 ●----(しない)/LOAD/SAVE/INITIAL
OPERATION TYPE <b>CAM</b>	シャッターやフレームレート動作をビデオ系、またはフィルム系に切り替えます。 ●VIDEO CAM: SYNCRO SCANは1/n、フレームレートはREC FORMATで固定、スローシャッター可、TC表示24PN以外は30フレーム(50Hzは25フレーム) ●FILM CAM: SYNCRO SCANは角度表示、フレームレートはFRAME RATEで可変、スローシャッター不可、TC表示は24表示固定(50Hzは25フレーム)
FRAME RATE <b>CAM</b>	720PのFILM CAM TYPE設定時に撮像の間隔、および露光時間を可変します。 DEFAULTでは、REC FORMATの720/60では60P固定に、720/30では30P固定に、720/24では24P固定になります。 ●59.94Hz SYSTEM DEFAULT/12/18/20/22/24/26/30/32/36/48/60 ●50Hz SYSTEM DEFAULT/12/18/20/23/25/27/30/32/37/48/50
SYNCRO SCAN <b>CAM</b>	テレビ画面を撮影するときなどに使用する、シンクロスキャンシャッタースピードを設定します。 ジョグダイヤルボタンを上方向や下方向に押したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。 ●OPERATION TYPE項目がVIDEO CAMの場合 ・60P/60i: 1/60.0~1/249.8 ・50P/50i: 1/50.0~1/248.9 ・30P/30PN: 1/30.1~1/48.0~1/249.8 ・25P/25PN: 1/25.0~1/48.0~1/248.9 ・24P/24PA/24PN: 1/24.0~1/48.0~1/249.8 ●OPERATION TYPE項目がFILM CAMの場合 ・180.0dのように角度で表示されます。 ・10.0deg~180.0deg~360.0deg(0.5度ステップで可変)
DETAIL LEVEL <b>CAM</b>	画像の輪郭補正(水平垂直の両方向)の強弱を設定します。 ●調整範囲: -7~0~+7
V DETAIL LEVEL <b>CAM</b>	画像垂直方向の輪郭補正の強弱を設定します。 ●調整範囲: -7~0~+7
DETAIL CORING <b>CAM</b>	ディテール信号のノイズを除去するレベルを設定します。 ●調整範囲: -7~0~+7 一方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。+方向にするとノイズが少なくなります。
CHROMA LEVEL <b>CAM</b>	クロマレベルを設定します。 ●調整範囲: -7~0~+7
CHROMA PHASE <b>CAM</b>	クロマ位相の微調整を行います。 ●調整範囲: -7~0~+7
COLOR TEMP Ach <b>CAM</b>	色温度の微調整(Achのホワイトバランス調整を行ったあとの微調整)を行います。 ●調整範囲: -7~0~+7
COLOR TEMP Bch <b>CAM</b>	色温度の微調整(Bchのホワイトバランス調整を行ったあとの微調整)を行います。 ●調整範囲: -7~0~+7
MASTER PED <b>CAM</b>	映像の基準とする黒のマスターペダスタルを設定します。 ●調整範囲: -100~0~+100
A. IRIS LEVEL <b>CAM</b>	AUTOアイリス目標値を設定します。 ●設定範囲: -10~0~+10
NEWS GAMMA* <b>CAM</b>	ニュースガンマカーブを設定します。(1080i/60i、50i、720/50P、50P、480/60i、576/50iのときのみ有効) ●ON/OFF

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
GAMMA* CAM	<p>ニュースガンマ以外のガンマカーブを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>HD NORM</b>: HD撮影に適したガンマ設定です。</li> <li>● <b>LOW</b>: 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着いた映像にします。コントラストは、シャープになります。</li> <li>● <b>SD NORM</b>: SD撮影時の標準的なガンマ設定です。</li> <li>● <b>HIGH</b>: 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストは、ソフトになります。</li> <li>● <b>B.PRESS</b>: LOWよりコントラストをよりシャープにします。</li> <li>● <b>CINELIKE D</b>: 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。</li> <li>● <b>CINELIKE V</b>: コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。</li> </ul> <p>CINELIKEガンマを選択したときは、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く (約1/2) してください。</p>
KNEE CAM	<p>白飛びを押さえるために、CCDが受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル (ニーポイント) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>LOW</b>: 低めの設定 (約80%から圧縮を開始)</li> <li>● <b>MID</b>: 中間の設定 (約90%から圧縮を開始)</li> <li>● <b>HIGH</b>: 高めの設定 (約100%から圧縮を開始)</li> </ul> <p>ガンマが有効で、CINELIKEガンマ設定時は設定変更できません。</p>
MATRIX CAM	<p>マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>NORM1</b>: 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行うときに適した色を表現します。</li> <li>● <b>NORM2</b>: NORMより鮮やかな色を表現します。</li> <li>● <b>FLUO</b>: 蛍光灯下の屋内で撮影を行うときに適した色を表現します。</li> <li>● <b>CINELIKE</b>: 映画感覚の撮影を行うときに適した色を表現します。</li> </ul>
SKIN TONE DTL CAM	<p>肌色ディテールをオン・オフします。ONに設定すると、肌色部分のディテールが減少し、よりなめらかな肌を表現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ON/OFF</b></li> </ul>
V DETAIL FREQ CAM	<p>480 24P、24PA 30P 576/25Pモードでのプログレッシブモードで撮影するときの垂直方向のディテールを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>THIN</b>: ディテールを細くします。</li> <li>● <b>MID</b>: ディテールを少し太くします。</li> <li>● <b>THICK</b>: ディテールを太くします。</li> </ul> <p>THINやMIDに設定してプログレッシブモードで撮影した映像を、通常のモニターテレビ (60i: インターレース) で再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線に、ちらつき感が生じます。プログレッシブの環境で再生する場合や編集等後処理を行う場合は、THINやMIDに設定することで、THICKに設定した場合よりも高解像度の映像が得られます。</p>
NAME EDIT CAM	<p>シーンファイルダイヤルで選択されているシーンファイルのファイル名を編集します。</p>

\* GAIN設定が18dBのとき、ガンマカーブはCINELIKE Vに固定されます。

## CAMERA SETUP (カメラキノウ) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
ASPECT CONV CAM	<p>480i/576i (SDモード) で記録する映像のアスペクト比を設定します。記録フォーマットが1080i、720Pのときは設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>SIDE CROP (サイドクロップ) / LETTER BOX / SQUEEZE</b></li> </ul>
SETUP (59.94Hz設定時のみ) CAM	<p>480iでの映像信号のセットアップレベルを設定します。再生時もSETUPメニューの設定が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>0%</b>: カメラ出力、記録上ともセットアップ0%になります。</li> <li>● <b>7.5%A</b>: ビデオ出力はセットアップ7.5%、D端子出力、SDI出力、および記録上はセットアップ0%になります。</li> </ul>

## SW MODE (スイッチモード) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
MID GAIN <b>CAM</b>	GAINスイッチのM位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 ●0dB/3dB/ <b>6dB</b> /9dB/12dB
HIGH GAIN <b>CAM</b>	GAINスイッチのH位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 ●0dB/3dB/6dB/9dB/ <b>12dB</b>
W.BAL.PRESET <b>CAM</b>	W.BAL. PRESETに割り当てる色温度を設定します。 ● <b>3.2K</b> /5.6K
USER MAIN <b>CAM</b>	USER MAIN ボタンに割り当てる機能を設定します。 ●REC CHECK: レックチェック ●SPOTLIGHT: スポットライト用のオートアイリス制御のON/OFF切り替え ●BACKLIGHT: 逆光補正用のオートアイリス制御 ●BLACKFADE: ブラックフェード ●WHITEFADE: ホワイトフェード ●GAIN:18dB: ・ボタンを押すと、ゲイン値を18dBに設定します。なお、記録フォーマットが60i、60P時のみ有効です。また、記録フレームレートが22fps以下のとき、およびスローシャッター (1/15) のときは無効になります。 ・ゲイン値を18dBに切り替えたときや、18dBからほかのゲイン値に切り替えたときは、画像が一瞬乱れることがあります。 ●TEXT MEMO: テキストメモ記録 ●SLOT SEL: P2カードスロットの選択 ●SHOT MARK: ショットマークを記録します。 ●LVL METER: 設定メニューで設定されたチャンネルと違うチャンネルのレベルを表示する ●MARKER: マーカーを表示する ●LCD REV: LCDの映像を上下左右反転表示する
USER1 <b>CAM</b>	USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。設定内容はUSER MAINと同じです。 (工場出荷時はBACKLIGHT)
USER2 <b>CAM</b>	USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。設定内容はUSER MAINと同じです。 (工場出荷時はLVL METER)

## RECORDING SETUP (記録設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
REC FORMAT <b>CAM</b>	P2カードの記録フォーマットを設定します。 ●59.94Hz系: 1080i/60i、1080i/30P、1080i/24P、1080i/24PA、 <b>720P/60P</b> 、720P/30P、720P/24P、720P/30PN、720P/24PN、480i/60i、480i/30P、480i/24PA ●50Hz系: <b>1080i/50i</b> 、1080i/25P、720P/50P、720P/25P、720P/25PN、576i/50i、576i/25P
480i (576i) REC MODE <b>CAM</b>	480i (576i) の記録モードを設定します。 SDモード記録時に有効になります。 ● <b>DVCPRO50</b> /DVCPRO/DV
REC FUNCTION <b>CAM</b>	特殊記録モードを設定します。 ● <b>NORMAL</b> /INTERVAL/ONE-SHOT/LOOP
ONE SHOT TIME <b>CAM</b>	ワンショット記録の記録時間を設定します。 ● <b>1F</b> /2F/4F/8F/16F/1s
INTERVAL TIME <b>CAM</b>	インターバル記録を行うときのインターバル時間 (INT) を設定します。 ● <b>2F</b> /4F/8F/16F/1s/2s/5s/10s/30s/1m/5m/10m
START DELAY <b>CAM</b>	インターバル記録、ワンショット記録でのSTART遅延時間を設定します。 ●ON/OFF
PREREC MODE <b>CAM</b>	プリレックを設定します。(HDでは3秒固定、SDでは7秒固定) ●ON/OFF
TC MODE (59.94Hz設定時のみ) <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録するときの、タイムコード補正モードを設定します。 ● <b>DF</b> : ドロップフレームモードを使用します。 ●NDF: ノンドロップフレームモードを使用します。 記録フォーマットの記録フレームレートを24P、24PA、24PNに設定しているときは、この項目の設定に関係なく、ノンドロップフレームモードになります。
TC IN UB REGEN <b>CAM</b>	TC IN端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するユーザーズビットを設定します。 ●ON: TC IN端子に入力されている信号のユーザーズビットで記録します。 ●OFF: <b>UB MODE</b> 項目で選択されているユーザーズビットで記録します。 ・この項目がONに設定された場合、UB MODE項目の設定よりも優先されます。 ・ユーザーズビット情報がない信号の場合は、ユーザーズビットを記録しません。 ・TC IN端子に信号が入力されていないときは、UB MODE項目の設定に従います。



項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
LIMITER CH1 <b>CAM</b>	CH1のリミッタをオン・オフします。 ● ON/OFF
LIMITER CH2 <b>CAM</b>	CH2のリミッタをオン・オフします。 ● ON/OFF
LIMITER CH3 <b>CAM</b>	CH3のリミッタをオン・オフします。 ● ON/OFF
LIMITER CH4 <b>CAM</b>	CH4のリミッタをオン・オフします。 ● ON/OFF
AUTO LEVEL CH3 <b>CAM</b>	CH3のレベル設定方法を設定します。 ● ON: CH3のレベルを自動制御する。 ● OFF: CH3のレベルをつまみで制御できるようにする
AUTO LEVEL CH4 <b>CAM</b>	CH4のレベル設定方法を設定します。 ● ON: CH4のレベルを自動制御する。 ● OFF: CH4のレベルをつまみで制御できるようにする
25M REC CH SEL <b>CAM</b>	DVCPRO、およびDVフォーマット時、記録するオーディオCHを設定します。 ● 2CH: CH1、CH2のみを記録します。 ● 4CH: 1～4チャンネルすべてを記録します。
TEST TONE <b>CAM</b>	テスト信号を設定します。 ● OFF: テストトーンOFF ● NORMAL: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに、AUDIO INスイッチのCH1をFRONT1に切り替えたとき、CH1/2/3/4にテストトーンを出力 ● ALWAYS: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに切り替えたとき、常にCH1/2/3/4にテストトーンを出力 ● CH SEL: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに切り替えたとき、AUDIO INスイッチのCH1がFRONT1、またはCH2がFRONTに設定されているチャンネル NORMAL/CH SELを設定時、AUDIO INスイッチCH1をFRONT2に切り替えてもテストトーンは出力されません。
F.MIC POWER1 <b>CAM</b>	フロントマイクCH1のファントム電源をオン・オフします。 ● ON/OFF
F.MIC POWER2 <b>CAM</b>	フロントマイクCH2のファントム電源をオン・オフします。 ● ON/OFF
R.MIC POWER <b>CAM</b>	リアマイクのファントム電源をオン・オフします。 ● ON/OFF
F.MIC CH1 LEVEL <b>CAM</b>	フロントマイクCH1の入力レベルを設定します。 ● -40dB/ <b>-50dB</b> / -60dB
F.MIC CH2 LEVEL <b>CAM</b>	フロントマイクCH2の入力レベルを設定します。 ● -40dB/ <b>-50dB</b> / -60dB
R.MIC CH1 LEVEL <b>CAM</b>	リアマイクCH1の入力レベルを設定します。 ● -50dB/ <b>-60dB</b>
R.MIC CH2 LEVEL <b>CAM</b>	リアマイクCH2の入力レベルを設定します。 ● -50dB/ <b>-60dB</b>
HEADROOM <b>CAM</b>	ヘッドルーム (基準レベル) を設定します。 ● 59.94Hz系: 18dB/ <b>20dB</b> ● 50Hz系: <b>18dB</b> /20dB
MONITOR MODE <b>CAM</b>	スピーカー、イヤホンの音声のディレイを設定します。 ● LIVE: 遅延なしの音声 ● RECORDING: 記録側 (ディレイした) 音声

## OUTPUT SEL (出力信号設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
CMPNT/SDI SEL <b>CAM</b> / <b>[MCR]</b>	D端子/SDI端子の種類を設定します。 ● 59.94Hz系: <b>AUTO</b> /1080i/480i ● 50Hz系: <b>AUTO</b> /1080i/576i AUTO設定の場合は、REC FORMATの設定に従います。
SDI METADATA <b>CAM</b> / <b>[MCR]</b>	SDI信号へのメタデータの重畳をオン・オフします。 ● ON/OFF
SDI EDH <b>CAM</b> / <b>[MCR]</b>	SD-SDI信号へのEDHの重畳をオン・オフします。 ● ON/OFF
TC VIDEO SYNCRO <b>CAM</b>	TCの出力遅延を設定します。 ● TC IN: <b>TC IN</b> を遅延なしで出力 ● VIDEO OUT: 出力映像の遅延に合わせて出力

## DISPLAY SETUP (表示設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
ZEBRA DETECT CAM	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 ● 50%/55%/60%/65%/70%/75%/ <b>80%</b> /85%/90%/95%/100%/105%
MARKER CAM	センターマーカの表示をオン・オフします。 ● ON/OFF ONに設定すると、センターマーカを表示することができます。また、輝度表示も行います。
SAFETY ZONE CAM	SAFETY ZONEを設定します。 ● OFF/ <b>90%</b> /4:3
DATE/TIME CAM / MCR	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定します。 ● OFF: <b>日付や時刻を表示しません。</b> ● TIME: 時刻を表示します。 ● DATE: 日付を表示します。 ● TIME&DATE: 日付と時刻を表示します。
LEVEL METER CAM / MCR	オーディオレベルメーターの表示をオン・オフします。 ● ON/OFF
ZOOM CAM	ズーム値の表示をオン・オフします。 ● ON/OFF 表示されるズーム値はZ00からZ99
CARD/BATT CAM / MCR	カード残量とバッテリー残量の表示をオン・オフします。 ● ON/OFF
P2CARD REMAIN CAM / MCR	P2メモリーカードの記録残量表示内容を設定します。 ● <b>TOTAL: 複数枚トータルの残量を表示</b> ● ONE-CARD: 現在記録しているカードの残量を表示
OTHER DISPLAY CAM / MCR	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報量を設定します。 ● OFF/ <b>PARTIAL</b> /ALL
LCD BACKLIGHT CAM / MCR	液晶モニターのバックライトを調整します。HIGHに設定すると、通常より明るくなります。 ● HIGH/ <b>NORMAL</b>
LCD SET CAM / MCR	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。 ● LCD COLOR LEVEL、LCD BRIGHTNESS、LCD CONTRAST 設定すると、それぞれの設定値を左右カーソルキーで変更できます。
SELF SHOOT CAM	対面撮影を行うときに、液晶モニターのミラー機能を設定します。MIRRORに設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。 ● <b>NORMAL</b> /MIRROR
DOWNCON MODE CAM / MCR	ダウンコン出力のモードを設定します。 ● SIDE CROP: サイドクロップ ● <b>LETER BOX: レターボックス</b> ● SQUEEZE: スクイーズ
LCD ASPECT CAM / MCR	液晶モニターのアスペクトを設定します。RECフォーマットがSDフォーマットのときに動作します。 ● <b>AUTO: 記録モード、再生モードなどの情報をもとに、自動的に切り替えます。</b> ● 4:3:4:3の画角に設定します。 16:9表示は、画面上下に黒帯が表示されますが、映像は欠けません。
MENU BACK CAM / MCR	設定メニューのとき、バックグラウンドの透過率を下げ、文字を際立たせるかどうかを設定します。 ● ON: バックグラウンド透過率を下げる。ただしシンクロスキャンページとLCD SETページは除く ● OFF: <b>バックグラウンド透過率 100%</b>

## VF ! LED (ビューファインダー表示設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
GAIN CAM	ビューファインダー内の!マークLEDの点灯条件 (ゲインの値) を設定します。 ● <b>w/o0dB: 0dB</b> 以外 ● OFF: 点灯しない
WHITE CAM	ビューファインダー内の!マークLEDの点灯条件 (ホワイトバランスの値) を設定します。 ● PRST: プリセット ● OFF: 点灯しない
SHUTTER CAM	ビューファインダー内の!マークLEDの点灯条件 (シャッターの状態) を設定します。 ● ON/OFF
FILTER CAM	ビューファインダー内の!マークLEDの点灯条件 (フィルターの状態) を設定します。 ● NG: 異常 ● No1: No1 ● w/oNo1: No1 以外 ● OFF: 点灯しない
EXTENDER CAM	ビューファインダー内の!マークLEDの点灯条件 (エクステンダーの状態) を設定します。 ● ON/OFF

# BATTERY SETUP (バッテリー設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
EXT DC IN SEL CAM / MCR	外部DC電源の種類を設定します。 ● AC ADPT: ACアダプター ● BATTERY: バッテリー
BATTERY SELECT CAM / MCR	バッテリーのタイプを設定します。 ● PROPAC14/TRIMPAC14/HYTRON50/HYTRON140/DIONIC90/DIONIC160/NP-L7/ ENDURA7/ENDURA10/ENDURA-D/PAG L95/BP-GL65/95/NICD14/TYPE A/TYPE B
BATTERY MODE CAM / MCR	ニアエンドを設定します。 ● AUTO: BATTERY SELECT で選択した下記バッテリーで、自動に設定されます。 PROPAC14、TRIMPAC14、HYTRON50、HYTRON140、DIONIC90、DIONIC160、NP-L7、 ENDURA7、ENDURA10、ENDURA-D、PAG L95、BL-GL65/95 ● MANUAL: ニアエンド電圧を手動で設定します。
PROPAC14 NEAR CAM / MCR	PROPAC14のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.9</b> ~ 15.0
TRIMPAC14NEAR CAM / MCR	TRIMPAC14のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.6</b> ~ 15.0
HYTRON50 NEAR CAM / MCR	HYTRON50のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.7</b> ~ 15.0
HYTRON140 NEAR CAM / MCR	HYTRON140のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.1</b> ~ 15.0
DIONIC90 NEAR CAM / MCR	DIONIC90のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.5</b> ~ 15.0
DIONIC160 NEAR CAM / MCR	DIONIC160のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.0</b> ~ 15.0
NP-L7 NEAR CAM / MCR	NP-L7のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.3</b> ~ 15.0
ENDURA7 NEAR CAM / MCR	ENDURA7のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.4</b> ~ 15.0
ENDURA10 NEAR CAM / MCR	ENDURA10のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.3</b> ~ 15.0
ENDURA-D NEAR CAM / MCR	ENDURA-Dのニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.5</b> ~ 15.0
PAG L95 NEAR CAM / MCR	PAG L95のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.5</b> ~ 15.0
BP-GL65/95 NEAR CAM / MCR	BP-GL65/95のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.3</b> ~ 15.0
NICD14 NEAR CAM / MCR	NICD14のニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.9</b> ~ 15.0
NICD14 END CAM / MCR	NICD14のエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.5</b> ~ 15.0
TYPE A FULL CAM / MCR	TYPE Aのフル電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 12.0 ~ <b>15.7</b> ~ 17.0
TYPE A NEAR CAM / MCR	TYPE Aのニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.5</b> ~ 15.0
TYPE A END CAM / MCR	TYPE Aのエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>12.8</b> ~ 15.0
TYPE B FULL CAM / MCR	TYPE Bのフル電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 12.0 ~ <b>16.0</b> ~ 17.0
TYPE B NEAR CAM / MCR	TYPE Bのニアエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>13.1</b> ~ 15.0
TYPE B END CAM / MCR	TYPE Bのエンド電圧を設定します。(0.1V単位で調整できます) ●調整範囲: 11.0 ~ <b>12.5</b> ~ 15.0
NEAR END CANCEL CAM / MCR	バッテリーニアエンド警告のキャンセルを設定します。 ● ON/OFF ONに設定したときは、DISP/MODE CHK ボタンを押すことで、アラーム・タリールンプの点滅を止めることができます。

## CARD FUNCTION (SDメモリーカード設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
SCENE FILE <b>CAM</b>	SDメモリーカードへシーンファイルの読み書きをします。 ● READ: SDメモリーカードに保存されたシーンファイル (1~4) の設定値を選択して読み出す ● WRITE: SDメモリーカードに現在のシーンファイル (1~4) の設定値を保存する ● TITLE RELOAD: タイトル一覧を更新する
USER FILE <b>CAM</b>	SDメモリーカードへユーザーファイル (SCENE FILE以外の項目) の読み書きをします。 ● READ: SDメモリーカードに保存されたユーザーファイル (1~4) の設定値を読み出す ● WRITE: SDメモリーカードに現在のユーザーファイル (1~4) の設定値を保存する ● TITLE RELOAD: タイトル一覧を更新する
SD CARD FORMAT <b>CAM</b>	SDメモリーカードをフォーマットします。 ● ----: しない ● YES: する

## LENS SETUP (レンズ設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
SHADING SELECT <b>CAM</b>	シェーディング補正のパラメーターを設定します。 ● <b>DEFAULT</b> : 標準レンズの設定 ● USER1: ユーザー設定1 ● USER2: ユーザー設定2 ● USER3: ユーザー設定3 ● OFF: シェーディング補正OFF
SHADING (USER) <b>CAM</b>	SHADING SELECTのUSER1、2、3にシェーディングパラメーターを設定します。 ● ----: しない ● YES: する SHADING SELECTがDEFAULT、またはOFFのときは無効です。
CAC PROPERTY <b>CAM</b>	現在、使用しているCACファイルの番号、および本体読み込み済みのCACファイルの情報を表示します。 ● ----: しない ● YES: する
CAC CARD READ <b>CAM</b>	SDメモリーカードからCACファイルを読み込みます。 ● ----: しない ● YES: する
CAC FILE DELETE <b>CAM</b>	本体に読み込み済みのCACファイルの一覧を表示し、その内から選択したものを削除します。 ● ----: しない ● YES: する
CAC FILE INIT <b>CAM</b>	本体に読み込み済みのCACファイルを工場出荷時のCACファイルに初期化します。 ● ----: しない ● YES: する
IRIS ADJUST <b>CAM</b>	アイリスを強制的に設定します。 ● <b>OFF</b> /F2.8/F16

## OTHER FUNCTIONS (その他の設定) 画面

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
USER FILE <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	本体側保存領域 (EEPROM) へのユーザーファイルのセーブ、ロード、初期化を行います。 ● ----: しない ● LOAD: 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 ● SAVE: 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 ● INITIAL: ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 ・LOADやINITIALを行ったときは、設定値を有効にするために、本機を一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。 ・INITIALを実行しても、TIME_ZONE項目の設定は変更されません。
1394 CONTROL <b>CAM</b>	1394端子にバックアップ用の機器を接続して、バックアップ撮影を行う場合の制御方法を設定します。 ● <b>OFF</b> : バックアップ用の機器を制御しません。 ● EXT: REC START/STOPボタンで、バックアップ用の機器を制御します。本機で撮影している映像を、バックアップ用の機器で記録します。ただし、本機は記録動作を行いません。 ● BOTH: 本機で撮影している映像を、本機とバックアップ機器の両方で記録します。 ● CHAIN: 撮影中に本機のメディアが終端付近になると、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。 BOTH設定時、ダイレクト撮影 (MCRモード時にREC START/STOPボタンを押すと自動的にカメラモードに切り替わり撮影する機能) を行うと、本機は記録しますがバックアップ用の機器は記録に入りません。

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
1394 CMD SEL <b>CAM</b>	本機のREC START/STOPボタンを押したときに、バックアップ用の機器が行う記録動作を設定します。 ●REC_P: 記録と記録一時停止に切り替わります。 ●STOP: 記録と停止に切り替わります。 バックアップ用の機器に、記録一時停止の機能がない場合は、STOPを選択してください。
PC MODE <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	データ転送に使用する端子を設定します。(USBと1394の同時使用はできません) ●USB DEVICE: USB端子を使ったファイル転送モード ●1394DEVICE: 1394端子を使ったファイル転送モード ●1394HOST: 1394端子を使ってP2カードから外部HDDにファイルをコピーするモード
ACCESS LED <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	アクセスLEDをオン・オフします。L-SIDEはP2カードスロット側です。(ON: 通常通りの仕様で点灯/点滅、OFF: 常に消灯にする) ●OFF: L-SIDE: OFF・R-SIDE: OFF ●SLOT SIDE: L-SIDE: ON・R-SIDE: OFF ●LCD SIDE: L-SIDE: OFF・R-SIDE: ON ●BOTH: L-SIDE: ON・R-SIDE: ON
ALARM <b>CAM</b>	ALARM機能をオン・オフします。 ●ON/OFF
SAVE LED <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	SAVEランプの動作を設定します。 ●SAVE: SAVE/STBYスイッチをSAVEにしたときに点灯します。 ●P2CARD: P2カード残量が少なくなったとき、警告表示に連動して点滅します。
CLOCK SET <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	内蔵カレンダーを設定します。 ●----: しない ●YES: する
TIME ZONE <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	GMTに対して、-12:00から+13:00まで30分単位(ただし+12:45はあり)で設定します。 ●+9:00
LANGUAGE <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	設定メニュー表示言語を設定します。 ●ENGLISH: 英語 ●JAPANESE: 日本語 ●CHINESE: 中国語
GL SELECT <b>CAM</b>	ロックをどこにかけるか設定します。 ●SDI/COMPOSITE
GL PHASE <b>CAM</b>	90Hシフトをオン・オフします。 ●ON/OFF
H PHASE <b>CAM</b>	位相を調整します。 ●-512~0~+511
SYSTEM FREQ <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	システム周波数を設定します。 ●59.94Hz/50Hz

## OPTION MENU (オプションメニュー) 画面

DISP/MODE CHKボタンを押したままにして、撮影状態の内容が表示されてから、フロントのMENUボタンを押すと表示されます。ノンリニア編集時に接続状態を確認するときに使用します。

項目	設定内容 (太字は工場出荷値)
1394 STATUS <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	1394状態表示サブ画面が表示されます。 ●FORMAT: 入力、もしくは出力されている信号のフォーマット ●RATE: 入力、もしくは出力されている信号の転送レート ●60/50: 入力、もしくは出力されている信号の方式 ●CH: 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 ●SPEED: 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 ●STATUS: IEEE1394デジタルインターフェースで入力、もしくは出力されている信号の状態 ●VIDEO: 入力、もしくは出力されるビデオ信号の状態 ●AUDIO: 入力、もしくは出力されるオーディオ信号の状態
1394 CONFIG <b>CAM</b> / <b>MCR</b>	1394拡張用メニューが表示されます。 ●DFLT (通常はこのままでご使用ください) /1-255

# 第8章 外部機器との接続

## USB2.0 端子経由で外部機器と接続 (PCモード)

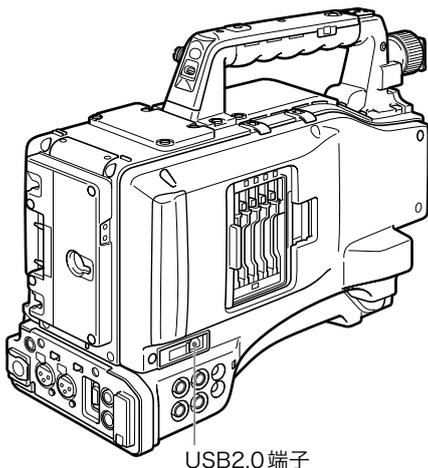
外部パソコンなどとUSB2.0で接続することにより、本機に接続されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。

### パソコンとの接続手順

#### 1 USB2.0 端子にUSBケーブルを接続する

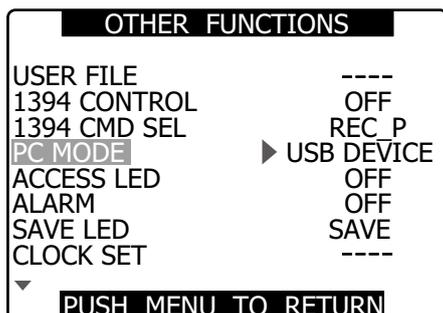
##### [NOTE]

- ・本機にUSB2.0ケーブルは同梱されていません。市販のUSB2.0対応ケーブル（シールド、およびフェライトコア付き）をご用意ください。
- ・USBケーブルの長さは5mまで対応していますが、なるべく3m以内のケーブルのご使用をおすすめします。



#### 2 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のPC MODE項目をUSB DEVICEに設定する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照



#### 3 MENUボタンを押して、メニュー操作を解除する

#### 4 MODEボタンを押して、MCRモードLEDを点灯させ、さらに長押しする

- ・PCモードLEDが点灯し、PCモードになります。

#### 5 パソコンで編集を行う

- ・詳しくは、パソコン側の編集ソフトの説明を参照してください。

USB接続を初めて行うときには、本機付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。インストールのときにUSBドライバーは、AG-HPX500を選択してください。

詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

##### [NOTE]

- ・パソコンにはUSB専用ドライバーをインストールする必要があります。
- ・本機は、USB2.0にのみ対応しています。USB2.0対応のパソコンをご使用ください。
- ・パソコンとUSB接続する場合は本機1台のみにしてください。
- ・USBを接続して使用するときは、P2カードを抜かないでください。
- ・USB接続中は、P2カードアクセスLEDは、アクセス中以外は消灯します。
- ・PC MODE項目をUSB DEVICEにすると、記録・再生動作やクリップのサムネール操作はできません。
- ・ケーブルを抜くときは、パソコンで“ハードウェアの安全な取り外し”を行ってください。

・USB接続状態中は、CONNECTが点灯します。また、ビューファインダー画面の中央にUSB DEVICEと表示されます。

・なお、正常に接続できていない場合はDISCONNECT表示になります。

#### 6 PCモードを終了するには、POWERスイッチをOFFにする

# 1394 端子経由で外部機器と接続 (PC モード)

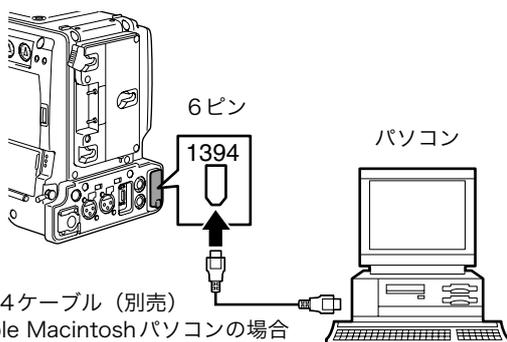
外部パソコンやHDD(ハードディスク)などとIEEE1394で接続することにより、本機に接続されたP2カードをマスタストレージとして扱うことができます。

## パソコンとの接続手順

### 1 1394 端子にIEEE1394 ケーブルを接続する

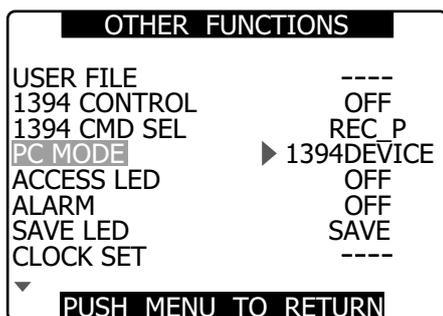
#### 【NOTE】

- ・本機にIEEE1394ケーブルは同梱されていません。市販のケーブルをご用意ください。
- ・Apple Mac OSX 10.3以上を搭載しているパソコンでご使用ください。
- ・Windowsでの動作は保証しません。
- ・ケーブル端子の向きに注意して接続してください。



### 2 設定メニューのOTHER FUNCTION画面のPC MODE項目を1394DEVICEに設定する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照



### 3 MENUボタンを押して、メニュー操作を解除する

### 4 MODEボタンを押して、MCRモードLEDを点灯させ、さらに長押しする

- ・PCモードLEDが点灯し、PCモードになります。

### 5 パソコンで編集を行う

- ・詳しくは、パソコン側の編集ソフトの説明を参照してください。

#### 【NOTE】

- ・IEEE1394を接続して使用するときには、P2カードを取り出さないでください。
- ・カードを入れ替える場合、ドライブアイコンをゴミ箱に入れてから抜いてください。
- ・1394ケーブルを抜くときは、すべてのドライブアイコンをゴミ箱に入れてから、本機で1394DEVICE-DISCONNECTと表示されたことを確認して、ケーブルを抜いてください。
- ・PC MODE項目を1394DEVICEにすると、記録・再生動作やクリップのサムネール操作はできません。
- ・パソコンからP2カードへのデータ保存はできません。

IEEE1394接続状態中は、ビューファインダー画面の中央に1394DEVICE CONNECTと表示されます。なお、正常に接続できていない場合はDISCONNECT表示になります。

### 6 PCモードを終了するには、POWERスイッチをOFFにする

## HDD (ハードディスク) との接続手順

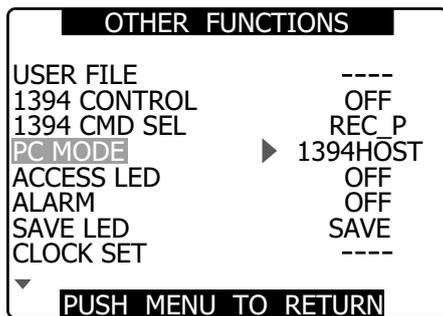
### [NOTE]

- ・コピーに十分な容量のHDD (ハードディスク) をご使用ください。
- ・HDDを本機用にフォーマットしてから行います。HDD内のすべてのデータは消去されますので、ご注意ください。
- ・本機と1台のHDDを1394ケーブルで接続してください。
- ・電源ONになっていないHDDでも、複数台の接続(チェーン、ハブなど)は行わないでください。

**1** 接続するHDD (1394.a SBP2対応) を電源ONにし、IEEE1394ケーブルで接続したあと、本機のPOWERスイッチをONにする

**2** 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面のPC MODE項目を1394HOSTに設定する

→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

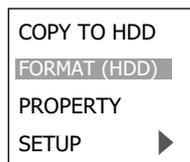


**3** MENUボタンを押して、メニュー操作を解除する

**4** MODEボタンを押して、MCRモードLEDを点灯させ、さらに長押しする  
・PCモードLEDが点灯し、PCモードになります。

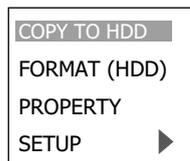
**5** HDDをフォーマットしていない場合のみ、カーソルボタンでFORMAT(HDD)を選び、SETボタンを押す

- ・その後、ボタンでYESを選び、SETボタンを押してください。
- ・フォーマットが始まります。(フォーマットは約2~3秒程度で終了します。)



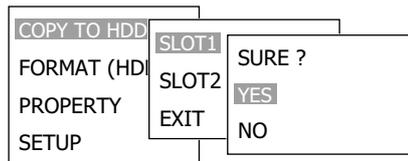
**6** フォーマットが終了したら、カーソルボタンでCOPY TO HDDを選び、SETボタンを押す

- ・HDDへのコピーはカード単位で行われます。



**7** カーソルボタンでカードスロットを選び、SETボタンを押す

- ・その後、カーソルボタンでYESを選び、SETボタンを押すと、コピーが始まります。
- ・1台のHDDにつき15回までコピーできます。



**8** コピーが終了したら、POWERスイッチをOFFにする

## HDDにコピーした内容を確認するには

手順4のあと、カーソルボタンでPROPERTYを選び、SETボタンを押すと、HDDの中身が表示されます。

- ・各項目の詳細を見るには、カーソルボタンで項目を選び、SETボタンを押してください。

## HDDへのコピー時にベリファイ（データ検査）を行うには

手順4のあと、カーソルボタンでSETUP項目のVERIFY項目から、YESを選ぶ。

- ・ベリファイ中に処理を中断しても、P2カードのコピーは終了しています。

### 【NOTE】

- ・HDDからP2カードへのコピーはできません。
- ・HDDは下記の条件でご使用ください。
  - ・1394バス以外から電力を供給する。（本機からは供給されません）
  - ・HDDを本機用にフォーマットしてもよい。
  - ・HDDの動作保証範囲内（温度など）で使用する。
  - ・HDDを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ・HDDによっては正しく動作しない場合があります。
- ・フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、P2カードを取り出したり、本機やHDDの電源OFFにしないでください。一度電源OFFにしたあと、再度ONにする必要があります。
- ・HDD（1394.a SBP2対応）を接続せずに1394HOSTモードに入り、HDDを接続した場合の動作は保証されません。いったん電源を切り、1394HOSTモードを解除してください。
- ・HDDは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。HDDの故障、または何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本機からのコピーに使用しているHDDをほかのパソコンなどで置き替えた場合、以後の本機での動作、およびHDDのデータは保証できません。
- ・不良クリップが含まれるP2カードは、事前に修復してからコピーすることをおすすめします。
- ・コピー、フォーマットなどに支障がないよう、安定した電源での使用をおすすめします。

## 警告表示について

- ・ **HDD CAPACITY FULL!**  
HDDの空き容量が足りません。
- ・ **TOO MANY PARTITIONS!**  
パーティションが多すぎます。
- ・ **HDD DISCONNECTED!**  
HDDとの接続が切断されました。
- ・ **CANNOT INITIALIZE!**  
初期化できません。
- ・ **TOO MANY TARGETS!**  
1394の接続先が多すぎます。
- ・ **CANNOT ACCESS TARGET!**  
接続先にアクセス出来ません。
- ・ **CANNOT ACCESS CARD!**  
カードへアクセスできません。
- ・ **MISMATCH COMPONENT!**  
接続先と整合がとれません。
- ・ **UNKNOWN DEVICE CONNECTED!**  
HDD以外のデバイスが接続されました。
- ・ **P2 CARD IS UNFORMATTED!**  
未フォーマットのP2カードです。
- ・ **CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!**  
P2カードにコンテンツがないのでコピーできません。
- ・ **VERIFICATION FAILED!**  
ベリファイで不一致が発見されました。
- ・ **TURN POWER OFF!**  
電源OFFにしてください。
- ・ **CANNOT RECOGNIZE HDD!**  
HDDの認識に失敗しました。

# 1394 端子経由での DVCPRO/DV 接続

## 1394 端子に入力された DVCPRO/DV 信号の記録

- 1 1394 ケーブルを接続する  
→ 「1394 接続時のご注意」(138 ページ) 参照  
・ 接続先の機器と本機の信号フォーマットが同じであることを確認します。

- 2 IEEE1394 インターフェースから入力する場合、MCR モードにしてサムネールを OFF にする

### [NOTE]

- ・ 設定メニューの MCR FORMAT 項目と 480i (576i) MCR MODE 項目で設定したフォーマットと同じ信号を、IEEE1394 インターフェースから入力してください。フォーマットが異なる場合、正しく P2 カードに記録されません。通常の 1 倍速再生以外の再生信号を入力したときは、記録される映像や音声、または EE 系の画像と音声は保証されません。  
→ 「エラー表示」(75 ページ) 参照
- ・ オーディオ信号の入力は、1394 端子からの入力信号になります。
- ・ IEEE1394 インターフェースから入力されるオーディオ信号が 32kHz/4CH (12bit) の場合、48kHz/4CH (16bit) として P2 カードに記録されます。
- ・ GENLOCK IN 端子を使って、外部の基準信号に同期させることはできません。
- ・ VIDEO OUT 端子、または AUDIO OUT 端子から出力される信号は、実際の入力信号と異なります。モニター用として使用してください。
- ・ 下記の機能は動作しません。
  - ・ プリレック機能
  - ・ ループレック機能
  - ・ インターバル記録、ワンショット記録機能
- ・ 設定メニューの MCR FORMAT 項目を 720P/24PN、30PN、25PN に設定しているときは、1394 インターフェースからの入力は受け付けません。

### タイムコードとユーザズビット

- ・ IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、TC IN 端子から入力されるタイムコードやユーザズビットを P2 カードに記録することはできません。
- ・ IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、TC OUT 端子から出力されるタイムコードは、VIDEO OUT 端子から出力される映像信号と同期していません。

### サブコード領域のタイムコードとユーザズビット

- ・ IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合と TCG スイッチを F-RUN の位置にし、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の F-RUN TC SLAVE 項目を 1394 に設定している場合は、1394 端子から入力されているサブコード領域のタイムコードを P2 カードに記録することができます。
- ・ 1394 端子から入力されているユーザズビットを P2 カードに記録する場合は、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の 1394 UB REGEN 項目を ON に設定してください。

### VAUX 領域のタイムコードとユーザズビット

IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、本機の設定メニューやスイッチの位置に関わらず、常に 1394 端子から入力されている VAUX 領域のタイムコードとユーザズビットを P2 カードに記録します。

### UMID (Unique Material Identifier) 情報の記録

IEEE1394 インターフェースからの入力を選択している場合、1394 端子から入力されている UMID 情報を P2 カードに記録します。UMID 情報が存在しない場合は、本機で生成して記録します。  
また、本機が DV モードで動作しているときは、UMID 情報が記録されません。

## 1394接続による外部機器制御

1394端子に、バックアップ記録用の外部機器を接続して、記録開始/停止の制御を行うことができます。

- 1 1394ケーブル (DVケーブル) を接続する  
→「1394接続時のご注意」(138ページ) 参照  
・設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面の1394 CONTROL項目をBOTHに設定します。

- 2 設定メニューのOTHER FUNCTIONS画面の1394 CMD SEL項目で外部機器が受け取る記録停止コマンドの種類を設定する  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ) 参照

### 【NOTE】

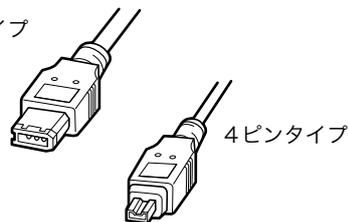
- ・本機をREC RUN設定にした状態で、外部機器を接続してバックアップ記録を行っている場合、本機に挿入したP2カードの容量がなくなったまま記録を継続すると、1394端子から出力されるタイムコードの歩進が停止したままになりますのでご注意ください。
- ・記録開始→停止→記録開始の操作を素早く行くと、外部機器側にてバックアップ記録されないことがあります。

## 1394接続時のご注意

- ・本機から電源は、供給されません。
- ・1394ケーブルを接続する場合は、下記のことを必ずお守りください。
  - ・ほかの機器とは、1対1で接続してください。
  - ・1394端子に1394ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
  - ・エラー (1394INITIAL ERROR) が表示される場合は、1394ケーブルを差し直すか、本機の電源を一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。
  - ・本機ならびに接続するすべての機器は接地(アース)した状態 (または共通のGNDに接続した状態) でご使用ください。接地できない場合は、まず接続されたすべての機器の電源OFFにしてから、1394ケーブルの抜き差しを行ってください。
  - ・4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続する場合は、本機の端子 (6ピン型) を先に接続してください。

- ・6ピン型の端子の付いたパソコンと接続する場合は、1394ケーブルを1394端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながりますのでご注意ください。

6ピンタイプ



- ・接続された機器の電源ON/OFF、およびI/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- ・入力信号の切り替え時やモード移行のときに、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定したあとに、記録動作を行ってください。
- ・IEEE1394インターフェース入力選択で記録する場合、またはIEEE1394インターフェースで出力される信号に対してはAUDIO LEVELボリュームは動作しません。
- ・パソコン等のアプリケーションソフトウェア (編集ソフト) で本機を制御する場合、下記のことにご注意してください。
  - ・クリップの任意の位置につなぎ撮りを行うことはできません。常に、最新のクリップの後ろに連続してつなぎ撮りが行われます。
  - ・本機のサムネール画面を閉じた状態で使用してください。サムネール画面が開いた状態では、アプリケーションソフトウェアで正しく制御できません。
  - ・特殊再生時には、IEEE1394インターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されません。これらのビデオ、オーディオ信号をほかの機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。
  - ・出力データのフォーマットが、DVまたはDVCPRO (25M) の場合は、CH1とCH2のオーディオチャンネルの信号がIEEE1394インターフェースから出力されます。

# 第9章 保守・点検

## 撮影前の点検

撮影する前に下記の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

### 点検の準備

1 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

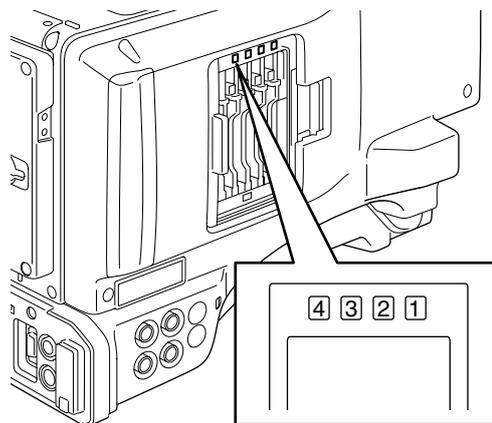
2 POWERスイッチをONにし、ビューファインダー画面のバッテリー残量表示を確認する

- ・バッテリー残量が少ないときは、十分に充電したバッテリーと交換してください。

TEXTMEMO	
23:59:59	
T	13.5V
9 9	

3 P2カードをカードスロットに挿入し、スライドとびらを閉める

- ・P2カードを挿入したカードスロットのP2カードアクセスLEDが、オレンジ色に点灯したか確認します。複数のカードスロットにP2カードを挿入した場合、最初に挿入した（最初にアクセスが完了した）P2カードのP2カードアクセスLEDのみがオレンジ色に点灯し、それ以降に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDは、緑色に点灯します。
- ・P2カードを挿入したP2カードスロットのP2カードアクセスLEDが緑色に点滅したまま、または消灯している場合、そのP2カードに記録することはできません。



## カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認する
  - ・画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認する
  - ・手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認する
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認する
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認する
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて下記の項目を確認する
  - ・設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
  - ・設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常に働くことを確認する

## メモリー記録部の点検

「P2カード記録の点検」から「イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

### P2カード記録の点検

- 1 ビューファインダー画面の表示で、P2カードの記録残量が充分か確認する
  - 「P2カードの状態表示」(116ページ)参照
- 2 TCGスイッチをR-RUNにする
- 3 COUNTERボタンをTCにする
- 4 REC START/STOPボタンを押し、下記の項目を確認する
  - ・P2アクセスLEDがオレンジ色に点滅する。
  - ・ビューファインダー画面のRECランプが点灯する。
  - ・ビューファインダー画面にSYSTEM警告が表示されない。
- 5 REC START/STOPボタンをもう一度押す
  - ・P2アクセスLEDがオレンジ色の点灯になり、ビューファインダー画面のRECランプが消えることを確認します。
- 6 ハンドル部のREC START/STOPボタンを使って、4～5と同じ動作を確認する
  - ・レンズのVTRボタンについても同様に確認します。
- 7 MCRモードに切り替え、サムネールより今撮影したクリップを再生する
  - ・記録・再生が正常に動作することを確認します。
- 8 P2カードを複数、P2カードスロットに挿入している場合は、SLOT SELを割り当てたUSERボタンを押し、記録対象のP2カードを切り替える
  - ・4～5、7の操作を行い、記録・再生が正常に動作することを確認します。

## 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをAUTOにする
- 2 AUDIO INスイッチをFRONTにする
- 3 MIC IN端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH1/CH2両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認する

## 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO INスイッチをFRONTにする
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチをMANにする
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを回す  
・右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。
- 4 設定メニューのAUDIO SETUP画面のAUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目をOFFに設定する  
→メニュー操作については、「設定メニューの基本操作」(120ページ)参照
- 5 MONITOR SELECTスイッチをCH3/CH4にしてAUDIO LEVEL CH3/CH4つまみを回す  
・右に回すとレベル表示が増えることを確認します。

## イヤホン、スピーカーの点検

- 1 MONITORつまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認する
- 2 イヤホンをPHONES端子に接続する  
・スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3 MONITORつまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認する

## 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクをREAR1、REAR2端子に接続する
- 2 AUDIO INスイッチをREARにする
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じてMICと+48Vに切り替える  
・MIC: 内部電源供給方式のマイク  
・+48V: 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、ビューファインダー/LCD画面の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認する  
・1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

## 時計、タイムコード、ユーザーズビットに関する点検

**1** 必要に応じてユーザーズビットを設定する  
→「ユーザーズビットの設定」(62ページ)  
参照

**2** タイムコードを設定する  
→「タイムコードの設定」(64ページ) 参照

**3** TCGスイッチをR-RUNにする  
・COUNTER ボタンを押して、ビューファイン  
ダー/LCD画面にTCを表示させます。

**4** REC START/STOP ボタンを押す  
・記録が開始するとともに、カウンター表示部  
の数値が変わることを確認します。

**5** 再度、REC START/STOP ボタンを押す  
・記録が停止し、カウンター表示部の数値が変  
わらなくなることを確認します。

**6** TCGスイッチをF-RUNにする  
・カウンター表示部の数値が、記録に関係なく  
変わることを確認します。

**7** DISP/MODE CHK ボタンを押し続け、ビ  
ューファインダー/LCD画面に表示される  
日付と時刻を確認する  
・DATE、TIME、タイムゾーンが正確でない場  
合は、日付/時刻を正しく設定してください。  
→「内蔵時計の日付/時刻の設定」(29ページ)  
参照

**【NOTE】**

DATE、TIME、タイムゾーンの設定による日時デー  
タは、クリップに記録され、サムネール操作時の再  
生順などに影響しますのでご注意ください。

# メンテナンス

## ビューファインダー内のクリーニング

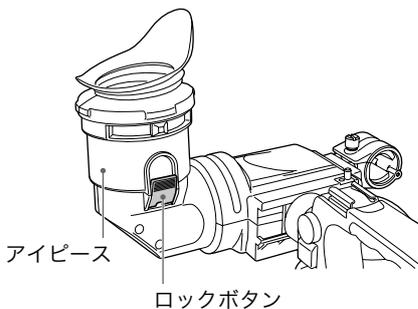
- ・汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- ・レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ・ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアブローで取り除いてください。

## アイピースのお手入れ

CRT画面やミラーにほこりが付着した場合、アイピースを開けて除去してください。

### 【NOTE】

ミラーは表面に特殊処理をほどこしていますので、ほこりが付着した時はブロウなどで、ふき飛ばすことをおすすめします。ティッシュペーパーなどでふくと、ほこりを巻き込んで傷が付きまますのでご注意ください。なお、頑固な汚れについては、市販のメガネ拭きなど、植毛された布で拭く方法があります。



### アイピースを開けるには

ロックボタンを押します。

### アイピースを閉めるには

ロックボタンが、カチッというまでアイピースを押し、閉めてください。

### 【NOTE】

野外でアイピースを上へ向けたまま、放置したり、カメラセットを持ち運んだりしないでください。太陽光熱によりアイピースの内部が破損します。

## CCDカメラ特有の現象について

### ■スミア

- ・高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。
- ・この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど発生しやすくなります。

## 内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。ビューファインダー/LCD画面に☹の表示が出る場合は、内蔵電池が消耗しています。

下記の方法で充電し、充電完了後、日時を設定してください。

- 1 本機に外部電源を接続する
  - ・本機は電源OFFのままにします。
- 2 約4時間、そのままの状態にしておく
  - ・内蔵電池が充電されます。
  - ・充電を行ったあとは、TCや設定メニューを確認してください。

充電後も☹が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

# 警告システム

## 警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNINGランプ、ビューファインダー画面のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

優先	警告の種類	ビューファインダー/LCD画面表示	ビューファインダー画面LED (タリー以外)	タリーランプ	ワーニングランプ	アラーム音*6	警告の内容と記録再生動作	対策
1	システムエラー	SYSTEM ERROR 要因表示*1 赤く点滅	無	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	連続音	P2マイコン、または制御の異常です。動作は停止します。	要因表示*1を確認し、販売店にご相談ください。
2	P2カード取り出し異常	TURN POWER OFF 赤く点滅	無	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	連続音	アクセス中のP2カードを取り出したため、内部メモリーに異常が発生しています。アクセスLEDが4つとも橙点滅(4Hz)します。	電源OFFにしてください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合、修復を行ってください。
3	バッテリーエンド	LOW BATTERY 赤く点滅、バッテリー残量バーが空状態で点滅します。(設定メニューで表示をOFFに設定していても表示します)	無	1回/秒で点滅	点灯	連続音	バッテリーの消耗です。記録再生は停止します。さらに電圧が下がると自動的に電源OFFになります。	バッテリーを交換します。
4	P2カード記録エンド	☒ FULL 赤く点滅 (MCRモードでは3秒間のみ表示)	SAVE LED項目をP2CARDに設定している場合、SAVE LEDが4回/1秒で点滅	記録終了後に4回/秒で点滅	記録終了後に点灯	記録終了後に連続音	P2カードの記録容量がなくなりました。記録を停止します。*3	不要なクリップを消去するか、新しいカードを入れます。
5	記録異常	REC WARNING 要因表示*2 赤く点滅	無	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	4回/秒の断続音	記録の異常です。記録を停止します。*4	一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてから、記録/再生の確認を行ってください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。
6	1394接続異常	1394INITIAL ERROR 赤く点滅	無	記録中に4回/秒で点滅	記録中に4回/秒で点滅	無	1394端子の接続に異常があるか、または信号が正しく入出力できていません。	本機や相手機器の接続を確認し、再度接続して、一度電源OFFにしたあと、再度ONにしてください。
7	PCモード1394HOSTでの接続エラー	無	無	4回/秒で点滅	4回/秒で点滅	無	1394ケーブルが抜かれたり、複数台接続されています。(通常のPCモードの操作は可能)	手順に従ってHDDを接続してください。
8	バッテリーニアエンド	バッテリー残量バーが1個点滅 (MENUで表示をOFFにしている場合も表示されます)	BATT LED点滅 (記録中はタリーLEDと交互に点滅し、PAUSE中はタリーLEDと同時に点滅します)	1回/秒で点滅	1回/秒で点滅	無	バッテリーの消耗間近です。動作は継続されます。*5	必要に応じて、バッテリーを交換します。

優先	警告の種類	ビューファインダー/LCD画面表示	ビューファインダー画面LED (タリー以外)	タリーランプ	ワーニングランプ	アラーム音 <sup>*5</sup>	警告の内容と記録再生動作	対策
9	P2カード記録ニアエンド	P2CARD残量表示が点滅	SAVE LED項目をP2CARDに設定している場合、SAVE LEDが1回/秒で点滅	記録中に1回/秒で点滅	記録中に1回/秒で点滅	無	P2カード残り2分未満(残量表示が1分以下)になった。記録中のみ警告します。	必要に応じて、P2カードを交換するか、追加挿入します。

<sup>\*1</sup> P2 SYSTEM ERROR 要因表示

- ・ P2 MICON ERROR: P2 マイコンが応答していません
- ・ P2 CONTORL ERROR: P2 記録制御に異常が発生
- ・ REC RAM OVERFLOW: 記録RAMのオーバーフロー

<sup>\*2</sup> REC WARNING 要因表示

- ・ CARD ERROR \* : P2CARD 異常 (\*には異常カードのロット番号を表示)
- ・ ERROR: その他の記録異常

<sup>\*3</sup> サムネール表示から記録したときはカメラモードに移行して警告が出ます。

下記の操作を行うと、警告は止まります。

- ・ 再生系操作ボタンを押したとき
- ・ MODE (CAMERA/MCR/PC) ボタンを押したとき
- ・ P2カードを抜いたり、別のカードを挿入したとき

<sup>\*4</sup> 下記の操作を行うと、警告は止まります。

- ・ REC START/STOP ボタンを押したとき
- ・ 再生系操作ボタンを押したとき
- ・ MODE (CAMERA/MCR/PC) ボタンを押したとき
- ・ カードをすべて抜いたとき

<sup>\*5</sup> NEAR END CANCEL 項目を ON に設定すると、DISP/MODE CHK ボタンを押すことにより、警告を止めることができます。

<sup>\*6</sup> アラーム音が鳴っているときは、本機のスピーカーとヘッドホンに入力音声が出力されません。なお、警告中に DISP/MODE CHK ボタンを押すと、アラーム音だけを止めることができます。

# 第10章 保証とアフターサービス

## 保証とアフターサービスについて

故障・修理・お取扱いなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。  
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

### 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

#### 保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は「P2HD 5年間無償修理特約」の対象商品です。お客様が本機を購入後1ヶ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大5年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の、P2 Asset Support System ウェブサイトをご覧ください。

日本語：[http://panasonic.biz/sav/pass\\_j/](http://panasonic.biz/sav/pass_j/)

英語：[http://panasonic.biz/sav/pass\\_e/](http://panasonic.biz/sav/pass_e/)

### 補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 保守・点検

- ・保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- ・部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- ・保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

#### ■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

#### ■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HPX555
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

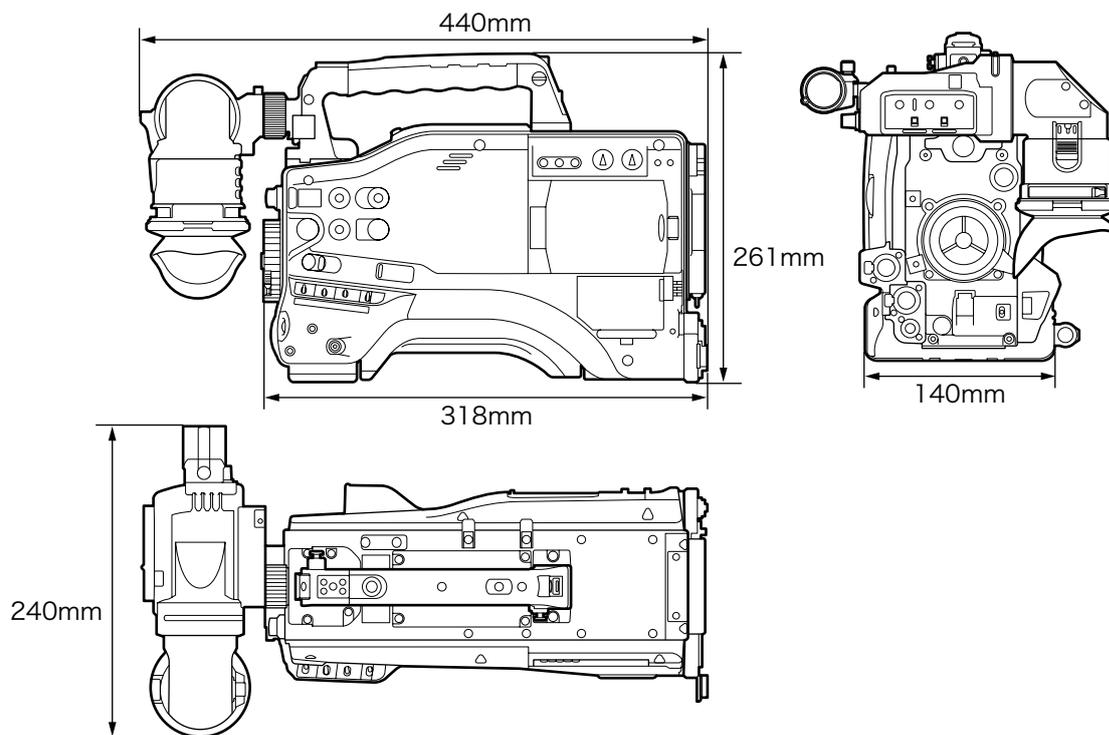
# 本機搭載ドライバーのアップデート

- ・ドライバーに関する最新情報は、下記のウェブサイトのP2のサポートサイトを参照してください。  
<http://panasonic.biz/sav/>
- ・ドライバーのアップデートのときは、サムネールメニューのPROPERTY→SYSTEMINFOでバージョンを確認のうえ、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてドライバーをダウンロードしてください。
- ・アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。
- ・ドライバーをインストール中に電源の供給が途絶えると、ドライバーが正常にインストールされないおそれがあります。外部DC電源などを使用して、インストールが完了するまで、安定した電源を確保してください。
- ・本機で使用するSDメモリーカードはSD規格に準拠したものをお使いください。
- ・SDメモリーカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。パソコンでフォーマットする必要がある場合は、専用ソフトウェアを上記のサイトからダウンロードしてご使用ください。

# 第11章 仕様

## 寸法図・定格

### 寸法図



第11章  
仕様

### 定格

#### 総合

電源：	DC12V (11V~17V)
消費電力：	23W (1.5型CRT VF使用時、3.5型液晶モニター使用時) 19W (VFなし、液晶モニターOFF時)
□は安全項目です。	
動作周囲温度/湿度：	0°C~40°C/10%~85% (結露なし)
保存温度：	-20°C~+60°C
質量：	約3.8kg (本体のみ、VF取り付け部を除く) 約4.5kg (1.5型CRT VF含む)
外形寸法：	140mm (幅) × 261mm (高さ) × 318mm (奥行) (突起部を除く本体)

## カメラ部

撮像素子：	CCD個体撮像素子×3 (2/3型、インターライン型、プログレッシブ対応)
レンズマウント：	2/3型バヨネット式
色分解光学系：	プリズム方式
NDフィルター：	4ポジション (クリア、1/4、1/16、1/64)
ゲイン切換：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60i/60P/50i/50Pモード：0、+3、+6、+9、+12、+18dB</li> <li>・スローシャッターモード時：ゲイン固定 (0dB)</li> <li>・30P/24P/25Pモード：0、+3、+6、+9、+12dB</li> <li>・スローシャッターモード時：ゲイン固定 (0dB)</li> </ul>
シャッター速度 (固定)：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60i/60Pモード：1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒</li> <li>・30Pモード：1/30 (OFF)、1/50、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000秒</li> <li>・24Pモード：1/24 (OFF)、1/50、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000秒</li> <li>・50i/50Pモード：1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒</li> <li>・25Pモード：1/25 (OFF)、1/50、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000秒</li> </ul>
シャッター速度 (シンクロスキャン)：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60i/60Pモード：1/60.0～1/249.8</li> <li>・30Pモード：1/30.0～1/249.8</li> <li>・24Pモード：1/24.0～1/249.8</li> <li>・50i/50Pモード：1/50.0～1/248.9</li> <li>・25Pモード：1/25.0～1/248.9</li> </ul>
シャッター速度 (スロー)：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60i/60Pモード：1/15、1/30</li> <li>・30Pモード：1/15</li> <li>・24Pモード：1/12 (720pのみ)</li> <li>・50i/50Pモード：1/12、1/25</li> <li>・25Pモード：1/12</li> </ul>
シャッター開角度：	・10°～360°、0.5°ステップで設定可能 (SCENE FILEのOPERATION TYPEがFILM CAM設定時)
フレームレート：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・59.94Hzモード：可変12/18/20/22/24/26/30/32/36/48/60fps (フレーム/秒)</li> <li>・50Hzモード：可変12/18/20/23/25/27/30/32/37/48/50fps (フレーム/秒)</li> </ul>
感度：	F10 (Typ、2000ルクス)

## メモリーカードレコーダー部

記録フォーマット：	DVCPRO HD/DVCRP050/DVCPRO/DVより切り替え
記録オーディオ信号：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCMデジタル、48kHz/16ビット</li> <li>・4CH (DVCPRO HD/DVCPRO50)、2CH/4CH切り替え (DVCPRO/DV)</li> </ul>
記録再生時間*：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約8分 (AJ-P2C008HG1枚使用、DVCPRO HD、音声4CH記録時)</li> <li>・約16分 (AJ-P2C016RG1枚使用、DVCPRO HD、音声4CH記録時)</li> </ul>
記録メディア：	P2カード (4G、8G、16Gカード使用可) ×4スロット
記録ファイル：	MXFファイル (FAT32ファイルシステム)
SDメモリーカードスロット：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDフォーマット準拠 (MMC使用不可)</li> <li>・1スロット (カメラセットアップデータ読み出し・書き込み)</li> </ul>

\* 記載の時間はP2カードに1ショットを連続記録した場合のものです。記録するショット数によっては、記録できる時間は記載の時間より短くなる場合があります。

### ■HDビデオ

サンプリング周波数：	Y: 74.25MHz Pb/Pr: 37.125MHz
量子化：	8bit
ビデオ圧縮方式：	DCT + 可変長符号
ビデオ圧縮比率：	1/6.7
ビデオ記録ビットレート：	100Mbps

### ■オーディオ

サンプリング周波数：	48kHz
量子化：	16bit/4CH
ヘッドルーム：	20dB/18dB (切換可)

## ビデオ入出力

GEN LOCK IN:	BNC×1、1.0Vp-p、75Ω
COMPONENT OUT:	D4端子 (コンポーネント)、Y:1.0V p-p、75Ω、Pb/Pr:0.7V p-p、75Ω
VIDEO OUT:	BNC×1、1.0Vp-p、75Ω
SDI OUT:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BNC×1、0.8Vp-p、75Ω、</li> <li>・ HD: SMPTE292M/296M/299M 準拠</li> <li>・ SD: SMPTE259M-C/272M-A/ITU-R.BT656-4 準拠</li> </ul>

## オーディオ入出力

MIC IN:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ XLR×2 (FRONT1、FRONT2)</li> <li>・ ハイインピーダンス</li> <li>・ +48V対応</li> <li>・ MIC: -40/-50/-60dBu (メニュー切り替え)</li> </ul>
AUDIO IN:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ XLR×2 (REAR1、REAR2)</li> <li>・ ハイインピーダンス</li> <li>・ LINE/MIC/+48V切り替え可</li> <li>・ LINE:0dB</li> <li>・ MIC: -50/-60dBu (メニュー切り替え)</li> </ul>
AUDIO OUT:	ピンジャック×2 (CH1/CH2)、出力:316mV、600Ω
ヘッドホン:	φ3.5mmステレオミニジャック×1
スピーカー:	28mm径丸形×1

## その他入出力

TC IN:	BNC×1、0.5V p-p~8V p-p、10kΩ
TC OUT:	BNC×1、ローインピーダンス、2.0±0.5V p-p
IEEE1394:	6ピン、デジタル入出力、IEEE1394に準拠
DC IN:	XLR×1、4ピン、DC12V (DC11.0~17.0V)
DC OUT:	4ピン、DC12V (DC11.0~17.0V)、最大出力電流1.5A
REMOTE:	10ピン
LENS:	12ピン
EVF:	20ピン
USB2.0 (DEVICE) :	Type-B、4ピンUSB ver2.0準拠

## モニター

液晶モニター:	3.5型液晶カラーモニター、21万画素、(4:3)
---------	---------------------------

## 付属品

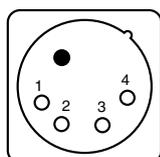
付属品:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.5型電子ビューファインダー (4:3CRT搭載、NTSC/PAL切替方式)</li> <li>・ ショルダーベルト</li> <li>・ フェライトコア (2個)</li> <li>・ FRONT AUDIO LEVELノブ (103ページ参照)</li> <li>・ ノブ用ネジ</li> <li>・ CD-ROM</li> <li>・ 取扱説明書</li> </ul>
------	---

# コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

パナソニック品番：K1AA104H0038

メーカー品番：HA16RX-4P (SW1) 【ヒロセ電機】



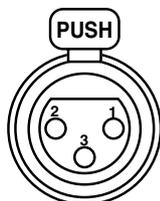
## 【NOTE】

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

FRONT MIC IN	
1	GND
2	AUDIO IN (H)
3	AUDIO IN (C)

パナソニック品番：K1AB103B0013

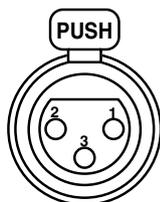
メーカー品番：NC3FBH2【ノイトレック】



AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN (H)
3	AUDIO IN (C)

パナソニック品番：K1AB103A0007

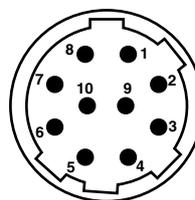
メーカー品番：HA16PRM-3SG【ヒロセ電機】



REMOTE	
1	CAM DATA (H)
2	CAM DATA (C)
3	CAM CONT (H)
4	CAM CONT (C)
5	R/C ON
6	R/C VIDEO OUT
7	R/C VIDEO GND
8	NC
9	UNREG 12V (最大0.6A)
10	GND

パナソニック品番：K1AY110JA001

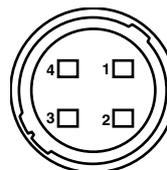
メーカー品番：HR10A-10R-10SC (71) 【ヒロセ電機】



DC OUT	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V OUT (最大1.5A)

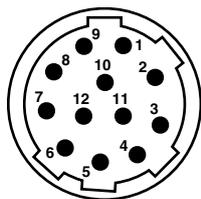
パナソニック品番：K1AY104J0001

メーカー品番：HR10A-7R-4SC (73) 【ヒロセ電機】



LENS	
1	RET-SW
2	REC-START/STOP
3	GND
4	IRIS-AUTO
5	IRIS-CONT
6	UNREG + 12V (最大0.4A)
7	IRIS-POSI
8	IRIS-G-MAX
9	EXT-POSI
10	ZOOM-POSI
11	FOCUS-POSI
12	SPARE

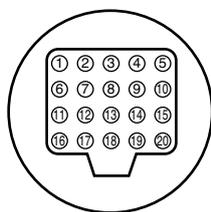
メーカー品番:HR10A-10R-12SC (71) 【ヒロセ電機】



VF	
1	NOREG + 12V
2	11 ~ 17V 同梱品VF約0.2A (最大0.3A)
3	NC
4	B-Y GND
5	R-Y GND
6	VF VIDEO
7	VIDEO GND
8	VF CLK
9	VF WR
10	VF DATA
11	UNREG GND
12	ZEBRA SW
13	NC
14	NC
15	NC
16	NC
17	NC
18	NC
19	NC
20	シャーシーGND

パナソニック品番: K1AB120H0001

メーカー品番: HR12-14RA-20SC 【ヒロセ電機】





パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

